

臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)第九回

(一六五)

付託議案
臨時租稅增徵法中改正法律案（政
府提出）
所得稅法中改正法律案（政府提出）
相登錄稅法中改正法律案（政府提出）
酒造稅法中改正法律案（政府提出）
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法
律案（政府提出）
麥稅法中改正法律案（政府提出）
大正九年法律第十二號中改正法律
案（政府提出）
支那事變特別稅法案（政府提出）
臨時利得稅法中改正法律案（政府
提出）
臨時租稅措置法案（政府提出）
日滿國稅徵收事務共助法案（政府
提出）

置イタノデアリマス、其後松隈サント會ツテ色々研究シテ見マシタガ、私共ノ方ノ計算

法モ少シ荒ッポイ所ガアルヤウデシタ、ト云
フノハ、例ヘバ一万圓ノ所ニ付テ納稅ノ人

員ノ數ヲ書イテ出シテ置イタノデアリマスガ、
一万圓以下ニ付テハ十二錢余減ズレト云フ

カラ、其一万圓以下ノ納稅者ノ人員ト云フモ

ノヲ一々書イテ出シテ置イタノデアリマスガ、ソレハ一寸荒ツボイ計算ノヤウデアリマシ

テ、非常ニ是ハ込入ツタ 計算ニ依ラヌト分

タヌト云フニトノ前ノ分リマシタ タカラ
其點ハアノ數字ハ正確デナイト云フコトヲ

私ハ訂正シテ置キタインデアリマス、唯併シ大局ノ意見トシテハ、私ノ意見ハ變ラナ

イト云フコトモ申上ゲテ置キマス、要スル

二 一万圓以上五万圓以下ノ者ニ於テ、當然

出席委員左ノ如シ	河野密君理事ニ當選セリ
出席委員左ノ如シ	麥酒稅法中改正法律案(政府提出)
出席政府委員左ノ如シ	大正九年法律第十二號中改正法律案(所
出席政府委員左ノ如シ	得稅法ノ施行ニ關スル件(政府提出)
出席委員左ノ如シ	支那事變特別稅法案(政府提出)
出席委員左ノ如シ	臨時利得稅法中改正法律案(政府提出)
出席委員左ノ如シ	臨時租稅措置法案(政府提出)
出席委員左ノ如シ	日滿國稅徵收事務共助法案(政府提出)
出席委員左ノ如シ	○高橋委員長 開會致シマス、岡田君ニ申
出席委員左ノ如シ	上ゲマスガ、内務大臣ハ他ノ重要ナル委員
出席委員左ノ如シ	會ニ出席申デ、此方ニ出向クコトガ出來ヌ
出席委員左ノ如シ	ト云フコトデアリマス、御諒承願ツテ置キマ
出席委員左ノ如シ	申シテ置キマスガ、此前ニ第三種所得稅ノ
出席委員左ノ如シ	増減ノコトニ付テ、數字ヲ擧ゲテ申上ゲテ
出席委員左ノ如シ	○岡田委員 ソレデハ一寸大藏當局ニ御話
出席委員左ノ如シ	相續稅法中改正法律案(政府提出)
出席委員左ノ如シ	登錄稅法中改正法律案(政府提出)
出席委員左ノ如シ	酒造稅法中改正法律案(政府提出)
出席委員左ノ如シ	同日片山哲君理事辭任ニ付其ノ補闕トシテ

實デアル、第三種所得稅現行法對改正案比
較表ト云フ政府御提出ノ表ノ中ニ、三角ノ
シテアル所ガ即チ私ノ申上、ゲル所デアリマ
ス、例ヘバ、一万圓以下ニ付テハ稅率ガ百分
ノ十一トナリ、現行法ニ付テハ稅率ガナン
ボニナルカ難カシイガ、正確ナモノハ大藏
省ノ御計算ニ出シテアルト思フガ、ヤハリ
十二錢幾ラト云フ減ニナッテ居ルノデアリ
マス、其人員ノ數ニ付テハ色々ノ計算ガア
ルカラ、是ハ私ノ累積ガ違ツテ居タヤウデ
アリマス、ソレカラ一万五千圓以下ニ付テ
ハ――少クトモ一万五千圓ノモノハ二十七
錢幾ラト云フ減稅ニナッテ居ル、此階級ニ於
テ減稅ノアリシコトハ間違ナイ、其累計ガ
四百五十万圓カドウカト云フコトハ違ツタ
カモ知レナイガ、其點ハ政府ハ御認メニナ
ルデセウカ

ニ關係ナク提案ヲ致シマシタ法律ニ依リマシテハ、昨年ノ臨時増徵法ヨリモ納稅額ニ減ズルコトハソレハ事實デアリマス、ソレダケ税ガ減ズルコトハ事實デアリマスガ、ソレハ其一万圓ノ前ノ七千圓デアルトカ、五干カ、十万圓デアルトカ、或ハ五十万圓、七十万圓ト云フ所ガ、此部分的改正デハ増加致シテ居リマス、其増加ト減少トガ一體ヲ成シテ居ルノデアリマシテ、詰リ臨時増徵法デハ稅率ノ部分ガ少シク荒ヅボ過ギマシタ爲ニ、例ヘバ七千圓以下ニ對シ一万圓以下ノ所ガ急激ニ負擔ガ增加スル、言葉ヲ換ヘレバ七千圓ノ所ハ一万圓ニ比シテ割合ニ税ガ輕過ギルト云フ風ニ、大マカニナシテ居リマシタノヲ訂正致シマシタノデスカラ、今御話ノ階級ノ税ガ減ルト云フノハ全ク御話ノ通リデアリマス、同時ニ七千圓トカ、或ハ十万圓トカ五十万圓トカ云フ所ガ増シテ居ル、此增加ト一體ニナッテ地均シヲシタノデアリマス、ソレデ所謂減稅デアルトハ考ヘテ居リマセヌ、ソレダケ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

カラ云へバ其間ノ調節ヲ圖シタ云フ御趣旨ニ聽エマスガ、併シ個人々ニ此稅法ガ如何ナル影響ヲ與ヘルカト云フト、或ハ增收或ハ減收或ハ増減ナシト云フ稅法上ノ立前ハ、是ハ諒トスルガ、併ナガラ申ス迄モナク租稅ハ各個人ニ對シテ、或ハ各家族ニ對シテ如何ナル經濟上ノ影響ヲ與ヘルカ、家庭上若クヘ其家ノ財政上ノ影響ト云フモノヲ深刻ニ研究ヲサレルコトガ固ヨリ當然デアル、ソレデ大藏大臣ハ少シ荒ツボカタト云フヤウナ一言デハ濟マヌデヤナイカ、若シ一万圓、一万五千圓ト云フ所ガ荒ツボク當テ居ルト云フコトナラバ、其一事ガ大藏省ノ不謹慎デハナイカ、例ヘバ元來臨時增徵法ニアラウガ、應急法ニアラウガ、相當ニ個人ニ與ヘル影響ヲ研究シテ居ラナクテハナラスト思フ、若シソレガ荒ツボクテ、今度減ニナル部分ニ對シテヘ、前ノ稅ガ重過ギタト云フナラ、ソレハ大藏省ノ大イナル失態デアルト私ハ思フ、ソンナニ一寸粗笨デアッタカラ直スト云フヤウナコトデ直サレテハ堪ラヌデス、逆ニ質シテ見レバ、若シ大藏省ガ是ガ荒ツボイカラ直シタトスレバ、昨年一年間ト云フモノハ、一万圓、一万五千圓ノモノハ不當ナル課稅ニアルト云フコトヲ認メルナラバ、其損害ハド

ノデハナイト思フ、殊ニ一度行ハレタ以上
ハ、先ヅソレヲ暫クノ間施行シテ見レバ、
ソレヲ机上ノ一片ノ議論デ公平ニシナケレ
バナラヌカラ變ヘルトスレバ、他ノモノト
ノ不權衡ヲ生ズルデハナイカ、サウ云フ輕
卒ナコトハ私ハイカヌト言フノデス、故ニ
増稅ナドヲ無暗ニナサルナト言フノデス、
時ヲ見テドット大キナ計畫ノ下ニ、方途ノ下
ニ稅制ノ根本改革ヲシタラ宜イ、其爲ニ
多少不公平ト見テモ殘シテ置ケバ宜イ、ソ
レヲチラホラ～始終變ヘテ行クトフコ
トハ、大藏省ノ信用ニモ大ナル關係ガアル
ト思フ、此コトハヤハリ政府全體ノ意見ヲ
問ハナケレバナラヌ、仍テ私ハ之ヲ留保シ
テ置イテ、大藏大臣ノミナラズ、少クトモ
内務大臣竝ニ總理大臣ノ所見ヲ聞イテ見タ
イト思フ、此結果ト云フモノガ、千圓カラ
千二百圓ノ者ニ言ハズ語ラズ影響シテ居ル、
事實ニ於テ其數額ハ多少違ツテ居ルケレド
モ、一面ニハ千圓カラ千二百圓ノ者ニ向シ
テ、四百万圓ノ增收ヲ圖ラナケレバナラヌ
コトニナツテ居ルデハナイカ、サウスレバ又
其議論ハ違フノダ、上ノ方ノ擔稅力ノ強イ
者ニ對シテハ率ヲ減ジテ置イテ、下ノ方ノ大

衆ニ向ツテ増稅ヲスル、少クトモ其大衆ハ農村ニ於テハ中堅階級ヲ爲スモノデアル、商工業者ニ於テハ中小商工業者デアル、ソレフ、サウ云フモノハ捨テ、置イテモ宜イト思デ、相變ラズ留保シテ置キタイ、ソレカラ是ハ非常ニ……

○高橋委員長 岡田君、大藏大臣カラ何力御答辯ガアルサウデス

○賀屋國務大臣 今ノ岡田サンノ御説ニ對シテ、私一言申上ゲタイト思ヒマス、是ハ前内閣ノ致シマシタコトデ、私ハ此内閣トシテノ意見ヲ申上ゲル譯デハアリマセヌガ、當時私ハ前内閣ニ居ツタ時ニ、屬僚トシテ關係ヲ致シテ居リマシタ、御承知ノ如ク昨年ノ二月二日ニ議會ノ途中デ新内閣ガ出來マシタ、當時ノ内閣ハ其前ノ内閣ノ提案致シテ居リマシタ、而モ議會ノ途中デ、其間ニ稅制豫算ヲスッカリ變更致シマシテ、議會ノニアリマス、違モナイ次第デハアリマスガ、備、議會ノ御審議ノ期間、兩方兼ね合ヒマシテ、深キ精密ナル研究ヲスル違モナイ次第

メデアリマス、今回此部分的整理トヘ別ニ新ニ増稅案ヲ提案致シマシテ、千二百圓ト千圓ノ間ニ課稅ヲ致シマシタコトトヘ全ク無關係デアリマス、同時ニ此地均シヲ致シマスル際ニ、稍、低過ギタ所ニ盛リ土バカリ致シマシテ、高過ギタ所ノ頭ヲ減ズルト云フコトガアリマセヌデハ、ドウモ是ハ益、不當ノ話デアリマス、岡田サンノ御説ノヤウニナリマスルト、減ニナル所ダケハ減ニシナイデ残シテ置イテ、増ニナル所ダケヤラナケレバ此四百万圓ト云フモノガ出ナイ譯デアリマスルガ、是ハドウモ今申上ゲマシタヤウナ理由デ致シ方ガナイト思ヒマス、一言今ノ御話ニ對シマシテ所見ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

言葉ガ過ギテ居ルト私ハ思フ、政府ト云フ
モノガ一貫シテ居ル以上ハ、ソレニ對スル
ハ言フノダ、細カイ改正ヲ少シヅ、ヤルカ
ラ色々ノコトガ起ツテ來ルノダ、第一回、第
二回ヲヤツテ、第三回目ヲ今度増稅スル、前
ト照シ合セテコソ妙ナ稅率ノ改正ヲシテ
居ルノハ申スマデモナイコトデアリマス、
益、此計畫ガ浮動シテ來ル、斯ルガ故ニ私ハ
政府ガモット一貫セル責任アル態度ヲ以テ、
殊ニ官僚ハヤラナケレバナラヌモノデアル
ト云フコトヲ茲ニ申上ゲテ置クノデアリマ
ス、殊ニ又段々ト込入ツテ來ルヤウナ御話デ
アルガ、賀屋大藏大臣ハ此前ノ應答ノ時ニ
モ、經濟上支障ノナイ範圍ニ於テハ增稅ヲ
シタイ云々ト云フヤウナコトヲ言ウテ居ル
ヤウデアリマスガ、サウ云フコトハ唯徒ラ
ニ世間ニ疑懼ヲ抱カスノミデ、何時デモ大
藏省ハ又增稅ヲスル、又增稅ヲスルト云フ
氣構デ居ル、サウ云フコトデハイカヌヂヤ
ナイカ、ソレハ或ル時機ヲ以テ斷然ヤルト
云フノナラ宜イケレドモ、何時デモ氣構ヲ
持ツテ居ルト云フコトハ、私ハ決シテ大藏大
臣トシテ謹慎ナ言葉デアルトハ思ハレマセ
ヌ、又若シカ經濟的ノ影響ト云フモノヲ思

フト云フコトデアレバ、何モ所得稅ヲ目
ノ敵ノヤウニセヌデモ宜イノデアル、是ハ
他ニ幾ラデモアルダラウト思フ、公債、社
債、株式、或ハ收益稅、其他總テノサウ云
フ方面ニ向ツテ適當ナ考慮ヲ拂ハレルト云
フコトノ方ガ私ハ肝腎ダッタ思フ、仍テ私
ハ其意見ヲ茲ニ申述ベテ置イテ、大藏省當
局ノ言ハ餘リ穩當デハナイト云フコトヲ茲
ニ申上ゲテ置キマス

ソレカラ是ハ二重ニナルノデアリマス
ガ、他ノ諸君ノ御質問モアリ、私ノ質問モ
アツタケレドモ、此一項ハ政友會ヲ代表
シテ改メテ政府ノ御意見ヲ承ツテ置キタ
イ、尤モ是ハ大藏大臣並ニ内務大臣ノ御
出席ノ下ニ申上ゲル積リデアリマシタケ
レドモ、是モ今日ハ總動員法ノ關係上オ出
席ニハ御出席ヲ求メルカモ知レマセヌ、即
チ市町村ノ財政調整交付金ノコトデアリマ
ス、今回ノ賃貸價格ノ改正減ニ伴ヒマシテ、
府縣、市町村ノ附加稅ノ減收ト云フモノガ
二千五百万圓ト云フコトデアリマシタ、其
中市町村ニ係ル分ガ約千万圓、然ルニ市町
村ノ財源ガ潤滑シテ居ルト云フコトハ共
通ノ事實デアリマシテ、此缺損ヲ補フ爲

ニヘ、從前ヨリ惡稅トシテ減ゼントシテ減ズ
ルコトノ出來ナカッタ戸數割ヲ、又其上ニ重
課スルコトニナル、即チ土地ヲ持ツテ居ル
者ノ負擔ハ減ジタガ、一般大衆ト云フモノ
へ却ツテ戸數割ノ形ニ於テ負擔ヲ課ケラレ
ルト云フコトニナッテ居ル、ソンナラ市町村
ノ附加稅ノ方ヲ増稅シタラ宜イデハナイカ
ト云フ議論モアルノデスケレドモ、ソレハ
豫テノ營業收益稅ト附加稅トノ關係、其均
衡ノ上カラ見テ是ハ中々難シイコトノヤウ
ニ私ハ思フ、然ラバヤハリ否デモ應デモ戸
數割ニ向ツテ行ク、全部大衆ニ向ツテ負擔ガ
向イテ來ルト云フコトハ爭フコトハ出來マ
セヌ、又一面ニ戸數割ノ狀況ハ如何カト言
ヘバ、是モ大藏當局ノ御承知ノ如ク、全國
ノ經濟力ニ重大ナル負擔ヲ及ボシテ居ルノ
デアリマシテ、是等ヲ顧ミルト云フト、少ク
モ五千万圓ト云フモノハ茲ニ今日ノ事情カ
ラ見レバ増額ヲシテ、一億五千万圓ノ市町
村交付金ニシテ貰ハナケレバナラスト存ジ
テ居リマス、今政府ハ考究中デアルト云フ
ヤウナ御答辯ガアツテ、定メシ御考究中デア
ルト思フ、ドウモ内輪ノコトヲ申スト可笑
シイケレドモ、大藏省ノ方ハ吝チデアリ、
内務省ノ方ハモット多クト云フヤウニナツ
タモノ、之ニ對スル附加稅其他合計シテ
私等ノ計算デスト約二千七百何十万圓、凡
ソ三千万圓近クハ此方デ收入減ニナルト
思フ、此外ニ事變影響トシテ私等ガ最モ懸念
ニ堪エナイノハ、貧弱町村程此影響ヲ甚シ
ク受ケテ居ル、財政的ノ關係ノ影響ヲ甚シ
ク受ケテ居ル、大都市ノ東京或ハ大阪、名

地ノ賃貸價格ノ輕減ノ結果ニ依ル所ノ町村
ノ附加稅ノ減千万圓ト、今ノ目標トスル半
減ニ對スル不足ノ千万圓ト合計二千万圓ガ
ルト約千万圓ト云フコトデアリマシ
ヨリシテ、地方稅ノ輕減ハ政府委員ノ御答
辯ニ依ルト約千万圓ト云フコトデアリマシ
タ、故ニ二千万圓ニ加ヘテノ三千万圓、其
他ニ於テ此時局柄市町村ト云フモノハ、假
令稅ノ名ハナクトモ各種ノ形ニ於テ市町村
ノ經濟力ニ重大ナル負擔ヲ及ボシテ居ルノ
デアリマシテ、是等ヲ顧ミルト云フト、少ク
モ五千万圓ト云フモノハ茲ニ今日ノ事情カ
ラ見レバ増額ヲシテ、一億五千万圓ノ市町
村交付金ニシテ貰ハナケレバナラスト存ジ
テ居リマス、今政府ハ考究中デアルト云フ
ヤウナ御答辯ガアツテ、定メシ御考究中デア
ルト思フ、ドウモ内輪ノコトヲ申スト可笑
シイケレドモ、大藏省ノ方ハ吝チデアリ、
内務省ノ方ハモット多クト云フヤウニナツ
タモノ、之ニ對スル附加稅其他合計シテ
私等ノ計算デスト約二千七百何十万圓、凡
ソ三千万圓近クハ此方デ收入減ニナルト
思フ、此外ニ事變影響トシテ私等ガ最モ懸念
ニ堪エナイノハ、貧弱町村程此影響ヲ甚シ
ク受ケテ居ル、財政的ノ關係ノ影響ヲ甚シ
ク受ケテ居ル、大都市ノ東京或ハ大阪、名

ル交付金ノ増額ヲ希望致シテ置キマス、是
ニハモウ御答辯ハゴザイマセヌノデゴザイ
マセウカ、何カアリマスカ、御答辯ガアレ
バ……

○賀屋國務大臣 十分攻究致シマス、今ノ
御說ニ付キマシテハ又色々其間事情モアリ
マスルガ、兎ニ角是ハ攻究スルト云フコト
ヲ申上ゲテ置キマス

○高橋委員長 岡田君ニ一寸申上ゲマス
ガ、地方財政調整交付金ノコトニ付テ岡本
君カラ關聯質問ヲシタイト云フ御希望ガア
リマス、此際許可シテ宜シウゴザイマスカ
ヲ申上ゲテ置キマス

○岡田委員 宜シウゴザイマス
○岡本委員 地方財政補給金ノコトニ付キ
マシテ關聯シマシテ尙ホ大藏大臣ニ御尋シ
タイト思ヒマス、只今岡田君カラモ御尋ガ
アリマシタヤウニ、土地賃貸價格ノ改訂ニ
依リマシテ、地方ノ農村關係ニ於テ減トナッ
タモノ、之ニ對スル附加稅其他合計シテ
ソ三千万圓近クハ此方デ收入減ニナルト
思フ、此外ニ事變影響トシテ私等ガ最モ懸念
ニ堪エナイノハ、貧弱町村程此影響ヲ甚シ
ク受ケテ居ル、財政的ノ關係ノ影響ヲ甚シ
ク受ケテ居ル、大都市ノ東京或ハ大阪、名

アリマスルシ、所謂銃後ノ護リトシテ何レ
モ相當ノコトヲヤッテ居ラレマスルガ、特ニ
農村ニ於キマシテハ、其割合カラ申シマシ
テ、多イカト思フノハ、現實都市ニ寄留シ
テ居リマシテ、或ハ工場トカ、中小ノ商工
業ト云フモノニ從事シテ居ル方ガ、形ハ都
市カラ應召サレマスルケレドモ、實際ハ自
身ノ出身地、本籍地ノ農村カラ出テ居リマ
ス、農村ノ方ヘ召集狀モ來マスシ、本籍地
ニ向シテ總テ參リマス、隨ア不幸ニシテ或
ハ戰死サレマストカ、或ハ戰傷ヲサレマス
ト云フヤウナ時ニ際シテ、第一著ニ慰問ヲ
シ、又總ノコトヲ御引受シナケレバナラヌ
ノハ農村デアリマス、謂ハ、形ニ於テ都
市ノ事ガ、實際ニ於テハ農村デ之ヲ引受ケ
ナケレバナラヌト云フ、斯ウ云フコトニナッ
テ居ルノデアリマス、是ガ爲ニ都市ニ於キ
マシテノ戰死者ニ對スル公葬ヲ行ハレルノ
ト、町村殊ニ小サイ村ニ於キマシテ、町村
葬等ヲ行ハレルト云フ割合ハ、甚シク、農
村ノ方ガ多クナツテ居ルヤウデアリマス、謂
ハ、都市ニ對スル關係マデモ、實際ニ於テ
ニ此關係ガ段々大キクナルノデアリマス、
私等ノ地方ノ關係デ見マシテモ、具サニ聽
ク所ニ依ルト、町村葬ヲ行ハレル當初ニ於

キマシテハ、一ツノ葬式ヲシマスノニ二百
圓、二百五十圓位掛ツテ居タノガ、漸次數
モ殖エマスガ爲ニ、段々費用モ儉約シマス
ガ、尙ホ百三十圓、百五十圓ト云フ費用ガ
如何ニ村ト雖モ掛ルノデアリマス、是ガ一
ツノ村ニ於テ相當數ニ上ツテ居リマス、一回
ダケデソレガ濟メバ宜イガ、或ハ四回、五
回、六回ト漸次行ハレマス、或ハ合同葬ヲ
シタラ宜イデハナイカト云フ話モアリマス
ガ、併シ是ハ行ハレヌ實情ガアル、ト言ヒマ
スノハ、遺骨ガ到著致シマシテ、餘リ長キ
間存置シテ置クト云フコトモ、英靈ニ對シ
テノ慰メノ關係モアリマスシ、又地方ノ純
朴ナル農村ニ於テハ、此遺骨ニ對シテオ通
夜ヲシナケレバナラヌ、オ通夜ヲ一箇月モ
二箇月モ長ク續ケルコトハ出來ナイ、斯ウ
云フヤウナ關係、或ハ宗教的ノ關係、其他
マシテノ戰死者ニ對スル公葬ヲ行ハレルノ
カラ、ヤハリ遺骨ノ著イタ度ニ、町村葬ヲ
行フ、斯ウ云フヤウニ結局ナツテ來マス、ソ
レモ貧弱ナル村デ數回行ハナケレバナラヌ、
或ハ十數回ニモ上ルコトガアルカモ知レス
ト云フヤウナ實狀デアリマシテ、直接金錢
ノ銃後ノ護リトシテ致シマスコトニ付テノ
費用關係ガ、存外多額ニ上リマシテ、山村
ノ貧弱町村デハ、折角一億万圓ノ補給金ノ

分配金ヲ相當戴イテ居リマスガ、殆ド其金ニ
要ツテシマフト云フヤウナ所ガアルノデア
リマス、此事變關係ノ出費ト云フモノガ如
何ナル程度ニ及ブカ、二千万圓カ或ハ三千
萬圓カ、五千万圓カ、此數字ハ的確ニハ分
リマスマイ、又地方ニ依ツテ餘程實狀ガ違フ
ト思ヒマスガ、幾ラ少クモ此點ニ於テ二千
萬圓位見積ツテ戴イテ、合セテ五千万圓以上
ノ補給金ノ增額ハ是非トモ願ハナケレバ、
此事變ニ依ル影響トシテ負擔ノ甚ダ不公平
ナルモノガ出來ル、斯ウ云フ考ヲ持ツテ居リ
マス、既ニ大藏大臣モ能ク御聽ト思ヒマス
ガ、土地賃貸價格改訂ノ關係ト併セテ事變
關係ニ於テ、兩方面カラ農村ニ於テハ非常
マシタ如キコトガ果シテ事實カドウカ、又
ウ云フ點モ尙ホ大藏當局ノ御意見ヲ承リタ
イノデアリマス、又今朝ノ新聞記事ニアリ
マシタ如キコトガ果シテ事實カドウカ、又
内務省ガ恐ラク二千万圓デ之ヲ承知スルト
云フコトモアリマスマイト思ヒマス、御差
支ナイ限り其御折衝ノコト竝ニ御見込ヲ御
伺致シタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣　此土地ノ賃貸價格ノ減ニ
伴ヒマシテ、府縣及ビ市町村ノ地租附加稅
ノ減收ハ一昨年マデノ府縣及ビ市町村ノ附
加率ニ依リマセズ、昨年一億圓ノ交付金ノ
増額ガアリマシテ、其中約千七百万圓ハ府
縣ノ特別地稅及ビ地租附加稅ノ輕減ニ充テ
タイノデアリマス、隨テ地租附加稅ノ府縣
ノ率ト云フモノハ十二年ニ輕減致シテ居リ
マス、其率ニ依ツテ計算ヲ致シマスト、賃貸
價格ノ減ガアリマシテ、地租ノ附加稅率ヲ

其儘トシテ置イタト假定致シマシテノ減收額ハ、府縣約一千万圓、市町村約一千万圓合計約二千万圓、是ハ唯事實ノ數字デアリ得ノ多イ方面モアリマス、ガ所謂農山漁村ノ中ニ、時局ニ依ッテ經濟上ノ利益ヲ得ルコト少クシテ、今御話ノヤウナ事情デ、相當失費ノアリマスコトハ想像致サレマスノデ是ハ私モ同情ヲ致シテ居ルコトハ、他ノ機會ニ於テモ申上げマシタ通リデアリマス、尙新聞紙等ニ於キマシテ色々出ルコトガアリマスルガ、是ハ始終アリ勝チナコトデアリマシテ、之ニ對シテ一々事實ハドウデアルト云フコトヲ申上げルノモ却テデウカト思ヒマス、私共ハ新聞紙ノ記事ニ拘リマセズ、ソレガアッテモナクテモ別ニ内部デ色々考ヘテ居リマス、一々是ガ本當デアルトカ、違ツテ居ルト云フコトヲ申上げナイ方ガ却テ宜イト思ヒマス、内部デハ色々研究ヲ致シテ居リマスノデ、研究ノ結果成案ヲ得マシタラ、ソレヲ申上げ、ソレニ付テ豫算ノ御協贊ヲ得タイト思ツテ居リマス、何卒左様御承知ヲ願ヒマス

成ベク早く内務當局トモ御協定ヲ得ラマシテ、追加豫算デ御提案ニナランコトヲ希望致シマス、其額モ五千万圓ヲ下ラヌト云フコトニ、其御趣旨デ御願シタイト思ヒマガアルヤウデアリマスガ……

○岡田委員 宜シウゴザイマス

○水谷委員 チヨツト此問題ニ關聯シテ大藏大臣ニ御伺シタイ、是ハ前ノ結城稅制ノ時ニモ委員會デ問題ニナリマシテ、大藏當局ノハツキリシタ御答辯ヲ得ラレナカッタノデアリマスルガ、大體私ガ茲ニ詳シク申スマデモナク、年々地方財政ヲ救フ爲ニ交付金ヲ支出スルト云フコトハ、是ハ説明ノ要ヲ俟タナイノデアリマス、唯私ガ遺憾ニ思フノハ、毎年々々一億圓デ十分デアルトカ、或ハモウ五千万圓出スト云フヤウナコトデ、絶エズ政府ト政黨方面ノ間ニ、マルデ取引ト云フヤウナ言葉ヲ使ヘバ語弊ガアリマスルガ、サウ云フヤウナ具ニ供セラレルシタ——或ハ特別會計デヤッテ行クトカ、或マシテ、此際此問題ニ關シマシテ、ハツキリトコトヲ、吾々ハ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマシテ、此際此問題ニ關シマシテ、ハツキリトシタ——或ハ特別會計デヤッテ行クトカ、或ハ財源ヲハツキリ指定シテ、是レ——ノモノ

ヲ交付スルト云フヤウナ點ヲハツキリサレル方ガ、有ユル意味ニ於テ正シイノデヤナカガ、政府ハ唯考慮スルトカ云フヤウナコトデアリマシテ、ハツキリシタ御答辯ヲ得ラレナカツタノデアリマスガ、此點ニ付テ賀屋サンノハツキリシタ御答辯ヲ伺ッテ置キタイシマシテハ、色々マダ研究スル點ガ残ツテ居ルト思フノデアリマス、基本ト致シマシテ、委任事務ニ關スル費用ハ國ガ持ツト云フ議論モアリマス、是等ガマダ考究シ盡サレテ居ナイト思フノデアリマス、委任事務ニ關シテ國ガ其財源ヲ持ツナラバ、國ノ固有事務ニ對シテ國ノ爲ニ留保サレタル財源ト、市町村ノ固有事務ニ對シテ市町村ニ留保サレタル財源ト、又府縣ノ固有事務ニ對シテ府縣ニ留保サレタル財源ト、斯ウ云フ風ニ事務ト財源ニ付テ検討ヲ經タ制度ガ既ニ立ツテ居タ後ナラバ、サウ云フ議論ガ出來ルノデアリマス、卒直ニ申上ゲテ、私ノ所見デ申上ゲマスト、今國、府縣、市町村ニ財源ガ留保サレテ居ル其計畫ト事務トハ餘り關聯ガナイノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、サウ云フ議論モ前提カラ検討ヲ要スルモノガアリマス、ソレカラ例ヘバ今回ノ

問題ニシテモ、農村ニ於テヘ田畠ノ賃貸價格減少ノ爲ニ、課稅率ヲ其儘ニスレバ、地租收入ハ減ズルト云フ状況デアリマス、都會ニ於テハ逆ニソレガ増加スル、増加スル方ヲ處置スル方法ヲ考ヘズシテ、減稅バカリニ國ガ補填シテ參リマシタラ、又相當困ル方面モアリマス、サウ云フ關係モアリマス、ソレカラ是ハ既ニサウ云フ方面ニ研究ノ歩ガ進メラレタノデアリマスガ、馬場藏相ノ時ノ案デアリマスト、附加所得稅ヲ取り、家屋稅ヲ國ニ移管スルト云フコトデ、財源ニ見合ツテ交付金ガ計算ノ出來タ、所ガ此家屋稅ヲ移管スルコトガ、果シテ宜イカドウカト云フ研究問題モ殘ツテ居リマス、サウ云フ風ニ色々研究問題ガ残ツテ居リマシテ、而シテ之ヲ實行スルノガ、所謂今御話ノ根本的ノ稅制整理、詰リ我國デ最近問題ニナツテ居リマス稅制整理ハ、所謂外國ノ稅制ヲ真似スルヤウナモノデナクシテ、一方ニ減稅スル爲ト申シマスカ、其爲ニ一方ニ增稅ヲスル、サウシテ財源ヲ見合ツテ行ク、而モ其見合ツタ財源ト云フモノガ、果シテ適當ニ行クカドウカ、例ヘバ農村等ニ於キマスル經費ト財源ト見合ハザル如ク、市町村等ニ於ケル經費ト財源ト云フモノガ見合ヘナイ、ソレ等ノ點ニ付キマシテ研究ヲスル

餘地ガアルノデアリマスガ、結局之ヲ基本ノ制度ヲ立テマスニハ、所謂根本的税制整理、是ハ考ヘ方ニ依リマスト、或ハ地方自治團體ノ制度マデ及ブノデヤナイカト思ハレル程ノ問題デアルト思フ、サウ云フノガ完成致シマセヌト、此問題ハハッキリ解決致シマセヌ、其完成ニ向シテハ成ベク早イ機會ニ進ミタイト思フノデアリマス、今御話ノ如ク、モウ少シ増スカモウ少シ減スカト云フ今ノ行キ方ハ、是ハ基本ノ觀念カラ云ヘバ、洵ニ中途半端デ、斯ウ云フコトデズット進ムト云フコトハ宜シクナイト思ヒマス、併シ今申上ゲタ通リデアリマシテ、基本的ノ税制整理ヲ今年度トシテハ延期致シマシタ際ニアリマスカラ、此ノ場合問題トシテハ、是ハ致シ方ガナイト思ヒマス、成ベク早イ機會ニサウ云フ基本的ノ整理ノ出來ルコトヲ、吾々トシテモ希望致シテ居ル次第デゴザイマス

○水谷委員 ソレデハ其中央地方ヲ通ズル根本的ノ税制整理ガ行ハレル迄ハ此儘ニ行ク、併ナガラ中央地方ヲ通ジテノ税制整理ガ根本的ニ行ハレル時ニハ、此問題ヲ本質的ニ検討スルト云フ御考デスカ

○賀屋國務大臣 左様デゴザイマス

○高橋委員長 水谷君、宜シウゴザイマス

○水谷委員 宜ウゴザイマス

○岡田委員 此増税ヲスルニ付テ收稅吏ノ數ヲ増スノデスカドウデスカ、其事ト、序ニ一括シテ申上ゲテ置キマスガ、特別入場税デスガ、アレハ教育界ニ於テモ議論ガアルヤウデアリマス、之ニ付テハ大藏省ナリ、文部省アタリニモ御話ガアッタデアラウト思ヒマスガ、詰リ學生ノ「スポーツ」ニ對シテモ相當ノ金ヲ取ル、今國民ノ體位ノ增進、或ハ學生ノ體位ノ低下ガ憂ヘラレテ居ル際デアリマスカラ、斯ウ云フモノハ寧ロ金ヲ取ラズ、獎勵シタラ宜カラウト云フ議論モアル、殊ニ形ハ變ッテモ一種ノ納稅ヲスルト云フコトハ、即チ學生ノ氣分ニ及ボスコトガアリハシナイカト云フヤウナコトガ、教育界其他ニアルヤウニ思ッテ居リマスガ、ソレニ對スル政府トシテノ御意見ハドウナツ

○岡田委員 須リ諄クナッテ相濟マヌノデスガ、今ノ特別觀覽稅デスガ、學生ノ分ハドレ位ノ見込デスカ、大シタ額デナイヤウデ、過激ニ涉ラズ、脫稅ナク參リマス爲ニハ、徵稅費ヲ増サナケレバナラヌ、人員ノ增加モ必要デアリマス、ソレニ付キマシテハ、豫算案ヲ提出シテ御審議ヲ願ヒタイト思テ居リマス、第一ノ御質問ニ付キマシテ

○大矢政府委員 特別入場稅ノ收入ハ約十錢或ハソレ以上ノ金錢ヲ投ジテ參リマス、只今豫算ノ數字ハハッキリ覺エテ居マス、ソレハ下級ノ官吏ガ主デアリマス

○岡田委員 ドウ云フ程度デアリマスカ、チヨット簡單ニ要領ガ分レバ宜イノデス

○賀屋國務大臣 約經費年額、俸給事務費二百五十万圓デアリマス

○岡田委員 是ハ意見ニナリマスガ、兎ニ角十二万圓位ノモノナラ取ル必要モナイト思フ、餘リ政府ノ考ガ小サ過ギル、唯平衡ダトカ、均一ニシヨウト云フ考デヤラレルヨリハ、モット大局的ニ觀夕方ガ宜イ、併シ是ハ意見デアリマスカラ申上ゲ放シニシテ置キマス、今度ハ公債ト社債トノ關係ヲ伺ヒタインデス、今度ノ稅法ヲ變ヘマスト云フト、公債ノ方ハ舊稅率ヨリカ半分ニナッテ居リマス、百分ノ四割九分二厘ニナッテ居リマス、社債ハ百分ノ五ガ却テ百分ノ八ニナッテ居リヤウニ思フデアリマス、ソレハ見間違ヒデアルカドウカ、基礎的ノコトデ間違フト困ルカラ、ソコヲ一寸伺ッテ置キタイ

○岡田委員 餘リ諄クナッテ相濟マヌノデスガ、今ノ特別觀覽稅デスガ、學生ノ分ハドレ位ノ見込デスカ、大シタ額デナイヤウニ思ヒマス、ソレト併セテ稅務官吏ヲ増スニ付テドノ位ノ金ガ要ルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○賀屋國務大臣 簡單ニ申上ゲマスガ、公債ノ方ハ減稅致シマセヌノデ其儘デアリマス

○岡田委員 官吏ノ増員ノ金ハ幾ラデスカ時ニ増加致シマシタ程度ニ近イモノト思ヒマス、只今豫算ノ數字ハハッキリ覺エテ居マス、ソレハ下級ノ官吏ガ主デアリマス

○賀屋國務大臣 是ハ大體昨年臨時增徵ノ税デスガ、アレハ教育界ニ於テモ議論ガアルヤウデアリマス、之ニ付テハ大藏省ナリ、文部省アタリニモ御話ガアッタデアラウト思ヒマスガ、詰リ學生ノ「スポーツ」ニ對シテモ相當ノ金ヲ取ル、今國民ノ體位ノ增進、或ハ學生ノ體位ノ低下ガ憂ヘラレテ居ル際デアリマスカラ、斯ウ云フモノハ寧ロ金ヲ取ラズ、獎勵シタラ宜カラウト云フ議論モアル、殊ニ形ハ變ッテモ一種ノ納稅ヲスルト云フコトハ、即チ學生ノ氣分ニ及ボスコトガアリハシナイカト云フヤウナコトガ、教育界其他ニアルヤウニ思ッテ居リマスガ、ソレニ對スル政府トシテノ御意見ハドウナツ

○岡田委員 須リ諄クナッテ相濟マヌノデスガ、今ノ特別觀覽稅デスガ、學生ノ分ハドレ位ノ見込デスカ、大シタ額デナイヤウデ、過激ニ涉ラズ、脫稅ナク參リマス爲ニハ、徵稅費ヲ増サナケレバナラヌ、人員ノ增加モ必要デアリマス、ソレニ付キマシテハ、豫算案ヲ提出シテ御審議ヲ願ヒタイト思テ居リマス、第一ノ御質問ニ付キマシテ

○大矢政府委員 特別入場稅ノ收入ハ約十錢或ハソレ以上ノ金錢ヲ投ジテ參リマス、只今豫算ノ數字ハハッキリ覺エテ居マス、ソレハ下級ノ官吏ガ主デアリマス

○賀屋國務大臣 簡單ニ申上ゲマスガ、公債ノ方ハ減稅致シマセヌノデ其儘デアリマス

ス、ソレカラ税率ノ數字ハ、詳イコトヘ政
府委員カラ申上ガマス、社債ノ方ハ原則ト
シテ、ヤハリ他ノ所得稅ト同ジク一割五分
増デアリマス、唯此二割五分ト致シマスト
端數ガ出テ、實際非常ニ不便デアリマスカ
ラ、端數ガ出ナイヤウニ多少ノ切上ゲヲス
ルコトニナルカモ知レマセヌ、今申上ゲタ
通リデアリマスカラ、其具體的ノ數字ハ政
府委員カラ申上ガマス

○大矢政府委員 公債ノ利子ハ、利率年四
分以下ノモノハ、所得稅ノ方ハ据置デゴザ
イマス、利率年四分ヲ超ユルモノハ二割五
分増徵致シマシテ、百分ノ一・五デアリマ
ス、社債ノ方ハ利率年四分五厘以下ノモノハ、
臨時租稅增徵法ニ於テ百分ノ七・五トナツ

テ居リマスガ、之ヲ百分ノ八ト致シマス、
利率年四分五厘ヲ超ユルモノハ、臨時租稅
增徵法ニ於テハ百分ノ七・五デアリマスノヲ
百分ノ九・五ト致シテ居リマス、資本利子稅
ノ方ハ全部据置デアリマス

○岡田委員 一寸今聞漏ラシマシタガ、社
債ハ幾ラト仰シヤイマシタカ

○大矢政府委員 今度ノ改正案ニ於キマシ
テハ、利率年四分五厘以下ハ百分ノ八、年
四分五厘ヲ超エルモノハ百分ノ九・五ニシ
テ居リマス

ス、ソレカラ税率ノ數字ハ、詳イコトヘ政
府委員カラ申上ガマス、社債ノ方ハ原則ト
シテ、ヤハリ他ノ所得稅ト同ジク一割五分
増デアリマス、唯此二割五分ト致シマスト
端數ガ出テ、實際非常ニ不便デアリマスカ
ラ、端數ガ出ナイヤウニ多少ノ切上ゲヲス
ルコトニナルカモ知レマセヌ、今申上ゲタ
通リデアリマスカラ、其具體的ノ數字ハ政
府委員カラ申上ガマス

○大矢政府委員 公債ノ利子ハ、利率年四
分以下ノモノハ、所得稅ノ方ハ据置デゴザ
イマス、利率年四分ヲ超ユルモノハ二割五
分増徵致シマシテ、百分ノ一・五デアリマ
ス、社債ノ方ハ利率年四分五厘以下ノモノハ、
臨時租稅增徵法ニ於テ百分ノ七・五トナツ

テ居リマスガ、之ヲ百分ノ八ト致シマス、
利率年四分五厘ヲ超ユルモノハ、臨時租稅
增徵法ニ於テハ百分ノ七・五デアリマスノヲ
百分ノ九・五ト致シテ居リマス、資本利子稅
ノ方ハ全部据置デアリマス

○岡田委員 一寸今聞漏ラシマシタガ、社
債ハ幾ラト仰シヤイマシタカ

○大矢政府委員 今度ノ改正案ニ於キマシ
テハ、利率年四分五厘以下ハ百分ノ八、年
四分五厘ヲ超エルモノハ百分ノ九・五ニシ
テ居リマス

○岡田委員 公債ノ方ハ新舊トモ据置ト云
フ御話デアリマシタガ、私ハ表ガ手許ニナ
イノデ困ルノダガ、サウナッテ居リマスカ
○大矢政府委員 公債ハ利率年四分以下ノ
モノハ据置デアリマス、ソレカラ利率四分
ヲ超エルモノハ二割五分ノ増徵ヲ致シテ居
リマス

○大矢政府委員 公債ハ利率年四分以下ノ
モノハ据置デアリマス、ソレカラ利率四分
ヲ超エルモノハ二割五分ノ増徵ヲ致シテ居
リマスガ、一面ニハ增资ノ方モ政府ガ

拓ガ遅レテ居ルト云フコトニ認メラレルノ
シテアリマスガ、一面ニハ增资ノ方モ政府ガ
モノハ据置デアリマス、ソレカラ利率四分
ヲ超エルモノハ二割五分ノ増徵ヲ致シテ居
リマス

○岡田委員 ソコデ此公債ト社債トノ關係
ニ付テ私共調ベサセテ見タノデアリマスガ、
大體公債ト比ベテ、社債ト云フモノニ對ス
ル方が非常ニ高クナルヤウニ思フ、大體論
トシテ公債ノ方ハ相當ニ多クナッテ居リ、社
債ノ方ハ少イヤウニ見エル、デ一方ニ資金
ノ調整法ナドト云フモノガアリマシテ、隨
分資金ノ調達ガ難カシクナッテ居ル、其上ニ
社債ニ對スル方ハ十分ニ出來テ居ラヌト云
フヤウナコトニナッテ居ル、此社債市場ト云
フモノガ不景氣ニナルコトハ是ハ當然デア
リマス、此前十七日デアッタカ、大藏大臣ハ

ト云フノガ三千万圓、其位ノモノデアリマ
シテ、社債ノ方面ニ付テハ、隨分市場ノ開
拓ガ遅レテ居ルト云フコトニ認メラレルノ
シテアリマスガ、一面ニハ增资ノ方モ政府ガ
モノハ据置デアリマス、ソレカラ利率四分
ヲ超エルモノハ二割五分ノ増徵ヲ致シテ居
リマス

○大矢政府委員 公債ハ利率年四分以下ノ
モノハ据置デアリマス、ソレカラ利率四分
ヲ超エルモノハ二割五分ノ増徵ヲ致シテ居
リマスガ、一面ニハ增资ノ方モ政府ガ

モノハ据置デアリマス、ソレカラ利率四分
ヲ超エルモノハ二割五分ノ増徵ヲ致シテ居
リマスガ、一面ニハ增资ノ方モ政府ガ
モノハ据置デアリマス、ソレカラ利率四分
ヲ超エルモノハ二割五分ノ増徵ヲ致シテ居
リマス

○岡田委員 ソコデ此公債ト社債トノ關係
ニ付テ私共調ベサセテ見タノデアリマスガ、
大體公債ト比ベテ、社債ト云フモノニ對ス
ル方が非常ニ高クナルヤウニ思フ、大體論
トシテ公債ノ方ハ相當ニ多クナッテ居リ、社
債ノ方ハ少イヤウニ見エル、デ一方ニ資金
ノ調整法ナドト云フモノガアリマシテ、隨
分資金ノ調達ガ難カシクナッテ居ル、其上ニ
社債ニ對スル方ハ十分ニ出來テ居ラヌト云
フヤウナコトニナッテ居ル、此社債市場ト云
フモノガ不景氣ニナルコトハ是ハ當然デア
リマス、此前十七日デアッタカ、大藏大臣ハ

タガ、私ノ黨ノ専門家ニ付テ聞イテ見ルト、
段々ニ逆ニ行シテ居ルヤウニシカ見エヌ、是
ハ増稅ノミガ原因ト云フコトヲ私ハ申シ
テ居ルノデハアリマセヌ、詰リ原料ノ輸
入ヲ制限スルコト等ガ隨分影響シテ居
ル、私ガ或事ニ關係シテ段々見テ居ルト、
ドウモ其當座ノ爲替ノ「バランス」ノミヲ見
テ居ラレテ、是ガ一年先、半年先ニ戻シテ來
ルノヲ、例ヘバ僅カ五十萬圓ノ藥品ヲ輸入
シテ來レバ、ソレガ一年後ニハ三百万圓、
五百萬圓ニナッテ、全部外國ニ出ルト云フヤ
デアリマスガ、一面ニハ增资ノ方モ政府ガ
ウナモノニ付テモ中々許サナイ、ドウモ時
ノ觀念ガナイヤウニ見エル、ソコニ持ッテ來
テ今度ノ增稅ガ拍車ヲ掛ケルト云フコトニ
ナルト、私ハドウモ大局ヲ誤リハセヌカト
思フ、先刻申スヤウニ、僅カ十二萬圓ノ金
ヲ取ラウト云フヤウナ、隨分漁リ盡スヤウナ
コトヲシテ、ソレガ一般ノ物價ニ影響シテ
來ル、然ラバ今度ハ商工省ノ輸出入ニ付テ
ノ扱ヲ見テ居ルト、協議會ヲ起シテ需給ノ
調整ヲスルト云フヤウニナッテ居ル、去年ハ
官僚獨リデヤラウトシテ居ツタ、ヤッテ見タ
ラ行詰ツタ、ソコデ今度ハ協議會ニシマセ
ウ、惡ク言ヘバ協議會ニ責任ヲ轉嫁シマセ
ウ、良ク言ヘバ智慧ヲ借リマセウト云フノ
デアル、ソレモ宜カラウ、斯ウ云フヤウニ獨

持ツテ來テ又今度增稅ヲスルト、社債ノ方ハ
迄、次々ト減退ノ形ヲ備ヘテ居ル、ソコニ
ナッテ居リマス、昨年十一月以降今日ニ至ル
ベテ、三割七分ヲ減ジテ居ルヤウニ統計デ
フコトニ付テハ、度々他ノ委員カラ御話ガ
アッタ通リデアリマス、今年一月ヲ昨年ニ比
べテ、三割七分ヲ減ジテ居ルヤウニ統計デ
ノ扱ヲ見テ居ルト、協議會ヲ起シテ需給ノ
調整ヲスルト云フヤウニナッテ居ル、去年ハ
官僚獨リデヤラウトシテ居ツタ、ヤッテ見タ
ラ行詰ツタ、ソコデ今度ハ協議會ニシマセ
ウ、惡ク言ヘバ協議會ニ責任ヲ轉嫁シマセ
ウ、良ク言ヘバ智慧ヲ借リマセウト云フノ
デアル、ソレモ宜カラウ、斯ウ云フヤウニ獨

リ大藏省ノミナラズ、政府ノ爲ス所ガドウニモ口ニ言フ所ト逆ニヽヽ行ッテ居ルヤウニ思フ、サウシテ此間モ商工大臣ガ言ッタヤウニ、暴利取締デヤラウトスレバ逆ニナッテ來ル、サウナッテ來ルノハ當リ前デス、此前ノ仲小路サンノ時モ、暴利取締デ頭ヲ蹴飛バシタラ米ノ價格ガ落チルダラウト思ッタガ、ヤレバヤル程米ノ價格ハ逆ニ上ッテシマツタ、大隈サンモ米ヲ下グテヤラウト思ッタガ、ソレモ成功シナカッタ、ソレト同ジコトデ、ドウモ逆效果ヲ生ズルヤウナコトガ非常ニ懸念サレル、大藏省ノ人ハ稅ヲ改正コトダケヲヤルト云フヤウニ、ドウモ細力イコトニ手ヲ盡シテ、散リヽヽバラヽヽニヤルモノダカラ、却テ外國カラ日本ノ國家ノ脆弱性ヲ疑ハレル、内地ニ於テハ不安ヲ起シ、外國ニ向ツテハ産業貿易ノ不振、乃至ハ國家ノ信用ノ上ニモ影響シテ來ルト私ハ思フ、サウ云フ一面ニハ國家ノ治安ハ一ツモ維持サレテ居ラヌ、内務省ナドハ無責任デアル、其治安維持ガ良ク行カヌト云フコトガ、又翻ツテ外國ニ日本ノ脆弱性ヲ示シツ、アル、北支事變ノ特別稅法ノ如キモサウトハアリマセヌカ、今年度ノ暮デ以テモウ

止メタノハ宜イケレドモ、別ニ大袈裟ナモノヲ出シテ來テ居ル、是デ何處ニ政府ニ對スル信賴ガ起キルダラウカ、モット根本的ニリ大藏大臣ノ手デ以テ、根本的ノ對策ヲ明瞭ニ示シテ貴ヒタイト思フ、度々言ハレル通リ一ツモ内容ニ於テ觸レテ居ラヌト思フ、茲ニ假ニ一例ヲ舉ゲテ見ルト、「イーデン」外相ノ辭職ニ依ツテ、又「ヒットラー」ノ聲明ニ依ツテ、日本ノ外交方面或ハ日本ノ產業政策ノ上ニモ、是ガ一ツノ著眼點デアリ、一ツノ働キヲシナケレバナルマイト思フ、此事件ノ起ルノヲ知ツテ豫メ處理シタカドウカ、外務大臣ニ聽カナケレバ分ラヌガ、併シ起シタ以上ハ、政府當局殊ニ大藏當局ナドニ於テ、ドウシテ之ニ對スル處理ヲスルカト聽イタ時ニ、私ハ答ヘラヌダラウト思フ、答ヘラレタラ答ヘテ見テ戴キタイ、ドウモ政府ハ一局部々々ニ偏シテ考ヘテ居シテ、統一セル所ノモノデナイ、全體的ノ態度ヲ執ツテ居ラヌコトヲ私ハ非常ニ憾ム、内治外交ニ亘ツテドウ云フ風ニヤルノダ、ソレカラ又占領地ニ於テハ、ドウ云フ風ナ態度ヲ以テヤルノダト云フコトハ、ボツ／＼新聞ニ出テ來ルケレドモ、政府ハ今日マデ一ツモ確定セル方針ヲ示シタ

糧ニ依ルト云フ政策ハドウ云フ風ニスルノダ、徒ニ自然ノ時ノ流レニ委シテ置クト云
決メナイ中ニ、出先ニ於テ勝手ナ方策ヲ決
メテ、到頭逆ニ日本ノ產業ノ爲ニ大ナル損
害ヲ來スコトモアル、其一例ヲ舉ゲテ見ル
ト、此間北支ノ方面デ以テ海關稅率ヲ變ヘ
タデアリマセウ、私ハ驚イタノデス、見ル
ト多クノ小麥粉ヲ列國トモ均等ニ之ヲ輸
入サセテ居ル、初メノ中ハ必需品デアルト
云フコトデ、適當ノ取締ノ下ニ日本ノミヲ
無稅ニテ入レテ居ツタ、所ガ今度ハ公平振リ
ヲ發揮シテ、總テノ國ノ小麥ヲ均一ニ入レ
ルノダト云フコトニシテシマツタ、之ヲ一體
我國ノ大藏省、商工省、外務省ハドウ見ル
ノデアルカ、其爲ニ日本ノ内地ノ小麥ト云
フモノハ、相當保護シテ上ツタモノガ、下ツ
テ居ル、向フノ方ノ人ハドン／＼安イ小麥
ヲ使ツテ、濠洲カラモ、亞米利加カラモ、加
奈陀カラモ入レテ來ル、ソレナラ日本ノ人
ガ日本小麥ノ高イモノヲ捨テテ、向フノ安
イ小麥ヲ買ハウトスレバドウカト云フト、大
藏省ノ方デハ爲替管理デ止メテシマツテ居ル
ノデ、買フコトガ出來ナイ、ミス／＼日本ノ
商權ト云フモノハ損害ヲサセラレテシマツ

ナルデハナイカ、ノミナラズ外征シテ居ルニナツテ仕事ヲシテ居ル結果デアリマス、此間私ハ外務省ノ人ニ言ッテ置イタノデス、此小麥ノ問題ハ重大ナル問題デアル、若シカ之ヲ戰場ニ於ケル所ノ將士ガ聞イテ、自分ノ鄉土ニ於ケル折角ノ小麥ガ外國品ノ爲ニ壓倒サレテ、物ノ用ニ立タナクナツテ居ルト云フコトヲ聞イタナラバ、是ハ軍紀ノ上ニモ影響スル大キナ問題デアル、今之ニ付テ纏メテ大藏大臣ノ答辯ヲ求メルト云フコトモ出來ナイノデアリマスガ、私ハ茲ニ自分ノ不平ナリ意見ヲ述べ置ク、今日ノ政府ハ統一セル形ヲ成シテ居ラヌ、今ノ小麥ノ問題ニ付テモ、假ニ政府ニ辯明ガアルナラバ、政府ヲ代表シテ辯明シテ貰ヒタイ、是ハ大キナ問題デアリマス、ソレカラ「ヒトラー」ヤ「イーデン」ノ如キ事件ニ付テ、政府ハドウ云フ對策ヲ執リツ、アルノデアルカ、是モ聽イテ見タイ、若シ今日御答辯ガナカツタナラバ、此二點ニ付テハ、特ニ他ノテ吳レルノダ、農村ノ小麥ト云フモノヲドウシテ吳レルノダ、是ガ詰リ政府ガバラシニナツテ

於キマシテモ、社債ニ對シテドウモ稅ノ課
ケヤウガ足リナイ、保護シ過ギルト云フ御
議論ガ各方面カラ出タノデアリマス、岡田
サンノ方ハ、ソレト丁度反對デアリマシテ、
モット保護シロト云フ、洵ニ御趣旨ニ御贊成
デアリマス、私モ十分ニ保護シテ居リマス
ガ、社債デモ高率ノ四分五厘ヲ超エマスモ
ノハ、是ハ既發社債デアツテ、其利率ハ高イ
ノデアリマス、是ハ皆様ノ御議論ノ如ク、
特ニ保護スル所ノ必要ガアリマセヌカラ、
他ノ所得稅ト同ジクニ割五分ノ増徵ヲ致シ、
其外高率社債トシテ四分五厘ヲ超エル利子
ノ一割ト云フモノヲ、特ニ稅トシテ取ツテ居
易ナラシメル必要ガナイカラデアリマス、
リマス、是ハ相當ノ課稅デアラウト思ヒマ
ス、是ハ只今サウ云フモノノ新規發行ヲ容
併シ四分五厘ヲ超エマセヌモノハ、之ヲ特
ニ保護スル趣旨ヲ以チマシテ、端數整理ノ程
度ニ止メルコトト致シマシタ、ドウモ產業
資金ガ株ノ拂込ノミニ集中シマシテ、社債
ヲ發行ガ出來ニクイ状況デアルノデアリマ
ス、ソレデ社債市場ガ再開ヲシタバカリデ
スガ、今後十分ニ此状態デ進ムト思ツテ居
ルノデ、既發社債ノ値ノ動搖ヲ來サナイ、

斯ウ云フコトヲ考ヘマスルト、現行税率ヲ
動カサナイト云フコトガ一番適切ナ政策デ
アル、是ハ社債市場ヲ育テテ、社債ノ發行
ヲ容易ニシ、必要ナル産業資金ヲ得ルノニ
最モ適當ナ方法デアリマスカラ、ソレデ据
置イタノデアリマス、併シ七分五厘ト云フ
率ヲ八分ニ致シマシタノハ、是ハ端數計算
デ、七分五厘デスト北支事件特別稅ノ關係
モアリ非常ニ取扱ノ上ニ不便ヲ感ズルコト
ガ當業者ノ方ニ多イノデ、端數計算ノ上ニ
於テ八分ニシタノデ、是ハ岡田サンノ意見
ト基本ニ於テ同ジ趣旨デアリマシテ、今申
シタ方策ガ適當ダト思フノデアリマス、ソ
レカラ尙ホ戰時經濟政策ノ話ガアリマシタ
ガ、是ハ昨年カラ度々申上ゲテ居リマスノ
デ、只今ノ經濟政策ハ臨時資金調整法ト輸
出入ニ關スル臨時措置ニ關スル法律、此二
本ヲ樞軸トシテヤツテ居リマシテ、是ガ
日本ノ全生產力、日本ノ全國際收支、全貿
易、斯ウ云フモノヲ對象トシテ動カスノデ
アリマシテ、他ノ機會ニモ申上ゲマシタガ、
單ニ戰費デアルトカ、サウ云フモノデナ
ク、經濟上ノ現象ノ基本デアリマスル所ノ
モノヲ對象トシテ動イテ居リマス、若シモ
或ハ今日ノ物價騰貴ハ逆モ此程度ニ於テ納ツ

テ居ルモノデハナイト思フ、又輸出入ニ關スル臨時措置ニ關スル法律ト云フヤウナモノノ運用ガアリマセヌデシタナラバ、一時ハ輸入ガ樂デ各方面ハ殷賑ヲ來シマスデアリマセウガ、同時ニ非常ニ物價騰貴ガ伴フノデ、爲替ノ暴落ガ來テ國民生活ノ安定ハ或ハ破壞サレテ居ルカモ知レマセヌ、總テ其經濟上ノ基本ニ向ツテ體制ヲ執ツテ進ンデ居リマスコトハ、毎々申上ゲタ通リデアリマス、今ノ輸出入ノ時期ノ關係モアリマスガ、是モ前ニ申上ゲタノデアリマス、今幾ラ投資ヲスレバアト幾ラ海外收入ガアルト云フ場合ノ計算ハ、是ハ吾々ニモ能ク分ルノデアリマス、唯其時ノ爲替狀況ニ於テ、決済ノ付ク付カナイト云フコトハ考ヘナケレバナリマセヌ、其決済ノ付ク範圍ノモノヲ許サナケレバナリマセヌカラ、先デ相當利益ガアリマス場合デモ、一時御忍ビヲ願フ必要ガ起ルノデアリマス、ソレデ私共ハ先デ樂ニナルコトヲ第一ニ希望スルノデアリマス、將來ノ受取勘定ノ増加、輸出ノ増加ニナルコトニハ極メテ贅成ナンデアリマスガ、其時ノ爲替資金ノ状況ニ付テハ非常ニ是ハ一時御手控ヲ願ハナケレバナラヌ場合ガアル、爲替資金ノ状況等ニ付テハ非常ニ是ハ極祕ニ屬スルコトデアリマス、一々御説明

申上ゲマセヌガ事情ヲ參酌シマシテ、サウ云フ風ニ相成ルノデアリマス、尙ほ段々民間ノ協議會等ヲ設ケロト云フ御話デアリマスガ、輸入ノ管理法ト云フコトヲ唯當業者ガヤル、爲替管理法ナラ正金銀行ノ爲替ノ「エキスピート」ガヤル、ソンナモノデヤナインデアリマス、詰リ毎々申上ゲマシタヤウニ、全輸入計畫、金融輸出計畫ト云フモノヲ立テ、ソレヲ時期的ニ相手的ニ考ヘル、之ガ主要商品別ノ計畫ガ立チマシテ、其上デ此一々ノ許可ノ巧拙ト云フコトガ起ツテ來ルノデアリマス、昨年來ハ何サマ今迄ヤラナイコトデアリマシテ、初メテデアリマシタカラ、其處マデ行ツテ居リマセヌ、昨年各方面一生懸命ニナリマシテ、政府モ及バズナガラ一生懸命ニナツテヤリマシテ、基本ノ計畫ハ立チマシタカラ、此上ハ其一々ノ許可ヲ旨クヤラナケレバナラナイ、是ハ決シテ旨ク行ツテ居ルトハ申上ゲル自信ハ吾々ニモナイ、是ハ初メテノ行政デアリマスカラ、從事致シテ居リマスル官吏ヲ責メル譯デハアリマセヌ、是ハ已ムヲ得ヌノデアリマスガ、其コトハ大體ノ今ノ目標ノ立チマシタ範圍ニ付キマシテハ、非常ニ當業者ノ意向、力ヲ借リマスガ、是ハサウ云フ順序ニナルト思ヒマス、他ノ機會ニモ申上ゲマシタガ、輸入ノ管理法ナラ正金銀行ノ爲替ノ「エキスピート」ガヤル、ソントラ唯當業者ガヤル、爲替管理法ナラ正金銀行ノ爲替ノ「エキスピート」ガヤル、ソントラ唯當業者ガヤル、爲替管理法

シテ、同ジ許スニ付キマシテモ、許シヤウガ上手ナラバ當業者ノ仕事ガ非常ニヤリ易イト云フコトニナル、之ニ進ンデ居ルノデアリマス、大體ハ昨年ノ後半期ハ事變モ起デ居タノデアリマス、今後益、サウ云フ風ニ努力シテ参リタイト思ヒマス、「ヒットラー」ノ演説ヤ「イーデン」ノ辭職ニ付キマシテハ、私共トシテ直チニ手ヲ打ツ方面モ今必要ト考ヘテ居リマセヌ、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○岡田委員 要スルニ政府ハ此時局ニ臨ムニ當ツテ、所謂不擴大デアルトカ、或ハ戰地ノ處分ニ任スト云フヤウナコトカラ引摺ラレテ來テ居ル、ソレガ豫算ノ上ニ見エ居ル、併ナガラ何處ヘモ臨時當座ニヤルト云フヤウナ出發點ハ見エテ居ラナイ、所謂持久ニナッタ以上ハ、總テノ方策ト云フモノヲ統合シテ内治外交ヲ統一シテヤラナケレバナラヌ、外地ノ關係モ能ク見ナケレバナラヌ、其統合的ノ政策が非常ニ缺ケテ居ルト云フコトヲ先刻カラ申上ゲテ居ル、私ノ觀察ヲ述べテ居ル、大藏大臣が個々ノ事情ニ付テ御述ニナルコトハ諒トスル點モアル、又官僚デ以テ基礎ヲ決メテ、其後ヲ民間ニ相談スルト云フコトニナッタコトモ一つノ進歩デアリマスケレドモ、結局長期抗戦ニ

シテ、同ジ許スニ付キマシテモ、許シヤウガ上手ナラバ當業者ノ仕事ガ非常ニヤリ易イト云フコトニナル、之ニ進ンデ居ルノデアリマス、大體ハ昨年ノ後半期ハ事變モ起デ居タノデアリマス、今後益、サウ云フ風ニ努力シテ参リタイト思ヒマス、「ヒットラー」ノ演説ヤ「イーデン」ノ辭職ニ付キマシテハ、私共トシテ直チニ手ヲ打ツ方面モ今必要ト考ヘテ居リマセヌ、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○岡田委員 要スルニ政府ハ此時局ニ臨ムニ當ツテ、所謂不擴大デアルトカ、或ハ戰地ノ處分ニ任スト云フヤウナコトカラ引摺ラレテ來テ居ル、ソレガ豫算ノ上ニ見エ居ル、併ナガラ何處ヘモ臨時當座ニヤルト云フヤウナ出發點ハ見エテ居ラナイ、所謂持久ニナッタ以上ハ、總テノ方策ト云フモノヲ統合シテ内治外交ヲ統一シテヤラナケレバナラヌ、外地ノ關係モ能ク見ナケレバナラヌ、其統合的ノ政策が非常ニ缺ケテ居ルト云フコトヲ先刻カラ申上ゲテ居ル、私ノ觀察ヲ述べテ居ル、大藏大臣が個々ノ事情ニ付テ御述ニナルコトハ諒トスル點モアル、又官僚デ以テ基礎ヲ決メテ、其後ヲ民間ニ相談スルト云フコトニナッタコトモ一つノ進歩デアリマスケレドモ、結局長期抗戦ニ

移ツタソダト云フ覺悟ガドウモ政府ニ足ラ

ス、國民ニ唯持タセルダケデ、政府其モ

ノガモット統一シテヤラナケレバイカヌデ

アラウト思フ、其點ヲ御注意致シテ一應私

ハ打切り、又他ノ大臣ノ變ツタ事ニ付テ御說

明ノアル時ガアリマスレバ、其時ニ再ビ御

聽キヲスルコトニ致シマス

○高橋委員長 丁度十二時近クデスカラ、

次ハ川崎末五郎君ノ御質疑ガアル筈デアリ

マスケレドモ、時刻ガ時刻デスカラ、午前

ノ會議ハ此程度デ休憩致シマシテ、午後ハ

一時ヨリ開會致シマス

午前十一時休憩

午後一時三十五分開議

○高橋委員長 交渉致シマセウ

○川崎(末)委員 ソレデハ私ハ是ヨリ此委員會ニ提案サレテ居リマス各種稅法ノ改正

案ニ付テ順次御質問致シタイト思ヒマスガ、

先づ其前提ト致シマシテ、一二ノ事項ニ付キ

マシテ特ニ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト

思フノデアリマス

其第一ハ中央、地方ヲ通ジテノ根本的ノ

稅制改革、此題間デアリマス、第一ハ地方

ノ重要ナル委員會ニ出席申デ、コチラノ方

ニハ來ラレナイヤウナ趣デアリマス、國家

ノハ、此第二ノ問題ニ付キマシテ、大藏大

臣ノミナラズ、内務大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ

テ此コトヲ御願致シテ置ク次第デアリマス、

昨年ノ通常議會ニ於キマシテ、臨時租稅增

ハドウカト思ツテ居リマス

○川崎(末)委員 御言葉ヲ返シテ恐入リマスガ、本日内務大臣ノ御出席が御困難デゴ

ザイマスレバ、或ハ後日ニ於テ内務大臣ノ

ノガモット統一シテヤラナケレバイカヌデ

アラウト思フ、其點ヲ御注意致シテ一應私

ハ打切り、又他ノ大臣ノ變ツタ事ニ付テ御說

明ノアル時ガアリマスレバ、其時ニ再ビ御

聽キヲスルコトニ致シマス

○高橋委員長 内務大臣ノ出席ヲ求メルコ

トニ考ヘテ居リマス

○川崎(末)委員 内務大臣ハ更ニ適當ノ機

会ニ御出席アリマスナラバ、其時ニ御尋致シ

タイト思ヒマス、幸ヒ内務省ノ政府委員ハ

御出デニナッテ居リマスガ、内務省ノ政務官

ニ御出席ヲ御願致スコトハ出來ナイデセウ

カ、一ツ御話置キヲ願ヒマス

○高橋委員長 交渉致シマセウ

○川崎(末)委員 ソレデハ私ハ是ヨリ此委員會ニ提案サレテ居リマス各種稅法ノ改正

案ニ付テ順次御質問致シタイト思ヒマスガ、

先づ其前提ト致シマシテ、一二ノ事項ニ付キ

マシテ特ニ大藏大臣ノ御所見ヲ伺ヒタイト

思フノデアリマス

其第一ハ中央、地方ヲ通ジテノ根本的ノ

稅制改革、此題間デアリマス、第一ハ地方

ノ重要ナル委員會ニ出席申デ、コチラノ方

ニハ來ラレナイヤウナ趣デアリマス、國家

ノハ、此第二ノ問題ニ付キマシテ、大藏大

臣ノミナラズ、内務大臣ノ御意見ヲ伺ヒタイ

テ此コトヲ御願致シテ置ク次第デアリマス、

昨年ノ通常議會ニ於キマシテ、臨時租稅增

ト思ツタカラデアリマス、尙ホ此ニツノ問題ニ付キマシテハ、既ニ本會議ニ於テモ幾多

ノ論議ガ交サレテ居ルヤウデアリマス、又

豫算總會其他ニ於キマシテモ、既ニ先輩ノ前田委員ヤ、

ニ於キマシテモ、既ニ先輩ノ前田委員ヤ、

岡田委員カラ質疑ガ交サレテ居リマシタノ

デ茲ニ斯様ナル問題ニ付キマシテ、重ネテ

私が時間ヲ拜借致スコトハ洵ニ恐縮ニ考ヘ

マス、隨テ私ト致シマシテモ、成ベク此ニツノ

問題ニ付キマシテハ、出來ルダケ重複ヲ避ケ

テ、且ツ極メテ簡単ニ致シタイト思ヒマスル

ガ、唯私ハ此委員會ニ提案サレテ居リマスル

各種稅法案ノ審議ニ當リ、私達ガ之ニ對スル

態度ト申シマスルカ、其心持ヲ定メル上カラ申

マシテ、此ニツノ問題ガ一ツノ重要ナル「キー・

ポイント」ヲ成シテ居ルト思ヒマスルノ

デ、重複ヲ恐縮ナガラ此ニ點ニ付キマシテ、

改メテ私ハ政府當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト

思ヒマス、此點ハ委員長ニ於カレテモ御諒

承ニナッテ、尙ホ政府ニ於テモ其意味ヲ御理

解下サレマシテ、極ク直截簡明デ宜シウゴ

ザイマスカラ、明晰ナル御答辯ヲ伺ヒタイト

思フノデアリマス、特ニ初メニ當リマシ

テ此コトヲ御願致シテ置ク次第デアリマス、

昨年ノ通常議會ニ於キマシテ、臨時租稅增

徵法案ノ提案サレマシタ場合ニ於キマシテ、私モ其委員ノ一人ニ加ツテ居ッタノデアリマス、今更當時ノ事情ヲ茲ニ繰返ス必要ハゴザイマセヌガ、當時私達ハ彼ノ所謂馬場案ト稱セラレテ居リマシタ、中央ト地方ヲ通ジテ居ッタノガ、政變ノ爲ニ是ガ中止サレマシタ、而シテ次ニ所謂結城案トシテ、此臨時租稅增徵法案ノ提案ヲ見ルニ至ッタノデアリマス、是ハ言フ迄モナク國稅ニ關スルモノデアッテ、而モ是ハ臨時的一年限リデ、最モ吾々ガ必要ヲ叫ンデ居リマシタ地方ノ稅制ノ改革ニ至リマシテハ、當時遺憾ナガラ一指モ觸レナカッタノデアリマス、僅ニ七千萬圓ノ地方財政補給金ヲ、地方ニ補給スルト云フヤウナコトヲ以テ、事ヲ彌縫スルニ過ギナカッタノデアッテ、此事ハ當時吾々ハ非常ニ遺憾トシタノデアリマス、隨テ一面ニ於キマシテハ地方財政ノ補給金ノ増額ヲ迫ルト同時ニ、臨時租稅增徵法案ノ審議ニ當リマシテ、幾多遺憾ナ點ガアリ、又如何カト考ヘラレル點モアリマシタケレドモ、是ハ一年度限リノモノデアルカラ、來ルベキ通常議會ニ於キマシテハ、是非共政府ニ於キマシテハ、中央地方ヲ通ジテノ根本的

ノ稅制改革ヲ行ッテ、而シテ國民ノ負擔ノ公正均衡ヲ圖ルト云フコトヲ吾々ハ希望シ、ヤウナ次第デアリマス、併ナガラ私ハ事實之ヲ條件トシテ、當時臨時租稅增徵法案ニ協賛ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、當時ノ政府ト致シマシテハ、此點ニ付テ吾々ニ向テ其實行ヲ言明サレマシタコトハ、今更茲ニ繰返ス必要ガナイノデアリマス、隨ヒマシテ政府ニ於キマシテハ、爾來吾々議會ニ對スル此約束ト申シマスルカ、又國民ニ對スル此約束ヲ果スト云フ爲ニ、相當ノ準備ヲ進メラレタコトデアラウト思フシ、又進メラレナクテハナラヌモノデアッタト思フノデアリマス、然ルニ昨年ノ七月ノ彼ノ北支事變ノ勃發、此影響ヲ受ケマシテ、遂ニ度々政府當局カラ御説明ガアリマシタヤウニ、此中央地方ヲ通ジテノ根本的ノ稅制ノ改革ヲ行フコトガ出來ナイヤウナ狀態ニ立至リマシテ、昨年ノ稅制調査會ニ於キマシテハ、私モ委員ノ一人トシテ、私ハ自分ノ主義、自分ノ考カラ申シマスレバ、多少見ル所ヲ異ニ致シマスケレドモ、當時ノ政府ハ私ノ當時ノ質問ニ對シテ、將來ニ於テノ大藏當局ノ實際事實上ニ於テ、此際中央地主考ヘラレル點モアリマシタケレドモ、是ハ一年度限リノモノデアルカラ、來ルベキ通常議會ニ於キマシテハ、是非共政府ニ付テ敢テ反對モシナケレバ、政

府ノ此實況ニ付キマシテ同情ヲ持ツテ居ッタルト云フコトニナレバ——時間ヲ取ルコトハ餘リ好マシクアリマセヌカラ、此際事情ヲ詳シク申上ゲテ行クコトハ省略致シスガ、一言ニシテ言ヘバ、斯様ニシテ假令向テ其實行ヲ言明サレマシタコトニ付テ、私ハソコ迄自身ト致シマシテハ、左様ナ事實ニ立至ツタ、即チ中央地方ヲ通ジテノ稅制改革ヲ行協賛ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、當時ノ政府ト致シマシテハ、其增稅ノ根本ノ基礎ト致シ茲ニ繰返ス必要ガナイノデアリマス、隨ヒマシテ政府ニ於キマシテハ、爾來吾々議會ニ對スル此約束ト申シマスルカ、又國民ニ對スル此約束ヲ果スト云フ爲ニ、相當ノ準備ヲ進メラレタコトデアラウト思フシ、又進メラレナクテハナラヌモノデアッタト思フノデアリマス、然ルニ昨年ノ七月ノ彼ノ北支事變ノ勃發、此影響ヲ受ケマシテ、遂ニ度々政府當局カラ御説明ガアリマシタヤウニ、此中央地方ヲ通ジテノ根本的ノ稅制ノ改革ヲ行フコトガ出來ナイヤウナ狀態ニ立至リマシテ、昨年ノ稅制調査會ニ於キマシテハ、私モ委員ノ一人トシテ、私ハ自分ノ主義、自分ノ考カラ申シマスレバ、多少見ル所ヲ異ニ致シマスケレドモ、當時ノ政府ハ私ノ當時ノ質問ニ對シテ、將來ニ於テノ大藏當局ノ實際事實上ニ於テ、此際中央地主考ヘラレル點モアリマシタケレドモ、是ハ一年度限リノモノデアルカラ、來ルベキ通常議會ニ於キマシテハ、是非共政府ニ付テ敢テ反對モシナケレバ、政

能ナ狀態デアルト云フ、此事實ヲ諒ト致シテ何等カノ形ニ於テ、何等カノ額ノ增稅ガ茲ニ行ハレルト云フコトハ、是ハ必然ト思ツテ居ッタ、而シテ私ノ考ヘル所ニ依リマス、此點ニ付テ敢テ反對モシナケレバ、政

ルト云フコトニナレバ——時間ヲ取ルコトハ餘リ好マシクアリマセヌカラ、此際事情ヲ詳シク申上ゲテ行クコトハ省略致シスガ、一言ニシテ言ヘバ、斯様ニシテ假令向テ其實行ヲ言明サレマシタコトニ付テ、私ハソコ迄自身ト致シマシテハ、左様ナ事實ニ立至ツタ、即チ中央地方ヲ通ジテノ稅制改革ヲ行協賛ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、當時ノ政府ト致シマシテハ、其增稅ノ根本ノ基礎ト致シ茲ニ繰返ス必要ガナイノデアリマス、隨ヒマシテ政府ニ於キマシテハ、爾來吾々議會ニ對スル此約束ト申シマスルカ、又國民ニ對スル此約束ヲ果スト云フ爲ニ、相當ノ準備ヲ進メラレタコトデアラウト思フシ、又進メラレナクテハナラヌモノデアッタト思フノデアリマス、然ルニ昨年ノ七月ノ彼ノ北支事變ノ勃發、此影響ヲ受ケマシテ、遂ニ度々政府當局カラ御説明ガアリマシタヤウニ、此中央地方ヲ通ジテノ根本的ノ稅制ノ改革ヲ行フコトガ出來ナイヤウナ狀態ニ立至リマシテ、昨年ノ稅制調査會ニ於キマシテハ、私モ委員ノ一人トシテ、私ハ自分ノ主義、自分ノ考カラ申シマスレバ、多少見ル所ヲ異ニ致シマスケレドモ、當時ノ政府ハ私ノ當時ノ質問ニ對シテ、將來ニ於テノ大藏當局ノ實際事實上ニ於テ、此際中央地主考ヘラレル點モアリマシタケレドモ、是ハ一年度限リノモノデアルカラ、來ルベキ通常議會ニ於キマシテハ、是非共政府ニ付テ敢テ反對モシナケレバ、政

府ノ此實況ニ付キマシテ同情ヲ持ツテ居ッタルト云フコトニナレバ——時間ヲ取ルコトハ餘リ好マシクアリマセヌカラ、此際事情ヲ詳シク申上ゲテ行クコトハ省略致シスガ、一言ニシテ言ヘバ、斯様ニシテ假令向テ其實行ヲ言明サレマシタコトニ付テ、私ハソコ迄自身ト致シマシテハ、左様ナ事實ニ立至ツタ、即チ中央地方ヲ通ジテノ稅制改革ヲ行協賛ヲ致シタヤウナ次第デアリマス、當時ノ政府ト致シマシテハ、其增稅ノ根本ノ基礎ト致シ茲ニ繰返ス必要ガナイノデアリマス、隨ヒマシテ政府ニ於キマシテハ、爾來吾々議會ニ對スル此約束ト申シマスルカ、又國民ニ對スル此約束ヲ果スト云フ爲ニ、相當ノ準備ヲ進メラレタコトデアラウト思フシ、又進メラレナクテハナラヌモノデアッタト思フノデアリマス、然ルニ昨年ノ七月ノ彼ノ北支事變ニ付キマシテ、既ニ昨年ノ臨時議會ニ於キマシテハ、一億圓ノ日支事變特別稅ヲ設ケタ、又當時カラ考ヘマスレバ、現在茲ニ提案サレテ居リマスル更ニ二億餘リノ增稅案ガ提度々政府當局カラ御説明ガアリマシタヤウニ、此中央地方ヲ通ジテノ根本的ノ稅制ノ改革ヲ行フコトガ出來ナイヤウナ狀態ニ立至リマシテ、昨年ノ稅制調査會ニ於キマシテハ、私モ委員ノ一人トシテ、私ハ自分ノ主義、自分ノ考カラ申シマスレバ、多少見ル所ヲ異ニ致シマスケレドモ、當時ノ政府ハ私ノ當時ノ質問ニ對シテ、將來ニ於テノ大藏當局ノ實際事實上ニ於テ、此際中央地主考ヘラレル點モアリマシタケレドモ、是ハ一年度限リノモノデアルカラ、來ルベキ通常議會ニ於キマシテハ、是非共政府ニ付テ敢テ反對モシナケレバ、政

能ナ狀態デアルト云フ、此事實ヲ諒ト致シテ何等カノ形ニ於テ、何等カノ額ノ增稅ガ茲ニ行ハレルト云フコトハ、是ハ必然ト思ツテ居ッタ、而シテ私ノ考ヘル所ニ依リマス、此點ニ付テ敢テ反對モシナケレバ、政

テ是ハ今マダ變動ノ過程中デアツテ、今後如
ナ轉換期ニ於ケル變動期ノ間ニ於テ、恒久
的ノ性質ヲ帶ビル所ノ稅制改革ハ中々行フ
コトガ出來ナイノミナラズ、行フコトハ不
適當デアル、斯様ナコトヲ以テ、根本的稅
制改革ヲ今行ハナイツノ理由ノヤウニ申
シテ居ラレルヤウニ伺ッテ居タ、成程是ハ
御尤デ私モ其點ハ一應諒ト致シマス、併ナ
ガラ見方ヲ變ヘレバ、吾々ノ稅金ノ點ハ、
假令國民ノ經濟力ガ乙カラ甲ニ移轉シタ、甲
ノ所得ガ減ッテ乙ノ所得ガ急ニ増シ、丙ガ減
ルト致シマシテモ、稅ノ方カラ申シマスレ
バ、其負擔力ニ應ジテ之ヲ課稅スレバ宜イ
ノデアル、個々ノ具體的ノ人、或ハ個々ノ
階級ガ、如何ニ其負擔能力ト云ヒマスカ、
經濟力ガ變リマシテモ、ソレニ即應シ、ソレ
ニ順應シテ、課スペキモノニハ負擔ヲ課シ、
輕減スベキモノニハ輕減スルコトガ宜シイ、
此意味ニ於テハ、根本的ノ改正ト申シマシ
テモ、是ハ一旦決メタ以上ハ十年、百年必
ズ變ヘチヤイカヌト云フノデハナイ、其時々
ノ國民ノ負擔力ト云ヒマスルカ、經濟力
ノデアリマス、斯様ナ見地カラ申シマス

シモ中央地方ヲ通ズル根本的稅制改革ヲ行
レバ、敢テ此事變ガアツカカラト云ツテ、必
モノデハナイ、之ヲ排撃スベキモノデハナ
イ、私ハ斯ウ考ヘルノデアリマスルケレド
モ、恐ラク世間ノ中ニハ斯様ナ考ヲ持ツテ
居ル人ガ相當多カラウト思フノデアリマス、
而シテ是等ハ將來ノ增稅ト云フコトヲ考ヘ
ナケレバ——何等私ハ強ヒテ此際固執スル要
ハアリマセヌケレドモ、今申シタヤウニ、
既ニ昨年ノ九月ニハ一億ノ臨時特別稅ガ出
來、今回更ニ二億ノ支那事變ノ增徵ノ法案
ガ出テ居ル、恐ラク現在ノ有様カラ申シマ
スレバ、日支事變ハサウ急ニ解決スルモノ
トハ思ハレナイ、支那方愈々長期抵抗ヲ致
シマス、レバ、日本モヤハリ之ニ對シテ飽マ
デ出兵ノ當初ノ目的ヲ貫徹スル爲ニヘ、吾々
ハ有ユル犠牲ヲ忍ンデモ、ヤハリ之ニ對
抗シテ最終ノ戰果ヲ收メルヤウニシナケレ
バナラヌ、是ガ爲ニ今後——既ニ此十三年
度ニ於キマシテモ、臨時軍事費ニ於テ約五
十億ニ垂ントスル所ノ軍費ノ御要求ガアリ
マスルガ、其後ニ於キマシテモ、私ハ是以
下トハ考ヘルガ、相當ノ更ニ軍費ノ支出
ヲ要スルト思フ、隨テ之ヲ賄フニドウス
ルカ、之ニ付テハ色々議論モアリマセウ

ケレドモ、此戰費ヲ調達スル爲ニ、單ニ公債ノミニ依ルカ、或ハ租稅ノ增徵ニ依ルカ、是等ニ付テハ既ニ先輩ノ質疑ガアリマシタカラ、私ハニ論及スル者デハアリマセヌガ、私ノ見ル所デハ、是ガ理窟上善イ惡ニ拘ラズ、私ハヤハリ今後ニ於テモ相當ノ増稅ト云フコトガ、次々ニ起ルト云フコトハ必至ノ事實デアルト思フ、隨ヒマシテ斯様ナ意味カラ申シマスレバ、今後ニ於キマシテ増稅ヲ行フ——今マデハ中央地方ヲ通ジテノ稅制改革ニ依ツテ負擔ノ均衡ヲ圖ルト云フコトハ我慢致シマシテモ、更ニ今後増稅ヲ行フト云フコトニ付テハ、モウ我慢ガ出來ナイト云フヤウナ、吾々國民、殊ニ地方ノ者カラ申シマスレバ、或ハサウ云フ聲ガ起キナイトモ限ラナイ、又其聲ガ起キタドシテモ、ソレハ至極至當デアルト私ハ考ヘル、隨テ一年先ノコトヲ今カラ申シマスト鬼ガ笑フカモ知レマセヌガ、私ハ假令鬼ニ笑ハレテモ、地方ノ爲ニハ、今後ニ國稅ニ於テ増徵ヲ企テルト云フ場合ニ於キマシテハ、ドウシテモ根本的ノ稅制改正ヲ先ヅ行ッテ、地均ヲスルト云フコトガ必要デアル、若シソレガ根本的ニ出來ナクテモ、少クトモ應急的ニ負擔ノ公平ヲ圖リ、應急的ノ措置ガ必要デアルト考ヘル、今

ノ登録稅ヲ若干、即チ一割程度減ジ、或ハ營業者ニ對シテ營業収益ノ急減シタモノ、或ハ田畠ノ所得ノ低減シタモノ、ソレハ若干ノ減稅ノ措置モ講ゼラレテ居ルガ、是等ハホンノ申譯的ノモノニ過ギナイノデアッテ、私ガ申シマス地均シノ意味ニ於テノ措置ト致シマシテ、殆ド論ズルニ足ラナイヤウナモノデアルト思フ、斯様ナ見地カラ私ハ、將來更ニ政府ガ增稅ヲ行フ場合ニ於キマシテハ、ドウシテモ今申シタヤウニ、中央地方ヲ通ジテノ稅制改革ヲ根本的、或ハ少クトモ應急的ニ行ヒマシテ、サウシテ先ヅ地均シヲシテ掛ルト云フコトガ必要デアルト、私ハ深クソレヲ確信シテ居リマス、而シテ私ハ大藏大臣ニ對シマシテハ、將來ノ假定ノコトヲ申シテハ少シ恐縮カモ知レマセヌケレドモ、斯様ナ場合ニ於キマシテハ、是非大藏大臣トシテハ私ノ意見ノヤウニ御取計ヒ願ハナケレバナラヌ、斯様ナ者ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、先ヅ第一ニ私ノ今申上ガタ點ニ對スル大藏大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣

回ノ増稅案ニ付キマシテハ、例ヘバ不動産ノ登録稅ヲ若干、即チ一割程度減ジ、或ハ營業者ニ對シテ營業収益ノ急減シタモノ、或ハ田畠ノ所得ノ低減シタモノ、ソレベ若干ノ減稅ノ措置モ講ゼラレテ居ルガ、是等ハホンノ申譯のモノニ過ギナイノデアッテ、私ガ申シマス地均シノ意味ニ於テノ措置ト致シマシテ、殆ド論ズルニ足ラナイヤウナモノデアルト思フ、斯様ナ見地カラ私ハ、將來更ニ政府ガ增稅ヲ行フ場合ニ於キマシテハ、ドウシテモ今申シタヤウニ、中央地方ヲ通ジテノ稅制改革ヲ根本的、或ハ少クトモ應急的ニ行ヒマシテ、サウシテ先ヅ地均シヲシテ掛ルト云フコトガ必要デアルト、私ハ深クソレヲ確信シテ居リマヌ、而シテ私ハ大藏大臣ニ對シマシテハ、將來ノ假定ノコトヲ申シテハ少シ恐縮カモ知レマセヌケレドモ、斯様ナ場合ニ於キマシテハ、是非大藏大臣トシテハ私ノ意見ノヤウニ御取計ヒ願ハナケレバナラヌ、斯様ナ者ヲ持ツテ居ルノデアリマスガ、先ヅ第一ニ私ノ今申上ゲタ點ニ對スル大藏大臣ノ御所見ヲ伺ツテ置キタイト思ヒマス

レルト云フ性質ノモノデアリマスルノデ、
今後更ニ此上ノ増稅ヲ致スト云フヤウナ場
合ニ付テハ、負擔ノ公平ニ付テ一層留意シ
ナケレバナ、ラヌト云フコトハ、其點ニ付テ
ハ御趣旨ハ同感デゴザイマス、此數年ノ日
本ノ增稅整理ト云フ觀念ノ中ニハ、普通ノ
大キナ增稅ニ依ル稅制ノ改革ト云フ意味ト
違ヒマシテ、一方ニ於テ負擔ヲ輕減シ、一
方ニ於テ負擔ヲ增加シ、差引負擔ノ增減ナ
シト云フ觀念カラ、大體昨年以來ノ稅制整
理ハ論ゼラレテ居ルノデアリマス、サウ云
フ見地ニナリマスルト、一方ニ於テハ國民
全體ニ於テ負擔ハ増加シナイケレドモ、一
部分ハ現狀ヨリハ負擔が増加スル、一部分
ハ現狀ヨリハ負擔が減ルト云フヤウナコト
ガ、一つノ主タル眼目ニナルノデアリマス、
隨ヒマシテ經濟上ノ變動ガ多イ際ニハ、其
變動ガ恒久化サレナイ場合ニ於テソレヲ行
ヒマスト、相當ノ見當達ヒガ起キマシテ、
負擔ガ片方ハ重クスベカラザル程度マデ重
クスル場合モ起ルト思フノデアリマス、サ
ウ云フコトヲ心配致シマシテ、所謂稅制ノ
根本改革ト云フモノハ延バシタノデアリマ
シテ、此點ハ御諒承ヲ得タノデアリマスガ、
今回ノ增稅ニ於キマシテモ、ヤハリ御趣旨
ノヤウナ點ヲ考ヘマシテ、成ベク負擔ノ過

重ト考ヘラレル方面ニハ、今回ノ增稅ニ於
テモ新ニ加ハル負擔ヲ非常ニ少クスル、比
較的負擔力ノ多イト云フ方面ニ重キ負擔ヲ
課スル、詰リ今マデアリマスル稅法ノ負擔
ト、今回ノ稅法ノ負擔ヲ合セテ見マシテ、
負擔ノ不公平が出來ルダケ無イヤウニスル
ト定メタ次第デアリマスガ、是ガ御話ノ如
ク此上ニ、假定デアリマスケレドモ、增稅
ヲスルヤウナ場合ニハ、ソレハ一層其結果
ハ注意シナケレバナラヌ、只今御言葉ニモ
アツタ思ヒマスルガ、假ニ基本的ノ稅
制整理デナクテモ、稅制ノ負擔ノ公平ヲ期
スル爲ニ、應急的ニモソレヲ考ヘナケレバ
ナラヌト云フ意味ノ御言葉ガアツタカニ思
ヒマスルガ、私ハソレハサウ云フ風ニ考ヘ
得ルト思ヒマス、全ク假定ノ話デアリマス
ガ、事變ノ最中デ色々々ノ變化ノアル際ニ、
假ニ次ノ增稅ガ必要デアルト致シマスル場
合ニ、所謂基本的ノ經常法トシテ、長ク其
儘デ行ク稅制整理ハ未ダ行フ時期デハアリ
マセヌガ、負擔全部ヲ公平ニスル爲ノ處置
ヲ考ヘテ然ル上ニスルト云フ、此御趣旨ニ
ハ私ハ同感デアリマス

○川崎(末)委員 繢イテ御尋致シマスガ、
今回ノ部分的改正ノコトデアリマス、是亦
忙シイ、謂ハマ普通ヨリ忙シイ時ニ、ソコ
受ケタノデアリマス、コニ繰返ス必要ハ
アリマセヌガ、アレハ謂ハマ内輪ノコトデ
アリマスガ、私共ハ此際ヤハリ一言大臣ノ
御意思ヲ確メテ置クコトガ適當ナリト思ヒ
部分的改正ハ極メテ事務的且ツ技術的ノモ
マスルノデ、伺フノデアリマスガ、今回ノ
負擔ノ不公平が出來ルダケ無イヤウニスル
ト、今回ノ稅法ノ負擔ヲ合セテ見マシテ、
負擔ノ不公平が出來ルダケ無イヤウニスル
ト定メタ次第デアリマスガ、是ガ御話ノ如
ク此上ニ、假定デアリマスケレドモ、增稅
ヲスルヤウナ場合ニハ、ソレハ一層其結果
ハ注意シナケレバナラヌ、只今御言葉ニモ
アツタ思ヒマスルガ、假ニ基本的ノ稅
制整理デナクテモ、稅制ノ負擔ノ公平ヲ期
スル爲ニ、應急的ニモソレヲ考ヘナケレバ
ナラヌト云フ意味ノ御言葉ガアツタカニ思
ヒマスルガ、私ハソレハサウ云フ風ニ考ヘ
得ルト思ヒマス、全ク假定ノ話デアリマス
ガ、事變ノ最中デ色々々ノ變化ノアル際ニ、
假ニ次ノ增稅ガ必要デアルト致シマスル場
合ニ、所謂基本的ノ經常法トシテ、長ク其
儘デ行ク稅制整理ハ未ダ行フ時期デハアリ
マセヌガ、負擔全部ヲ公平ニスル爲ノ處置
ヲ考ヘテ然ル上ニスルト云フ、此御趣旨ニ
ハ私ハ同感デアリマス

國稅ノ全體ニ亘テイヂクリ廻スト云フコ
トハ、今後事變モ長引キ大藏當局トシテモ
打ッテモ、唯徒ニ條文ノ此方ライヂリ彼方ヲ
イヂリシテ居ルダケノコトデアル、斯様ニ
部分的改正ヲ、ドウシテモ此際行ハナクテ
デアルト思ヒマスガ、ソレハ何處ニアルカ、
由ト云フヨリモ、寧ロ事情ト云ツタ方ガ適當
ハナラヌト云フ、事情ト云ヒマスカ——理
由ト云フヨリモ、寧ロ事情ト云ツタ方ガ適當
率ヲ、基本法ト臨時租稅增徵法ヲ綜合シテ、
茲ニ一個ノ統一シタ課稅率ヲ新ニ定メルト

云フコトガ、恐ラク重點デアリ、此必要ガ部分的改正ヲ行ハセタモノデアル、斯様ニ推測サレルノデアリマスルガ、此點ニ付キマシテハ、是以外ニドウシテモ部分的ノ改正ヲ行ハナケレバナラヌ事由ナリ、事情ガアリマスレバ、更メテ茲ニ御伺致シテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 此部分的改正ハ、何ト申

シマスルカ、御話ノ如ク率直ニ申上ゲレバ、

増稅案ナドニ比較致シマシテ、假ニ輕重ノ

差ヲ論ジ得ルトスレバ、ヤハリソレハ輕イ

ト思フノデアリマス、併ナガラ午前中岡田

サンノ御質問ガアリマシテ、其際ニモ申上

ゲタノデアリマスルガ、昨年ノ臨時租稅ノ

増徵法ト云フモノハ、相當短期間ニ原案ヲ

作ラザルヲ得ザル事情ガアリマシタ爲ニ、

小サナ點デアリマスルガ、相當補正ヲシ

タ方ガ宜シイト思ハレル點ガ、其以外ニ

モ例ヘバ保険金、或ハ退職手當、不動產

ノ登録稅ノ點モサウデアリマスガ、サウ

云フモノガ相當アリマシタ譯デアリマス、

又從來要望サレテ居リマスル郵便年金ノ

掛金ノ課稅デアリマスルトカ、サウ云フ

點ガ相當ニアリマシテ、是等ニ付キマシテ

ハ主稅局ノ研究モ出來テ居リマス、是ハ基

本的ノ改正ト申ス程ノ大袈裟ナモノデハア

云フコトガ、此點ガ直ツテ居リマス方ガ、直ラナイヨリハ餘程宜イノデアリマス、推測サレルノデアリマスルガ、此點ニ付キマシテハ、是以外ニドウシテモ部分的ノ改正ヲ行ハナケレバナラヌ事由ナリ、事情ガアリマスレバ、更メテ茲ニ御伺致シテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 此部分的改正ハ、何ト申

シマスルカ、御話ノ如ク率直ニ申上ゲレバ、

増稅案ナドニ比較致シマシテ、假ニ輕重ノ

差ヲ論ジ得ルトスレバ、ヤハリソレハ輕イ

ト思フノデアリマス、併ナガラ午前中岡田

サンノ御質問ガアリマシテ、其際ニモ申上

ゲタノデアリマスルガ、昨年ノ臨時租稅ノ

増徵法ト云フモノハ、相當短期間ニ原案ヲ

作ラザルヲ得ザル事情ガアリマシタ爲ニ、

小サナ點デアリマスルガ、相當補正ヲシ

タ方ガ宜シイト思ハレル點ガ、其以外ニ

モ例ヘバ保険金、或ハ退職手當、不動產

ノ登録稅ノ點モサウデアリマスガ、サウ

云フモノガ相當アリマシタ譯デアリマス、

又從來要望サレテ居リマスル郵便年金ノ

掛金ノ課稅デアリマスルトカ、サウ云フ

點ガ相當ニアリマシテ、是等ニ付キマシテ

ハ主稅局ノ研究モ出來テ居リマス、是ハ基

本的ノ改正ト申ス程ノ大袈裟ナモノデハア

リマセヌガ、此點ガ直ツテ居リマス方ガ、直ラナイヨリハ餘程宜イノデアリマス、ソレデ御審議ヲ煩シタ次第デアリマス、尙ほ増徵法案ガアトカラ出マシタ場合ヲ考ヘマスレバ、是ハ大問題デハアリマセヌケ特別ニソレ以外ニ他意ハナイノデアリマス、尙ほ増徵法案ガアトカラ出マシタ場合ヲ考ヘマスレバ、是ハ大問題デハアリマセヌケレドモ、少シデモヤハリ基本ガ直ツテ居リマスル方ガ、例ヘバ所得稅ノ二割五分ノ増徵ヲ致スニ付キマシテモ、昨年ノ臨時租稅増徵法ノ儘デアリマスヨリハ、同ジ負擔ヲ致スニシテモ合理的デアルト思フノデアリマス、ソレ以外ニ別ニ他意ハナイノデアリマス

○川崎(末)委員 只今大藏大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマシタ、一應御尤ニ思ヒマスルガ、大藏

大臣ハ率直ト仰セラレナガラ、マダ少し其事ノ輕重ノ點ニ付テドウカト思フノデアリ

マス、是ハ大藏當局ノ當時ノ狙ヒ所ハ、ド

ウシテモ相續稅ト個人ノ第三種所得ノ累進

課率ヲ綜合シテ、之ヲ一本ニスルト云フコト致シマスガ、當時問題ニナッタコトハ、然

ラバ此部分的ノ改正ヲ行フ場合ニ於キマシテハ、基本法ト臨時租稅增徵法案トノ關係

ヲ如何ニスルカ、即チ之ヲ綜合統一シテ一

本建ニ直シテシマフカ、或ハ今ノ基本法ト

臨時租稅增徵法ト一本建デ當分進ムノカト

議論ガ行ハレ、意見ガ岐レタ、調査會ノ大

勢ハ、大藏當局ノ當初ノ御見込ト申シマス

ルカ、御期待ト申シマスルカ、ソレニ反シ

テ、吾々ハ舉ツテ二本建デ此際ヤレ、即チ餘

リ穿チ過ギマスケレドモ、當時吾々ト致シ

マシテ、一本建ニスルト云フコトニ付テハ

クカ、二本建ニシテ行クカト云ヘバ、一本

建ノ方ガ宜シイ、此議會ニナリマシテカラ

モ、日本ノ稅法ガ非常ニ複雜多岐デアル、

而モ基本法ト臨時租稅增徵法、北支事件特

別稅法、今度新ニ又支那事變特別稅法、斯

ニ織込マレテ居ツタノデアル、是レ私達ガ内

容ニ於テ大シタ異議ハナシ、又適當デアラ

ウト申シテ居ルヤウナ譯デアリマスルガ、

左様ナモノヲ此際此機會ニ於テ部分的ノ改

正ヲ致シマシテ、茲ニ國稅トシテノ一應ノ

體系ヲ整ヘルト云フコトニナッタ、成程大藏

御當局ト致シマシテハ、其御事情ハ私モ諒

ト致シマスガ、當時問題ニナッタコトハ、然

ラバ此部分的ノ改正ヲ行フ場合ニ於キマシ

事ニナッテ居ルノヲ考ヘマスト、是ハ出來ル

ダケ一本建ニ整理スル、是ハ吾々ト雖モソ

レ位ノコトハ分ツテ居ツタ、而モ之ニ對シテ

吾々ガ一本建ヲ排シテ、強ヒテ二本建ヲ殘

シテ御置キナサイト云フコトヲ申上ゲタノ

ハ、此點ニ付キマシテ私ヘ率直ニ大藏大臣ニ

吾々ノ考ヲ申上ゲテ、特ニ御諒解ヲ願ツテ

置キタイ、又將來ニ付キマシテモ、其點ヲ

御含ミ置キヲ願ツテ置キタイ、即チ一口ニ申

セバ、實ハ吾々ハ擔保ヲ取ッテ置イタニ過

ギナイ、大藏省ノ將來ノ御仕事ヲ残シテ置

イテ上ゲタニ過ギナインデアリマス、私ハ

斯様ナコトヲ大臣ノ前ニ餘リ大キイ聲デ申

上ゲルコトヲ好ミマセヌガ、大藏省ノ立場カラ申シマスレバ、國ノ財政ガ大事デアル、隨ヒマシテ國事ニ付キ、國稅ノ改正ニ關シテハ忠實デアリ熱心デアル、然ルニ地方自治團體、即チ府縣ナリ市町村ノ財政ニ付キマシテハ、往々ニシテ是ハ自ラ主管ノ内務省ガ當ルト云フ風ニシテ、大藏當局カラ見レバ、國ノ財政ニハ忠實デアルケレドモ、地方ノ財政ニ付キマンシテハ、稍、内務省ト同様ノ同情モナケレバ理解モ薄イト云フ感ナキヲ得ナイ、私モ十數年ノ間内務省關係ノ役人デ飯ヲ喰ハシテ戴イタガ、當時モ左様ナ感ガナイデハナカッタ、私ハ敢テ大藏當局ヲ非議シ非難スル意味デアリマセヌガ、當時サウ云フヤウニ考ヘテ居ツタガ、未ダニサウ云フ點ガ懸念サレル、是ハ或ハ邪推デアルカモ知レマセヌガ……隨ヒマシテ此馬場案ニ於キマシテハ、アノ案ノ内容ノ善惡ハ姑ク別ト致シマシテ、兎ニ角吾々ガ必要ヲ叫ンデ居ツタ中央地方ヲ通ジテノ根本的稅制改革ヲ行フト云フノデ、大英斷ヲ以テアノ案ガ出來タガ、内閣ノ更迭ニ伴ッテ中止、中斷サレマシテ、唯單ニ國稅ニ於テハ臨時租稅增徵法ト云フモノガ出來、而シテ今回ノ部分的改正ニ於テハ、馬場案ニ於テ行ハウトシタ所ノ各稅法ニ付テ、其必要ナ

ル主ナルモノヲ拾上ゲテ此處ヘ持ッテ來タ地方ノ方ハドウカト申シマスト、地方稅ノ改正ト云フモノハ棚ニ上ゲテ顧ミナイ、即チ地方稅制ノ改正ニ付テハ何等觸レル所ナクシテ、國稅ノ方面ニ於キマシテハ、曩ノ臨時租稅增徵法、今回ノ部分的改正、之ヲ繫ギ合ハシテ、此全部ヲ合ハシテ考ヘマスト、基本法ト臨時租稅增徵法トヲ今ゴッチャニシテ分リマセヌガ、之ヲ鍼デ切ッタリ繼ギハギシタリシテ整理ヲ致シマスト、馬場案其モノトハ申シマセヌケレドモ、大體ニ於テ國ノ稅法ト致シマシテハ、一應平時ノ有様ニ於テノ稅制ト云フモノハ、茲ニ整フコトガ出來ルヤウニナツテ來タ、是ガ部分的改正ノ内容デアルト私ハ思フ、サウスレバ將來ニ於テ國稅ノ方面ニ於テハ、是ダケヲ持ッテ居レバ、次ニ來ルベキモノニ對シテモ敢テ支障ナクヤレルト云フ御考デアリマセヌカ、サウナツテ來ルト、益、中央ト地方ヲ通ズル所ノ稅制ノ改革ガ行ハレルト云フ機運ヲ遲ラシニナリマシテ、地方ノ稅制ト云フモノガ往々ニシテ蔑視サレ、遂ニハ忘レラレ、有耶無耶ノ裡ニ中央地方ヲ通ジテノ稅法、產業組合法等ニ依ル負擔金デアラウト其名義、稅ノ性質ガドウデアラウト、徵ラル方ニ於テハ負擔デアルコトニ變リハナリヤル場合ニ於キマシテハ、總テヲ綜合シテ考ヘテヤラナケレバナラヌ、又國方幾フナ言葉デスガ、下駄ヲ一ツ御預ケシテ置イ

タ、ドウシテモ基本法ト臨時租稅增徵法トノ此二本建ハ非常ニ不都合デ、此不都合ナモノヲ一本建ニシナケレバナラヌ、其代リニ地方ノ稅制ノ改正ヲオヤリナサイト云フ下駄ヲ預ケテ置イタ積リデアル、此點ニ付キマシテハ私ハ強ヒテ大藏大臣ノ御答辯ハ求メマセヌケレドモ、吾々ノ意ノ在ル所ヲ十分ニ御諒解下サイマシテ、今後ノ日本ノ稅制改正ニ付キマシテハ、單ニ國ノミナラニシテナケレバナラヌト思フ、斯様ナ兩面ノ見地カラ申シマシテ、私ハ切ニ大藏大臣ノ地方ニ對スル御同情ヲ喚起シテ置キタイト思フノデアリマス、私ハ先づ前提問題ト致シマシテ、稅制改革ノ事ニ付キマシテハ、是ダケノコトヲ申上ゲテ、切ニ大藏大臣ノ御留意ヲ喚起シテ置キマス、若シ之ニ付テ何カノ御考ガアリマシタナラバ、此機會ニ於テ承レ、バ幸ト存ジマス

○賀屋國務大臣 別ニ申上ゲルコトモアリマセヌ、國事ヲ考ヘマスル實際ニハ、狹義ノ法律上デ言ヒマスル國家、地方團體、總テ國民全體ニ付キマシテ考ヘマスルコトガ必要ナノデアリマス、地方稅ト云ハズ、國稅ト云ハズ、國ノ財政ト云ハズ、地方ノ財政ト云ハズ、更ニ進ミマシテハ國民ノ經濟關係ニ及ビマシテ、全般的ニ公平ニ總テノ方面ニ同情ヲ持ッテ考ヘマスルコトノ必要ナルハ、洵ニ御説ノ通リデアルト思ヒマス、唯各、役所ハ所管々々ノ仕事ヲ持ッテ居リマ

スノデ、其所管ノ仕事ニ熱心ノ餘リニ非難ヲムリマスル所ノ、所謂「セクシヨナリズム」ニナルヤウナ憂ガナイトハ申サレマセス、是ハ一面ニ於テハ自分ノ仕事ニ忠實アルト云フ美點ハアルリマスルガ、同時ニ其結果色々ノ弊害ヲ釀スコトモアリマスノデ、此點ハ十分注意シテ参リ、又政府全體致シマシテモ、御示ノ如ク總テノ點ニ留意シテ参リタイト思フノデアリマス、尙申上ゲル迄モアリマセヌガ、吾々ハ地方ノ事モ十分ニ同情ヲシテ考ヘナケレバナリマセヌケレドモ、國家ノ財政モ御承知ノヤウナ状況デアリマスノデ、此點ニモ十分ニ深入考慮ヲ廻ラサネバナラスト存ジマシテ、總テノモノニ同情ヲ持チナガラ、一方ニ偏シナイヤウニ方針ヲ執ツテ参リタイト、斯様ニ考ヘルノデアリマス

○坂政府委員 數字ノ細カイコトニ付テ申
トシテ御配布願ッタモノノ中ニアルモノモ
アリマスガ、ソレハ極ク僅カデ、極メテ簡
單ナ數字デアリマスカラ、若シ重複スル點
ガアリマシテモ、ソレハドウカ御許シヲ願
ヒタイト思ヒマス、先づ第一ニ當リマシテ
ハ、私ハ内務省ノ政府委員ノ方ニ一應ノ御
説明ヲ願ヒタイト思フノデス、其第一ハ現
在ニ於キマス我國ノ地方團體ノ財政ノ大體
ノ趨勢ガドウナツテ居ルカ、府縣ト申サズ市
町村ト申サズ、是ハ言フ迄モナク我國ノミ
デハアリマセヌガ、經費ハ年々膨脹シテ參
ル、而シテ之ヲ償フベキ、之ヲ償フベキ財
源ト申シマスルカ、收入ガ之ニ伴ハナイ、
是ガ共通ノ惱ミノヤウニ思フノデアリマス
ルガ、此處數箇年ニ於キマスル日本ノ地方
自治體、市町村或ハ府縣ニ於ケル財政上ノ
傾向ニ付テハ、ドウ云フヤウナ經路ヲ取ッテ
居リマスカ、經費ガ膨脹ヲ致シ又財源ノコ
トニ付キマシテハ、極メテ簡單ナ數字デモ
アレバ此際ニ御示シ願ヒ、此趨勢ヲ一ツ御説
明願ヒタイト思ヒマス、坂君ニ一ツ願ヒタ
イト思ヒマス

○川崎(末)委員 ソンナニ細カイコトへ要リマセヌ、大體ノ趨勢ヲ御話シ願ヘレバ結構デス

○坂政府委員 大體ノ趨勢ト致シマシテハ、只今仰セニナリマシタ通リデアリマシテ、地方トシテハ固ヨリ不要ノ經費ハ之ヲ節約シナケレバナリマセヌシ、餘計ノ金ヲ使フコトガ出来ナイノハ當然デアリマス、其積リデヤツテ居ルト思ヒマスガ、何分ニモ已ムヲ得ナイ經費ト云フモノガ色々ナ事情デ嵩シデ参リマス、殊ニ最近ニ至リマシテハ顯著ナモノガアル譯アリマス、併シ一面ニ於キマシテハ歳入ノ或ルモノハ増加スルモノモアリマスガ、隨分窮屈ナ歳入デアリマシテ、ソレガ爲ニ往々ニシテ非難ヲ受ケルヤウナモノマデ漁ラナケレバナラヌ、斯ウ云フ事情モアルノデアリマシテ、財政ノ非常ニ苦シクナッテ居ルコトハ御説ノ通リデアラウト思ヒマス

○川崎(末)委員 只今政府委員ノ御説明ヲ伺ヒマシタガ、マア抽象的ノ話デゴイマスカラ、其程度ヲ今確メル譯ニ行キマセヌガ、坂君ハ只今地方ノ財政ガ段々苦シクナッテ行クト云フ御話デゴザイマシタ、私ノ見ル所、其

段々苦シクナッテ行クト云フノモ程度問題デ
アリマス、今國ノ財政ハ赤字財政ヲヤッテ居
ル、地方モ同様ノ赤字財政ト思ハレルノデア
リマスガ、是等ノ點ニ付キマシテハ、別ニ御
調査ガアリマスデスカ、計數ニ瓦ツタコトハ
後デ御示シ願ヘレバ結構デアリマスガ、御
説明ヲ御願ヒ致シタイト思ヒマス、其苦シ
クナル程度ガ隨分ヒドイト私ハ思フノデア
リマス、一體府縣或ハ市町村ニ於テノ事務
ニ付キマシテハ、或ハ是ハ世間ノ學者ノ中
ニハ極ク大雜把ニ固有事務、或ハ委任事
務、言換レバ、國ノ代リニ行ツテ居ル所ノ
政府ノ事務、地方自治體ノ事務トシテ當
然行ハナケレバナラヌ所謂固有事務、斯ウ
分ケテ居リマスガ、此事務ニ付テ現在ノ府
縣或ハ市町村ニ於テノ經理ガドウ云フ比率
ヲ保ツテ居ルカ、是ハ大體ノコトハ御承知デ
アリマセウ、大體ノ切メテ「パーセンテー
ヂ」デモ「ラウンド・ナンバー」デモ御示シ願
ヒタイト思フ

細カイコトニナルト、何レヲ、委任事務トシ、何レヲ固有事務トスルカニ付テモ議論ガアル譯デアリマシテ、現在地方デ使ッテ居ル經費ノ内譯ヲ數字的ニ分類シタモノハ只今持ッテ居リマセヌ、唯國ノ法令ガ殖ヘマシテ、國カラ入ッテ參ルト言ウテハ語弊ガアリマスガ、サウ云フ仕事ガ殖エテ來マスカラ、固有事務ガ狹マルコトハ事實デアラウト思ヒマス、數字ノ方ハ調査シマシテ、出來マシタナラバ御目ニ掛ケタイト思ヒマス○川崎(末)委員 出來テ居ル筈ダト思フノデアリマスガ、兎ニ角出來タラ御出シ願ヒタイ、ソレデハ別ノコトヲ御尋致シタイ、昭和九年頃デアリマシタカ、齋藤内閣時代デアリマスガ、アノ内閣デ色々調査ヲ致シマシタキニ、サウ云フ點ニ付テノ一種ノ統計ト言ヒマスカ、中間報告ノヤウナモノガ出テ居ッタ思ヒマス、今私モ冊子ヲ持ッテ居リマセヌガ、アレニ出テ居ル大體ノ數字ニ付テハ内務省ハ御認メニナルデセウカ○坂政府委員 大體御述ベニナツタ通リデアラウト思ヒマス

○川崎(末)委員 次イデ御尋致シタイコトハ、昨年七月事變ガ勃發致シマシテ以來ト云フモノハ、國ニ於テハ言フ迄モナイコトデアリマスガ、地方團體ト致シマシテモ、府縣殊ニ市町村ニ於キマシテハ、此事變ノ爲ニ早イ話ガ應召者ニ對スル各種ノ費用、或ハ銑後ノ護リヲ深クスル爲ノ施設ニ要スル費用、色々私ハ府縣市町村ニ於テハ、此事變ノ爲ニ要シタ費用ハ莫大デアラウト思フ、而モ此費用ハ漸次増シテ來ル傾向ヲ持ッテ居ルノデハナイカト思フ、而シテ世間デハ府縣市町村ヲ通ジテ、今マデ要シタ是等ノ費用ヲ、或ハ四千万圓ト概算スル者モアレバ、五千万圓ト稱スル者モアルノデアリマスガ、是等ニ付テ内務當局ニ於テ調査シテアルナラ、其結果ヲ御知ラセ願ヒタイト思ヒマス

○坂政府委員 今回ノ事變關係デ地方團體ノ負擔ノ增加シテ居ルコトハ明瞭デアリマス、サウンシテ此經費ガドノ位ノ數字ニナルカト云フコトニ付キマシテ、世間デハ四千萬圓或ハ五千萬圓ト云フ聲ガアルト云フ御話デアリマス、勿論私共ノ方デモ調べハ致シマシタガ、何分斯ウ云フ性質ノ經費ハ極メテ正確ナコトヲ得ルノニハ困難ガアリマスガ、餘リ正確デナイカモ知レヌコトヲ御示除、斯様ナ處置ガソレドヽ執ラレテ居ルヤウデアリマスガ、斯様ナ意味ニ於テ此事變ニ依ッテ地方稅ナリ其他ノ地方財源ガ減收ベハ仰セニナツタ所ト同ジ數字ガ出テ來テ

○川崎(末)委員 次イデ御尋致シタイコトハ、昨年七月事變ガ勃發致シマシテ以來ト云フモノハ、國ニ於テハ言フ迄モナイコトデアリマスガ、地方團體ト致シマシテモ、府縣殊ニ市町村ニ於キマシテハ、此事變ノ爲ニ要シタ費用、色々私ハ府縣市町村ニ於テハ、此事變ノ爲ニ要シタ費用ハ莫大デアラウト思フ、而シテ世間デハ府縣市町村ヲ通ジテ、今マデ要シタ是等ノ費用ヲ、或ハ四千万圓ト概算スル者モアレバ、五千万圓ト稱スル者モアルノデアリマスガ、是等ニ付テ内務當局ニ於テ調査シテアルナラ、其結果ヲ御知ラセ願ヒタイト思ヒマス

○坂政府委員 此點ニ付テ重ネテ御尋致シタイ、世間デハ略、四五千万圓デアルト計數ノ集計ガナケレバ、是ハ大體ノ見當ハシテ、之ニ付テハ御說ノ通り、誰ガ調査致シマシテモ、コンナモノニ正確期スルコトハ出來マセヌ、先ヅ一種ノ標準調査ト言ヒマスカ、地方々々デ調べタモノヲ集メテ、全國的ニ推算スル外アリマセス、尙ホ之ニ付テ内務當局ニ伺ヒマスガ、假ニ四千万圓ナラ四千万圓五千萬圓ナラ五千万圓デ宜シウゴザイマスガ、是ハ府縣ト市町村ニ分ケテドウ云フヤウナ割合ニナッテ居ルデセウカ、一ツ是ハ御見込ヲ伺ヒタイング申上ゲマス

○川崎(末)委員 結構デゴザイマス、サウ云フ調査ノ基礎ノ數字ヲ御示シ願ヘレバ希望ム所デゴザイマス、ソレデハ更ニ御伺致シマス、ヤハリ事變ノ影響ノ一つデアリマスケレドモ、私ハ内務當局トシテ是位ノコトハ平素カラ調べテ居ナケレバナラヌモノデアルシ、又調ブベキモノデアルト思ヒマス、御調ガナケレバ仕方ガアリマセヌガ、左様ナ意味ニ於テ至急ニ是等ノ數字ヲ御示シ願ヒタイト思フノデアリマス

○坂政府委員 尚ホ之ニ關聯致シマシテ御尋致シテ置キタイト思フノデアリマスガ、來年度即チ昭和十三年度ノ地方ノ豫算編成ト申シマスルカ、シマンテ、前田委員カラモ御質問ガアツテ、財政計畫ト申シマスルカ、租稅ノコトニ關

當時大藏省ノ政府委員ノ御答辯ガアリマシ

タ、幸ニ今日ハ地方局長ト主税局長ガ御捕
ヒデアリマスガ、御捕ヒノ御名前デ各地方
府縣ニ對スル十三年度ノ地方税ノ賦課ト云
ヒマスルカ、徵收ト云ヒマスルカ、ソレ等
ニ付テノ御訓令、御通牒ヲ御出シニナリマ
シタガ、此處ニソレヲ御示シニナルコトハ
出來ナイデアリマセウカ、斯様ナモノハ吾々
ガ此税法ノ審議ニ當リマシテ是非必要デ
アルト思フノデアリマスルガ、之ヲ御示シ
ヲ願フコトハ出來ナイノデアリマスカ、此
際出來得レバ速記録ニ止メテ置キタイト思
ヒマス

○坂政府委員 後デ調べマシテ御目ニ掛ケ

マス、只今申上ゲテモ宜シイノデアリマス

ガ、非常ニ長イノデアリマスカラ、紙ニ書

イタ刷物ニシテ廻シタ方ガ宜イト思ヒマス

○川崎(末)委員 ソレハ速記録ニ止メテ置

キタイト思ヒマスガ、御許願ヘマスカ

○高橋委員長 御詰リ致シマシテ左様取計

ヒマス、提出サレタ上ニ致シマス

○川崎(末)委員 實ハ只今御尋申シマシタコ

トハ内務大臣カラ之ヲ伺ヒタイト思ツテ居ツ

タ、併シ斯ウ云フヤウナコトハ極メテ事務

的ノモノデアル、計數上ノコトデアリマス

カラ、内務省ノ政府委員ノ御方ニ御尋致シ

タノデアリマス、數字ノ明確ニナッテ居ナイ

居ラッシャラナクテモ、勝田政府委員ナリ坂

ヒテノ御訓令、御通牒ヲ御出シニナリマ
シタガ、此處ニソレヲ御示シニナルコトハ
出來ナイデアリマセウカ、斯様ナモノハ吾々
ガ此税法ノ審議ニ當リマシテ是非必要デ
アルト思フノデアリマスルガ、之ヲ御示シ
ヲ願フコトハ出來ナイノデアリマスカ、此
際出來得レバ速記録ニ止メテ置キタイト思
ヒマス

○坂政府委員 後デ調べマシテ御目ニ掛ケ

マス、只今申上ゲテモ宜シイノデアリマス

ガ、非常ニ長イノデアリマスカラ、紙ニ書

イタ刷物ニシテ廻シタ方ガ宜イト思ヒマス

○川崎(末)委員 ソレハ速記録ニ止メテ置

キタイト思ヒマスガ、御許願ヘマスカ

○高橋委員長 御詰リ致シマシテ左様取計

ヒマス、提出サレタ上ニ致シマス

○川崎(末)委員 實ハ只今御尋申シマシタコ

トハ内務大臣カラ之ヲ伺ヒタイト思ツテ居ツ

タ、併シ斯ウ云フヤウナコトハ極メテ事務

的ノモノデアル、計數上ノコトデアリマス

カラ、内務省ノ政府委員ノ御方ニ御尋致シ

タノデアリマス、數字ノ明確ニナッテ居ナイ

居ラッシャラナクテモ、勝田政府委員ナリ坂

コトハ遺憾デアリマスルガ、是等ハソレヽ
後ニ御示シ願ヘルコトト思ヒマス、楮テ是マデ
サレルカドウカ、若シ御取消ガナケレバ、
内務大臣ニ對シテ内務大臣ハソレヲ全部是認
得マシタ御答ニ付キマシテ、私ハ後日内
務大臣ニ對シテ、内務省ノ政府委員ノ御
答辯ニ對シテ内務大臣ハソレヲ全部是認
サレルカドウカ、若シ御取消ガナケレバ、
内務大臣ニ對シテ内務大臣ハソレヲ認メラレ
タモノト吾々ハ諒解シテ宜シイカト云フコ
トヲ、委員長カラ確メテ戴キタイト思ヒマ
ス、尙ホ序ニ政府委員ノ勝田政務次官モ居
ラッシャイマスカラ、此點ニ付テ勝田政務次
官カラ大臣ニ代ッテ今申シタコトニ對スル大
體ノ御意向ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○勝田政府委員 只今川崎君ノ御話デゴザ

ガ、非常ニ長イノデアリマスカラ、紙ニ書

イタ刷物ニシテ廻シタ方ガ宜イト思ヒマス

○川崎(末)委員 ソレハ速記録ニ止メテ置

キタイト思ヒマスガ、御許願ヘマスカ

○坂政府委員 後デ調べマシテ御目ニ掛ケ

マス、只今申上ゲテモ宜シイノデアリマス

ガ、非常ニ長イノデアリマスカラ、紙ニ書

イタ刷物ニシテ廻シタ方ガ宜イト思ヒマス

○高橋委員長 御詰リ致シマシテ左様取計

ヒマス、提出サレタ上ニ致シマス

○川崎(末)委員 只今ノ勝田政府委員ノ御

答辯ハ、洵ニ我ガ意ヲ得タコトデ満足致シ

マス、サウ云フヤウニ内務省ハ一體トシテ

村モ私ハ總テ減收ト見ルノデアリマス、是

等ノ點ニ付キマシテ私ハ内務省ノ方ニ對シ

テハ府縣ト市町村別ノ減收額ヲ「ラウンド・

ナンバー」デ宜シウゴザイマスカラ御示シ

ヲ願ヒタイ、尙ホ大藏省ニ對シテハ減收ノ

君ガ居ラッシャレバ、内務省トシテノ私ハ質

疑ヲ進メテ行クヤウニ致シタイト思ヒマス、

區別シテ内譯ヲ御示シ願ヘレバ結構ダト思

ヒマス

○大矢政府委員 賃貸價格改訂ノ事務ハ一

應終リマシテ、各地共決定ヲ見タノデアリマ

スガ、マダ耕地整理地ノ減租、其他各地ノ

減租地、小作地ノ免租地等ノ調査ニ於テ計

算ノ未了ナ點ガアリマスルノデ、極メテ正

確ナルモノハマダ申上ゲ兼ネルノデアリマ

ス、更ニモウ一點申上ゲテ置キマスノハ、

田租ノ第四期分ト云フノハ翌年ニ徵收ニナ

ル關係ガアリマスノデ、平年度ニ付テ申

上ゲマス、田租ニ於キマシテハ約一千萬圓

ノ減デアリマス、畠租ニ於キマシテハ約百

九十万圓ノ減、宅地租ニ於テハ約二百八十

萬圓ノ増、其他ノ雜地租ニ於テハ約三十萬

圓ノ減、合計デ約一千萬圓ノ減デアリマス

○坂政府委員 土地賃貸價格ノ改訂ノ結果

地方ノ附加稅ニ影響致シマス減收額ノ見込

ハ、大體ニ於キマシテ市町村一千萬圓、

府縣ガ一千二百万圓餘ノ見込デアリマス

○川崎(末)委員 只今内務省ノ政府委員ノ

御説明ニ依リマスト、府縣ニ於キマシテ大

體一千二百万圓ノ減收、市町村ニ於テ一千

萬圓ノ減收ヲ地租附加稅ニ於テ來スト云

フコトデアリマス、之ニ付テ大藏當局モ別

ニ御異存ハナカラウト思ヒマスガ、念ノ爲ニ伺ツテ置キマス

○大矢政府委員 今内務省ノ政府委員ノ御述ニナッタノヘ、市町村ノ分ハ減ニナル方ダ

ケノ總計カト存ジス、宅地等ニ於テ増ニナル部分ガアリマスノデ、私ガ數日前ニ、市町

村ニ於テ約七百万圓ノ減ト申上ゲタノハ此

増減ノ差引ノコトデゴザイマス、ソレカラ

府縣ノ方ノハ宅地以外ノ田畠等ノ地租附加

稅ニ於キマシテ、昭和十二年度ニ於キマシ

テ臨時補給金ヲ交付シテ減額シタ其課率ニ

基イテ計算スルト大體其程度ニナルト存ジ

マス

○坂政府委員 只今御答辯ガアリマシタコト

ハ私カラモ補足シテ置キタイト思ヒマス、

先程市町村一千百万圓、府縣一千二百万圓

ト申シマシタノハ減トシテ出タモノデアリ

マス、宅地等ハ土地賃價格ガ增加シテ居

リマスカラ、其方ノ増加ガアルノデアリマスガ、地方ハ團體別ニ經濟ガ違フノデアリ

マスカラ、或ル團體ニ於テ増ガアルカラト

言ツテソレヲ直チニ地方財政上ノ増ト見ル譯ニ行キマセヌノデ、隨ヒマシテ減ノ分ダ

ケヲ申上ゲタ次第アリマス

○川崎(末)委員 ソレデハ内務省ノ政府委員ノ御答辯モ、大藏省ノ政府委員ノ御答辯

モ私トシテハ大體諒解致スコトヲ得マシタ、得マシタガ併シ確メテ置キタイノヘ、大藏

當局ト雖モ、今内務省ノ政府委員ノ御答辯ノ如ク市町村ニ於テ田畠ノ方ニ於テハ土地

賃貸價格ノ改訂ニ依ツテ一千百万圓ダケノ減收、而シテ宅地租——恐ラク其主ナル部

分ハ都會地方デアリマセウガ、其方ノ賃貸價格ノ改訂ノ爲ニ増ガアル、ソレヲ差引シ

テ七百万圓、斯ウ云フヤウニ伺ツテ宜イ譯デアリマセウガ、其差額ノ四百万圓ト云フ此

増ニナルモノハ地方的ニ言ヘバドウ云フ地

方デアリマセウカ、其大部分ハ東京市トカ、

ナイカト先ヅ吾々素人考デハ思ハレルノデスガ、其點ヲ一ツ伺ツテ置キマス、ソレハ内

務省デモ大藏省デモドチラデモ宜シウゴザ

ナイカト先づ吾々素人考デハ思ハレルノデスガ、其點ヲ一ツ伺ツテ置キマス、ソレハ内

アリマス、私ハ數字ハ知リマセヌケレドモ、サウダラウト思ヒマス、若シ大藏當局ガ只

大體達觀スレバサウナルベキ筈デス、多分

サウダラウト思ヒマス、若シ大藏當局ガ只

今ノ内務省ノ政府委員ノ御答辯ニ御異存ガ

ゴザイマスレバ、改メテ御發言ヲ願ヒ御示シ

願ヒタイ、大體坂君ノ御意見通リデ、私ハ

達觀ヲシテサウ見ルベキモノデアルト思ヒ

マス

○大矢政府委員 大體左様デゴザイマス

アリマセウガ、其差額ノ四百万圓ト云フ此

増ニナルモノハ地方的ニ言ヘバドウ云フ地

方デアリマセウカ、其大部分ハ東京市トカ、

願ヒマス、支那事變ノ特別稅ノ影響ニ依リ

マシテ、地方稅ガ若干減收ヲ見タ、又見ル

程ノ減免其他——ソレト是トハ別デスケレ

ドモ、サウ言ツタヤウナ意味ノ事變ニ伴ツテ

ヒマス

○坂政府委員 何レ大藏當局カラモ御話ガ

アルカモ知レマセヌガ、私共ノ考ヲ申上ゲ

マスト、土地賃價格ノ殖エマスノハ大都

トカ、或ハ洵ニ氣ノ毒デアリマスガ、不幸

トカ、或ハ洵ニ氣ノ毒デアリマスガ、不幸

トカ、或ハ洵ニ氣ノ毒デアリマスガ、不幸

ナ機會ニ於テ取調べマシテ申上ゲタイト思ヒマス

○大矢政府委員 此前ニ申上ゲテ置イタ苦

デアリマスガ、支那事變ノ特別稅臨時措置ニ關スル點、兩方通ジマシテ地方稅ノ減ハ

約一千万圓デアリマス

○川崎(末)委員 ソレハ能ク分ツテ居リマス、次ニ一ツ御見込ヲ伺ツテ置キタイト思フノ

マス

○大矢政府委員 大體左様デゴザイマス

デアリマスガ、都會地方ハ鬼モ角ト致シマ

シテ、農村ニ參リマスト今回ノ事變ニ依リ

マシテ應召者ガ多數出テ居リマス、左様

ナ場合ニ於キマシテノ是等ノ歡送デアル

トカ、或ハ洵ニ氣ノ毒デアリマスガ、不幸

ニシテ戰死サレタト云フヤウナ場合ニ於キ

マシテハ、町村葬ヲ以テ送ルトカ、御見舞ヲ贈ルトカ、香奐ヲ贈ルトカ、鬼ニ角地方

ニ於キマシテハ、都會ト違ヒマシテ、一人

ノ應召者ヲ出シマスト其部落或ハ其地方ニ

於キマシテハ是ガ爲ニ直接間接相當ナル費

用ガ使ハレテ居リマスコトハ是ハ事實デア

リマス、又幾ラ之ヲ節約セヨト申シマシテ

モ、古來ノ醇風美俗ト申シマスカ、隣保共

助ト申シマスカ、都會ニ於テハ隣ノ人ガ出

征シテモ特殊ノ關係ヲ持ツタ所ノ人以外ニ

事ヲ休ンデ驛マデカ或ハ少クトモ村境アタリマデハ送ルノデアリマス、少シ親シイ者ニナレバ入營地カ兵營マデ送ツテ行ク、其前ニハソレド^ム送別會ヲスルトカ、又親子、親戚故舊ガ集ツテ袂別ノ盃ヲ交ストカ、斯様ナ意味ノ費用ガ相當使ハレテ居ル、是ハ一概ニ冗費デアルト云フ譯ニハ行カナイ、ソレデ地方々ニ依ツテ、是等ハ違フト思ヒマスガ、私ハ關西ノ者デアリマスルガ、私達ノ地方ニ於キマシテヘ、先ヅ之ヲ京阪神ニ例ヲ取ツテ見ル、京都、大阪、兵庫此三縣ヲ私ハ一日歩イテ、町村ノ實情ヲ窺テ見タノデアリマスガ、大體地方ニ於テ違ヒマスガ、兵隊一人出ス場合ニ於キマシテハ、單ニ送ル場合ニ於テ、今申シタヤウニサウ云フ雜用ト云フモノヲ兵隊一人當リニ致シマシテモ、少クトモ百五十圓、二百圓ヲ使ツテ居ル、斯ウ云フヤウナ話ヲ地方ニ於テ實際聞イテ居ルシ、使ツテ居ルノデアリマス、此事實ハ内務當局或ハ大藏當局ニ於テドウ御覽ニナシテ居リマスルカ、ソレニ付テノ御所見ヲ伺ツテ置キタイ〇賀屋國務大臣　只今ノ御話デアリマスルガ、是ハ各地方ノ人々ノ出征者ニ對スル誠意ノ問題デアリマシテ、個人トシテ負擔ガ

アリマスルコトニ付キマシテハ、相當個人
トシテハ氣ノ毒デアリマスルガ、是ハ國民
トシテ已ムヲ得ヌト思ヒマス、唯市町村其
他ノ地方團體ガ、之ニ依ッテ負擔ガ相當増加
スルノデハナイカト私ハ察シテ居リマス、
併シソレモ市町村等ノ誠意デアリマスルカ
ラ、市町村トシテ此負擔ハ自ラスペキモノ

同ヒマシテ、茲ニ私ハ見方ヲ變ヘマシテ更ヌ
テ御同致シマスガ、來年度ニ於キマンシテハ
地方財政ノ補給金ヲ一億圓ニ据置サレタノ
デアリマスルガ、其理由ヲ私ハ内務當局ノ
政府委員ニ伺ヒタイ、而シテ此一億圓ガ少
分デアルカ否ヤト云フコトニ付テノ御意旨

イマセヌ、内務當局ニ對シテ私ハ申上ゲル、
今ノ内務政府委員ノ御答辯ヘ、ソレハ已ム
ヲ得ヌ御答辯ト思ヒマスルガ、私達カラ申
シマスレバ、自分モ前ニ内務省ニ居ツタノデ
スガ、自分等ノ曾テノ同僚ノ内務省ヘ、何
ダ、ソンナ腰ノ弱イコトデドウスルノダト
言ヒタイ、隨テ私ハ質問ノ方向ヲ變ヘテ御

デアルト私へ考へテ居ルノデアリマス、併
ナガラ農村等ニ於キマシテ非常ニ財政ノ困
難ナ所デハ、如何ニ自分ノ力デ自分ガ誠意
ヲ示サウト思ッテモ出來ナイガ、或ル程度ヘ
ドウシテモヤラナケレバナラヌ、ヤッタ結果
非常ニ財政ガ困難ヲ來スト云フコトニ付テ
ハ、是ハ私ハ餘程同情ヲシテ考ヘナケレバ
ナラヌト思フ、其結果財政ガ非常ニ困難ニ
陥ル、而モ是ハ已ムヲ得ヌ出費デアッタト
云フヤウナ場合ニヘ、私ハソレハ非常ニ同
情シテ國デモ考ヘナケレバナラヌ、サウ云
フ風ノ經費デアリマス、ソレヲ直接國ガ負
擔スルト云フヤウナコトハ非常ニ筋違デア
リマス、唯ソレハ已ムヲ得ヌ經費デアッテ、政
府ハ相當ノ考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ、斯
ウ私へ考へテ居リマス

○勝田政府委員 來年度ノ豫算ニ於キマシテ、補給金ヲ一億圓トシタ、斯ウ云フ點ノ理由デアリマスルガ、結局國ノ財政ノ關係モアリマスカラ、一應已ムヲ得ヌモノ、斯ウ云フコトデ十三年度ノ豫算ヲ出シタノデアリマス、併ナガラ此點ニ付キマシテハ議會ガ始マル以前、又ハ議會ガ始ツテ今日ニ至ル迄有ユル機會ニ於キマシテ色々御話モアリ、御議論モアリ、其點ニ付キマシテハ相當理由モアルト考ヘテ居ルノデアリマス、又是レ以上若干ノ金額ヲ増ス必要モアラウ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、目下大藏省方面ト折角折衝致シテ居リマス

伺シタイト思ヒマス、先程來私ガ御伺致シ
テ居リマシタヤウニ、第一ハ地方ノ財政ハ、
益、經費ハ膨脹致スニ拘ラズ、稅源ガ之ニ伴
ハナイ、隨テ平常ノ場合ニ於テモ地方ノ財
政ハ、府縣ト云ハズ市町村ト云ハズ、益、苦
シクナツタ、所謂赤字經濟、赤字經濟デヤツテ
居ル、此事實ハ事實デアツテ、内務當局トシ
テドウシテモ否定スルコトハ出來ナイ、唯
數字ヲ今御話ニナラナイダケデアツテ、政治
的ニ之ヲ考ヘレバ私ハ此事實ハ嚴然タル事
實デアルト思フ、次イデ來年ノ話ト致シマ
スレバ、土地賃貸價格ノ改訂ニ依ツテ、今申
シタヤウニ逼迫シテ居ル地方團體ノ財政ハ、
更ニ茲ニ若干人、即チ私ノ大體見當ヲ付
ケル所ニ依リマスト、少クトモ二千万圓ヲ
下ラナイ、府縣ト市町村ヲ通ジタラ恐ラク
二千三四百万圓ノ茲ニ減收ヲ來ス、此地方
財政ノ缺陷ヲ如何ナル方法デ補填スルカト
云フコトハ、一つノ重大ナ問題ダト私ハ思

第六類第六號 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄

第九回 昭和十三年二月二十八日

フ、ソレニ加へマシテ此事變ニ伴ツテ北支
事變ノ特別稅トカ、或ハ今回ノ支那事變ノ
特別稅、是等デヤハリ約一千万圓ト云フ地
方財源ガ奪ハレル、國ノ爲ニ地方ノ財源ガ
奪ハレル、此事實モ否定スルコトハ出來ナ
イ、而シテ府縣ト云ハズ、市町村ト云ハ
ズ、事變ノ爲ニ事務費其他ニ於テ餘程經費
ガ嵩マツテ居ル、此事實ハ大藏大臣モ御認
メニナツテ居ル、内務當局ニ於テモ私ガ申
シタヤウニ四千万圓位ハ、大體ノ見當推算
デアルガ、其位ハ事變ノ爲ニ増加シテ居ル
コトヲ御認メデアラウ、尙ホ府縣ニ於テモ、
個人カラ申シマスレバ公課トハ申スコトハ
出來マセヌガ、今申シタヤウニ兵隊一人出
セバ其兵隊一人ニ付テ百五十圓、二百圓ト
云フ金ガ要ル、假リニ戸數割賦課戸數ガ五
百戸位ノ所デモ、現在ニ於テハ少クトモ四
五十名ノ應召者ヲ出シテ居ル、是ガ五十人
ニ付テ一人二百圓當リトスレバ、其貧弱ナ
町村カラドレダケノ金ガ出テ居ルカ、勿論其
中カラ元ヘ返ル金モアリマセウガ、五十人
ニ付テ二百圓ト致シタラ如何デアリマセ
ウ、今一寸計算出來マセヌガ、多分一万圓
近クノ金ガ之ニ使ハレル、斯様ニ致シマシ
テ事變ノ關係ト云ヒ、國ノ稅法ノ改正ノ結
果トシテ、此改正ノ中ニハ事變ノ關係ト土

地價貸價格改訂ガアリマスガ、兎ニモ角ニモ
國稅ノ改正ナリ、サウ云フ改訂ノ爲ニ、乏
シイ地方團體ノ財源ハ國ノ爲ニ或ル意味ニ
於テハ奪ハレテ居ル、此儘デ置イテ果シテ
府縣ナリ市町村ノ財政ハドウ遺繩ガ付イテ
行クカ、若シ之ヲ國ニ仰ガナイデ、赤字々々
デ起債ヲ許スカ、容易ニ地方債ハ御許シニ
ナルマイ、地方債ヲ起スナラバ内務、大藏
兩大臣ノ認下ヲ得ナケレバナラヌガ、ドウ
シテモ御許シニナラナイ、色々ト吾々ハ必
要以上ノ制限ヲ爲サレテ居ルヤウニ現在ニ
於テハ見受ケル、ソレ以外ニ於テドウシテ
此町村ナリ府縣ノ財政ヲ賄ツテ行ク途ガア
ルカ、私ハソレヲ御尋セザルヲ得ナイ、先
づ此點ニ付テノ地方ノ財政ヲドウ内務省ハ
見テ行ク、ドウシテ之ヲ處理シテ行ク、殊
ニ十三年度ニ於テノ今申シタヤウニ、眼ニ
見エテ分ツテ居ルヤウナ國ノ爲ニ財源ヲ奪
ハレタ、此財源ノ缺陷ト云ヒマスカ、ソレ
ヲ補塞スルニ如何ナル方法ヲ以テ臨マント
スルノデアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

ルト云フコトモ、相當ニ豫想シ得ラレタ事柄デアリマス、隨ヒマシテ其事柄ヲ全然吾々トシテ閑却シテ居ッタ譯デモナインノデノデアリマスガ、併シ何分先程政務次官ガ御述ニナリマシタコトガ、豫算面ニ十分現レテ都合モアルコトデアリマシテ、吾々ノ考ヘテ居リマシタコトガ、豫算面ニ十分現レテ居リマシタコトハ甚ダ遺憾デアリマス、其點ハ御諒承願ヒタイト思フノデアリマス、ソレカラ先程ノ別ナ問題デアリマスガ、先程御尋デ、私ハ稍、誤解シテ居ッテ申上ガ落シタノデアリマシタガ、今度ノ臨時措置法ナル所ノ税法ノ改正ニ伴ヒマシテ、地方ノ相當ノ財源ニ響クノデハナイカ、數字ハドウデアッタカト云フ御尋デアリマシタガ、私ハ稍、別ノコトヲ考ヘテ居リマシタノデ失禮致シタノデアリマスガ、是ハ只今主税局長カラ御話ガアリマシタヤウニ、大體私共ノ計算ニ依ルト一千万圓ヲ超エル數字デアル、斯ウ云フ計算ニナッテ居リマス

イト云フヤウナ市ニ對シテモ、ソレ等ニ於テハ戸數割ヲヤハリ田舎ト同ジヤウニ賦課シテ居ル、斯様ナモノニ對シテハ、ヤハリ其戸數割ノ輕減ノ爲ニ御配付ニナツタノデアリマスカ、資料ヲ見レバ分ルノデアリマスガ、折角坂君ガ居ラッシャイマスカラ、其點ヲ伺ツテ置キタイ

○坂政府委員 補給金ヲ配當致シマス場合ニ、市ト町村トハ必シモ同一ノ取扱ヲ致シテ居リマセヌ、是ハ既ニ十分御承知デアリマスヤウニ、補給金ノ成立、或ハ三千万圓昨年度増額ニナリマシタ經緯等カラ考ヘマシテ、主トシテ農山漁村方面ノ者ノ負擔輕減ニ充テルト云フ、大キナ政治上ノ理由ガアリマンシタ爲ニ、稍機械的デアリマスガ、町村ヨリモ市ノ方ガ餘程扱ヒ上不利益ノ立場ニ立ツテ居ル事實ガアリマス、隨ヒマシテ戸數割、或ハ戸數割ニ代ル家屋附加税ト云フモノニ付キマシテ、極メテ財政ノ惡い少數ノ市ニ付キマシテハ、若干ノコトヲ考慮致シマシタガ、大多數ノ市ニ付キマシテハ、其事ハ遺憾ナガラ考慮シ得ナカッタノデアリマス

○川崎(末)委員 御答辯諒承致シマシタ、唯私ハ此機會ニ於テ内務當局ニ希望ヲ申上げ、同時ニ大藏大臣ニモ御聽置キ願ヒタイ、

モノハ、常ニ杓子定規ニ流レル、即チ今ノ坂君ノ御答辯ノヤウニ、三千万圓増額ト云フコトハ、主トシテ農山漁村地方ノ窮迫ニ廻ス、斯ウナレバ市ト名ノ付クモノハ、市ハ町村ニアラズト云フコトデ、ソレニハ金ヲヤルコトハ出來ナイ、而シテ市ニ於キマシテモ、地方ノ小都市ニ於キマシテハ、敢テ農村ト變ラナイ實情ノ下ニアルモノガ多イノデアリマス、是ハ事實デアルカラ、私ガ御尋スル迄モナイコトデアリマス、所謂其他カラ言ツテ裕福デアリ、又財政力モ多イト云フヤウナ、而モ市ト名前ハ付イテモ、其地方ニ於ケル交通關係、經濟關係ハ、昔ハ城下デアッタガ、今ハ段々人ガ減ツテ行クト云フヤウナ、漸次萎靡シテ行クヤウナ市ガモウナイデハナイ、隨テソレ等ノ財政ノコトニ付キマシテハ、町村ト同ジヤウナ點ガ多イ場合ガアル、是等モ併シ市ト名前ガ付ク爲ニ、窮迫シタ場合ニ戸數割ニ對シテモ、何等之ヲ補給シ輕減ヲ圖ルコトヲ講ジテヤラナイ、サウシテ町村ト云フ名前ガ付イテ居ルダケデ、大シテ國ノ補給ト云ヒマスカ、援助ヲ要シナイヤウナ町村デモ、コンナニ多ク貰ツタト云フコトヲ私ハ實ヘ聞

イテ居ル、左様ナコトハ徒ニサウ云フ形式ニ囚ハレズ、ソレドノ自治團體ノ實際ノ力ヲ考へ、必要ヲ考ヘナイト云フコトヲ私ハ遺憾ニ思シテ居リマス、將來此地方財政ノ補給金ヲ分配サレル場合ニ於キマシテモ、左様ナル形式ニ囚ハレズ御考願ヒタイ、而シテ是等ニ要スル經費ガ必要ナラバ、私ハ國家トシテ相當考慮スベキモノデアルト思フノデアリマス、是ハ意見トシテ申上げテ置キマス、序ニ私ハ是等ヲ綜合致シマシテ、茲ニ更メテ大藏大臣ニ御伺致シテ置キタイント存ジマス、先程來縷々質疑ヲ重ネテ居リマスル、第一ハ土地質貸價格ノ改訂ニ止マラズ、國稅ヲ減收スル、隨テ府縣市町ノ附加稅モ減少スル所ノ、地方稅ノ此缺陷ヲ補填スルニ付テ、國家トシテハ相當之ヲ考慮シテ、サウシテ現在ノ窮迫シテ居ル地方團體トシテ財政ヲ賄ヒ得ルヤウニ、配慮シナクテハナラナイノデハナイカト私ハ思フノデアリマス、又ソレハソレヲ思フト同時ニ之ヲ主張スル一人デアリマス、此點ニ付テハ大藏大臣ハ何カノ委員會デ、一議員ノ質問ニ對スル御答辯ノ中デ、御詫モ伺ッタノデアリマスケレドモ、更メテ此機會ニ大藏大臣トシテノ御考ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

シテ、田畠其他大體ニ於テ地租ハ減リマス、隨ヒマシテ現在ノ此賃貸課率ヲ維持スル場合ニ於キマシテハ、地方團體ノ收入ガ減リラ是ハ機械的ニ其儘地方團體ノ收入ガ減リマスカラ、ソレダケ國カラ補填スルト云フコトニ付キマシテハ、言葉通り其通ニヘ私ハ考ヘテ居リマセヌ、ト申上ゲマスノヘ、他ノ機會ニモ申上ゲマシタガ、色々ノ事情ヲ緩和ヲ致サナケレバナラヌト思フノデアリマス、ソレハ地租ガ減リマシタ場合ニ、ソレニ伴ヒマシテ地方ノ附加稅モ其割合ニ減スコトガ出來ルト云フコトハ、是ハ極メテ望マシト云フコトニハ、毫モ異議ガナイドコロデハナイ、私モ望ンデ居ルノデアリマス、併ナガラソレヲ致ス爲ニ、國カラ補給スルト云フコトニナリマスト如何デアリマセウカ、此事變ニ處シマシテ、國ガ非常ニ巨額ノ經費ガ要ル、斯ウ云フ際コソ、實ニ總テノ支出ニ對シマシテ、極メテ注意深ク參ラナケレバナラヌ時期デアリマス、幾十億ノ戰費ガ要ルノダカラ、何億デモ何千万圓デモ序デデハナイカト云フヤウナ考ヲ兎角財務當局モウツカリスルト持チ易イノデアリマスガ、戒ムベキハ此處ニアルノデアリマス、後代ノ國民ノ負擔ヲ考ヘ、尙ホ現在此巨額ノ

戰費ノ與フル經濟上ノ影響、屢議場其他ニ
於テモ御説ガアリマスガ、公債ノ消化、此問題
カラ關聯致シマスル物價、惡性「インフレー
ション」其他ヲ考ヘマスレバ、極メテ經
費ノ緊縮ニ付テ氣ヲ配ラナケレバナラヌ、
隨ヒマシテ政府モ十三年度ノ豫算ノ編成ニ
於キマシテハ、他ノ經費ニ付キマシテハ出
來ルダケ緊縮ノ方針デ參リマシテ、國民ハ
國トシテモ、地方團體トシマシテモ、個人ト
シマシテモ、舉ッテ難キヲ忍ンデ時局ノ爲ニ
盡サナケレバナラスト云フコトノ、財政的
方面ノ現レト致シマシテ、左様ナ方針ヲ執
リマシタ、ソレデ平素財政ガ裕ナラバ、直
チニソレダケノモノハ減額致スノデアリマ
ス、左様ナ次第デアリマスカラ、又一方考
ヘマスレバ、是ハ只今ノ事情デハアリマセ
ヌガ、農村ノ米價等モ割合ニ宜シイノデア
リマス、三十圓以上モ致シマス、賃貸價格
ノ方ハソレニ反シマシテ、機械的ニ計算ヲ
致シマシタノデ、二十圓九十錢ト云フ所ニ
致シマシタノデ、只今ノ貨貸價格ハ實情カ
ラ考ヘマスレバ、今申上ゲマシタヤウニ三
分ノ二、七割、或ハソレ以下ト云フ點モア
リマスルシ、此地租ノ附加稅ヲソレダケ負
ケルコトハ、尙ホ宜イノデアリマスルガ、
或ハソコマデ行カナクテモ、地方團體ニ此

別地租附加税ヲ減ジマシタモノモ、千七百
万圓ニ上ッテ居ルノデアリマス、隨ヒマシテ
之ヲ實行致シマシタ後ノ、府縣ノ地租ノ附
加税ノ率カラ申シマスレバ、他ノ營業収益
税トノ賦課率カラ考ヘマシテモ、相當所ニ
依ッテハ安ク相成ッテ居ル點モアリマス、是
等ハ細カイ事情デアリマスルガ、多少ハ我
慢ヲシテ戴カナケレバナラヌト云フ事情モ
考ヘマシテ、此際デアリマスルカラ、外ノ
補給金等ノ類ハ、蓋シ寧ロ減額シタモノモ
多イ際デアリマス、一億圓ノ補給金ハ其儘
ニ致シテ置ク、財政ノ方カラ考ヘマスレバ、
是ハ減シタイノデアリマスガ、地方ノ事情
カラ考ヘマスレバ、ソレ以上欲シイト云フ
所デアリマス、其邊デ内務省トモ話合ヲシ
マシテ、内務當局トシテモ、地方ノ財政ヲ
考ヘル立場カラ言ヘバ、甚ダ御不満足デアッ
タラウト思フノデアリマスガ、併シ總テノ
事情ヲ考ヘマシテ、今勝田政務次官ガ御答
ニナリマシタヤウニ、一應ソレデ已ムヲ得
ナイト云フコトニナツタノデアリマス、併シ
其後色々議會其他ノ方面ニ於キマシテノ御
要望モアルコトデアリマス、ソレデ只今ノ
ヤウニ考ヘハ致シタノデアリマスガ、尙ホ

モウ一應再考致シマシテ、能ク政府部内デ
相談シマシテ、御希望ノ點ハ頭ニ入レマシ
テ、又案ヲ考ヘ直シ、之ヲ或ル程度ニ増額
致サント、折角内務省、大藏省ト相談致シ、
或ハ自分々デモ考ヘテ居ル際デアリマス、
何卒左様ニ御諒承願ヒマス

税ヲ取レバ宜イデハナイカ、サウシテ賄シテ
行ケバ宜イデハナイカ、大藏大臣ハサウ
ハ仰シヤリマセヌガ、サウ言ツタヤウニ
私トシテハ取レルヤウナ御言葉ノヤウニ伺
フノデアリマスガ、ソレデ賄シテ行ク、
ソレデ、辻棲ヲ合シテ行ク、斯ウ云フ
ナラバ、是ハ私ハ農村ノ立場カラ言ツテ一言ナ
キヲ得ナイ、即チソレハ地租モ營業収益稅ト
同様ニ、ヤハリ吾々ハアレヲ一種ノ収益
稅——國ニ於テハ所得稅ニ對スル補完稅トシ
テ収益稅ヲ取ル、而シテ營業収益稅ニ於キ
マシテハ、年々其収益ノ實績ヲ査定シテ、
ソレニ依ツテ一定ノ課率ヲ課シテ年々取ツテ
居ル、隨テ収益ガナケレバ租稅ガ減少スル
ノハ當然デアル、附加稅ガ減少スルノハ當
然デアリマス、地租ニシテモ、其意味ニ於
テ一種ノ収益稅タル性質ヲ持ツテ居ル、私ハ
營業収益稅ト地租ニ於テ、何等其間ニ取扱
ヲ異ニスペキモノデハナイト思フ、況ヤ地
租ニ於テハ十年毎ニ賃貸價格ヲ改訂スル、
相場ノ安イ時ノ既往五箇年ヲ取レバ、今度
デ取レバ、今度米ガ下ツテ居ツテモ、高イ基
準ハ非常ニ重イ負擔ヲシナケレバナラス、

ヲ言フノノデハナイ、サウ云フヤウニ順送リニナツテ來ル、ダカラ現在ノ米價ト、其基準價格デアル現在ノ土地賃貸價格ノ改訂ノ際ニ使ハレタ所ノ價格ト、是ダケノ開キガアル、ダカラ今ハ樂デハナイカ、サウ云フコトハ議論トシテハ成立チ得ナイ、私ハ此點ニ付テハ大藏大臣ナリ稅務當局ノヤウナサウ云フ専門家ノ方々ニ對シテ、私ノヤウナ素人ガ斯ウ云フコトヲ議論致スノハ、却テコチラガオ耻カシイノデアリマス、又私ハサウ云フ深イ理論ハ知リマセヌガ、兎ニ角素人考デ吾々ニハサウ思ハレル、其點ハ一つ能ク御考フ願ハナケレバナラヌノデアリマス、是ガ一點デ、ソレカラ其他ニ於キマシテモ、例ヘバ此北支臨時租稅增徵法案デモサウデス、一體此時ノ增徵ハ地方稅ヲ拠ツタラカシテ、即チ地方稅ハ棄テ、シマッテ國稅ノミヲヤル、サウシテソレノノ增徵ニ於テハ、原則トシテ府縣其他市町村ニ於テ、附加稅ヲ課スルコトヲ止メテシマッタ、國ダケハ取ツテ市町村ニハ、ナンボ欲シイ額ヲシテ指ヲ衝ヘテ見テ居ツテモ、附イテ來テハイカント云フ、附加稅ヲ取ツテハイカント云フ、北支事件ニ於テモ同ジヤウニ、原則トシテ附加稅ノ賦課ト云フモノヲ禁ジ、

又今回ノ支那事變ノ特別稅ヲ見テモ同様デアリマス、極ク例外ハアリマスケレドモ、斯様ニシテ——殊ニ今回ノ如キハ、私達其藝ノ餘リニ細カ過ギルノニ驚入ルノデアリマス、例ヘバ是ハ餘計ナ話デアリマスガ、從來ノ地方ニ於ケル興行稅、觀覽稅、之ヲ入場稅、或ハ特別入場稅トシテ國稅ニ取上ゲル、其御注意ノ周到ナルコト、洵ニ私ハ敬服ノ至リデアル、併ナガラ國家ノ大キイ立場カラ考ヘレバ、サウ迄——殊ニ大藏大臣ハ此支那事變ニ於テモ、今後ノ財政計畫ニ付テモ、百億ヤ二百億ハ何デモナイ、斯ウ云フ太ツ腹デ、又サウ云フ風ニ御考ニナッテ居ル大藏大臣ガ、此地方ノ僅ニ殘サレテ居ルノ雜種稅ノ財源マデモ取上ゲテ、マルデ其ヤリ方ハ、洵ニ汚イ比喩デアリマスルガ、豚ガ殘滓ヲ漁ルヤウニシテ取上ゲテシマッテ、而モソレニ對シテ附加稅ハ課スナト云フ、斯ウ云ツタヤウナ義理モ人情モナイ、自分サヘ宜ケレバ地方團體ハドウデモ宜イト云フヤウナ其ヤリ方ハ——私ハサウ云フコトハ言ヒタクハナイガ、吾々下賤ナ者カラ申シマスレバ、サウ言ハザルヲ得ナイヤウナ有様デアリマス、此點ハモウ少シ太ツ腹ニナラレテ、國家ハ國家トシテ毅然トシテ、自己ノ下ニアル所ノ市町村ヤ地方團體等ニ

付テハ、モウ少シ鷹揚ナ、寛大ナ、同情アル所ノ態度ヲ以テ臨ンデ戴キタイト思フ、乏シイ所ノ財源ヲ取ラレテ、而モソレニ附加稅ヲ課スルコトヲ禁止スル、サウシテ土地賃貸價格ノ改訂ニ依ツテ減收ヲスル、併シソレハオ前ノ方デ賄ツテ行ケ、米ハ今高イデ地賃貸價格ノ改訂ニ依ツテ減收ヲスル、併シ加稅ヲ課スルコトヲ禁止スル、サウシテ土地賃貸價格ノ改訂ニ依ツテ減收ヲスル、併シソレハオ前ノ方デ賄ツテ行ケ、米ハ今高イデナリ基础カラ吾々ガ五千万圓ノ増額ヲ要求ハナイカト云フ、サウ云フヤウナヤリ方ハ、私ハ決シテ親ガ子ヲ育テ上ゲル、子ニ對スル親切ナ態度デハナイト思ヒマス、ソレデ此點ニ付テ、私ハ深甚ノ同情ト考慮ヲ大藏大臣ニ御願シ、又此私ノ申上ゲタ事ヲ内務當局ニ於テモ、希クハ内務大臣ニ御傳へ下サランコトヲ切ニ御願申上ゲマス、要ハ今回吾々ガ政友會ト協調致シマシテ、五千萬圓ノ地方財政補給金ヲ政府ニ要求致シテ居ル、私ノ傳ヘ聞ク所ニ依リマスト、總理モ其趣旨ヲ諒トシ、殊ニ縷々大藏大臣カラモ伺ヒマシタヤウニ、現在御當局ハ是ガ増ニ改メテ吾黨ト致シマシテハ五千万圓ヲ言又捲上ゲラレル、是ノ補填ヲ要スル爲ニ茲ガ當時豫想セナカツタ所ノ地方ノ財源ガヒマスガ、私ハ稅制調査會ニ於テ大藏大臣ノ御耳ニ入レマシタ、慾ヲ言ヘバ五千万圓、少クテモ三千万圓ヲ御用意願ヒタイ、ソレト引換ヘニ之ヲヤリマスト云フコトヲ足ノ至リデアリマス、感謝致スノデアリマスガ、唯此額ニ於テ吾々ハ此五千万圓ト云フモノハ、唯單ニ大擗ミノ見當ヂヤナイ、申上ゲタニ付キマシテハ、改メテ今度ハ慾ヲ言ヘバ六千万圓、最小限度四千万圓ト之ヲ引換ヘニ御願致シタイト云フコトヲ御願申上ゲマシテ、此地方財政補給金ノ問題ハガ今マデ御質問ヲ重ネテ貴重ナ時間ヲ取りマシタノハ、要スルニ私ノ主張ト、サウシテ

又其額ヲ如何ナル見當カラ吾々ガ出シテ來テ居ルトカ云フコトヲ御諒解願ヒタイガ爲メデアリマス、是レ以上ノコトハ申上ゲナクテモ賢明ナル大藏當局、内務當局ニ御推察ヲ願ヒタイ、私ノ主張ノ那邊ニ在ルカ、如何シタカ、當時私ハ稅制調查會ニ於テ慾ヲ言ヘバ五千万圓、最少限度三千万圓ト申上ゲシタカ、當時私ハ稅制調查會ニ於テ慾ヲ言ヘバ五千万圓、最少限度三千万圓ト申上ゲテ置イタ、ソレニ加ヘ當時國民ガ豫想シテ居ツタ所ハ、五千万圓「プラス」千万圓即チ六千萬圓デ、最小限度ハドウシテモ四千万圓ト言ハザルヲ得ナイ、此一千万圓ノ、開キト言ハザルヲ得ナイ、此一千万圓ノ、開キハ、今回ノ支那事變ノ特別稅ニ依ツテ更ニ吾々ハ、今回ノ支那事變ノ特別稅ニ依ツテ更ニ吾々ニ改メテ吾黨ト致シマシテハ五千万圓ヲ言又捲上ゲラレル、是ノ補填ヲ要スル爲ニ茲ガ當時豫想セナカツタ所ノ地方ノ財源ガヒマスガ、私ハ稅制調査會ニ於テ大藏大臣ノ御耳ニ入レマシタ、慾ヲ言ヘバ五千万圓、少クテモ三千万圓ヲ御用意願ヒタイ、ソレト引換ヘニ之ヲヤリマスト云フコトヲ足ノ至リデアリマス、感謝致スノデアリマスガ、唯此額ニ於テ吾々ハ此五千万圓ト云フモノハ、唯單ニ大擗ミノ見當ヂヤナイ、申上ゲタニ付キマシテハ、改メテ今度ハ慾ヲ言ヘバ六千万圓、最小限度四千万圓ト之ヲ引換ヘニ御願致シタイト云フコトヲ御願申上ゲマシテ、此地方財政補給金ノ問題ハガ今マデ御質問ヲ重ネテ貴重ナ時間ヲ取り打切リマス

○賀屋國務大臣 今ノ御發言ニ對シテハ一言申上ゲテ置カナケレバナラヌ、二百億、三百億ヲ賄ハウト思ヒマスルト、一錢一厘カラ出發シナケレバナリマセヌ、大キナ事デアラウガ、總テニ氣ヲ配ラナケレバナリマセヌ、是ハ私ハ確ニ申上ゲテ置キマス、マセヌ、是ハ私ハ確ニ申上ゲテ置キマス、細カイ所カラ氣ヲ配ルカラヤレルノデ、此時ニ大キイ氣ニナッテヤツタラ、五十億デモ六十億デモ戰費ノ調達ハ困難ヲ來ス、其點ハ確ニ申上ゲマス、其點ハ非常ニ御同情願ヒマセヌト、ソレガ大事ナンデス、ドンナ稅デモ一口デ百万圓二百万圓納メテ吳レル人バカリデハアリマセヌ、細カイ所カラ行カナケレバナラヌ、貿易デアラウガ産業デアラウガ、總テニ氣ヲ配ラナケレバナリマセヌカラ、此點ハ方々デ御議論ガアリマスガ、ドウゾ御考ヲ少シ御變ヘニナッテ同情ヲシテ戴キマセヌト困リマス、總テノ政策ハ微カラ進ンデ大ニ參リマスカラ、此點ドウゾ御願シテ置キマス、今ノ觀覽稅等ニ付キマシテハ、資本家ニ罪ハ無イ、唯地方ニ委セテ置ケバ、取ラヌ所モアリ、取ル所モアリシマスノデ、足ラヌ所ハ補給金デ出サウト云フノデ、サウ云フ案ガ考ヘラレテ居リマシタノデ、同意シマシタノデ、初メカラ取上ゲルダケノ趣旨デハアリマセス

○川崎(末)委員 ソレハ此次ニ御伺致シマス

○賀屋國務大臣 ソレカラ今ノ收益稅ニ付テモ色々御説ガアリマシタ、細カイ租稅ノコトニナリマスト、多少私モ今研究中デアリマスカラ、何レ又別ノ機會ニ……

○高橋委員長 一寸川崎君ニ御諸シマスガ、今宮本君竝ニ岡本君カラ交付金ノ問題ニ關聯シテ簡單ナ質疑ラシタイト云フ申出ガアリマスカラ、之ヲ許可致シタイト思ヒマス

○川崎(末)委員 ドウゾ

○高橋委員長 宮本雄一郎君

○宮本委員 私ハ只今川崎君ノ御質問ノ地方財政ニ關聯致シマシテ、只一點御伺致シタイト思フノデアリマス、御承知ノ如ク、

目下市町村ハ豫算ノ編成時期デアリマス、本月一杯ニ編成ヲ終リマシタ市町村モアラリマスカラ、市町村會ノ議決ガ延ビル所ガ本年ハ多カラウト存ジマス、市町村長ガ十三年度ノ豫算編成ニ當リマシテ、非常ニ苦心セラレテ居ル點ハ、如何ニシテ市町村ガ財政的ニ時局ヲ突破スルカ、又市町村民ノ經濟事情ニ對シマシテ、増稅等ノアル時ニ、如何ニ増稅力ヲ涵養スルカト云フ點ガ、最モ市町村ノ豫算編成ニ對シテ市町村長ガ發案

ノ上ニ苦心シ、市町村會ガ之ニ協賛ヲ與ヘルコトニ苦心セラル、コトハ想像ニ難カラ

ザル點デアラウト存ジマス、之ニ付キマシテ、ソレドヽ地方府縣ハ十三年度市町村豫

算編成ニ付キマシテ、依命通牒ヲ發セラレテアリマス、川崎サンノ御尋ニナリマシタ

コトモ其點デアラウト存ジマスガ、茲ニ私ハ其寫ヲ持ツテ居リマス、モウ一つハ市町村豫算編成ニ關シマシテ、地方債ノ抑制ニ關

スル依命通牒デアリマス、是ハ又或ル機會ニ委員長ノ御許ヲ得テ伺ヒタイト存ジテ居リマスガ、唯昭和十三年度ノ豫算編成ニ關

シテノ依命通牒ノ中ニ、歲出歲入ニ關シテ數項ニ亘ツテノ御注意ガ茲ニ書イテアリマス、之ヲ一々申上ゲルコトハ、此場合省略致シマスガ、歲入ニ色々ノ御注意ガアリマスガ付カズニ終ツタノデアリマスカ、詳細ナ此依命通牒ガアルニモ拘ラズ、全國ノ市町村ヲ通ジマシテ、頭ハ八千五百万圓ニ決ッテ

是ハ内務省當局ト致シマシテハ、此事ハ氣ガ付カズニ終ツタノデアリマスカ、詳細ナ此依命通牒ガアルニモ拘ラズ、全國ノ市町村ヲ通ジマシテ、頭ハ八千五百万圓ニ決ッテ

加ヲ致シマス、又學級增加ニ伴ウテ二千人以上ノ小學校教員ガ增加スルト云フコトハ、是ハ文部省デ明ニ數字ガ出ルダラ

トハ、ウト存ジマス、八千五百万圓ハ其儘デアリマスカラ、此通牒ニ私ハ一點御忘レニナシテ居ル點ガアルデハナイカト思

テル金額ト、增加ニ伴フ教員ノ數ニ割當

ト付キマシテ一番考慮ヲ要スル點デアリ、又經常的ニ金額ノ多イモノハ教育費デアリ

マス、此教育費ノ中デ、小學校教育費ハ御

承知ノ如ク八千五百万圓義務教育費國庫負

擔法ニ依ル所ノ支出ガアリマスガ、是ガ毎年學齡兒童ノ增加及ビ學級ノ增加ニ伴ヒマ

ルコトニ苦心セラル、コトハ想像ニ難カラシテ、其一人ノ平均額ガ減少スルト云フコトハ、是ハ内務省ノ御當局モ御承知デアラ

シテ、一人當リノ學校生徒ノ分當割、小學校教員ノ一人當リノ配當額ガ

ウト存ジマス、此一人當リノ學校生徒ノ減少スルト云フコトハ、御承知デアラウト

存ジマス、此結果市町村ノ歲入ニ及ボス所ノ影響ハ數百万圓ニナルノデアリマス、此減額ヲ如何ニ處理スルカト云フコトガ、此依命通牒ノ中ニサラニナイノデアリマス、

是ハ内務省當局ト致シマシテハ、此事ハ氣ガ付カズニ終ツタノデアリマスカ、詳細ナ此依命通牒ガアルニモ拘ラズ、全國ノ市町村ヲ通ジマシテ、頭ハ八千五百万圓ニ決ッテ

加ヲ致シマス、又學級增加ニ伴ウテ二千人以上ノ小學校教員ガ增加スルト云フコトハ、ト付キマシテ、何等カ積極的ニ施設ヲセンケレバナラヌト云フヤウナコトヲ、大藏大臣ガ御考慮シテ居ラレルナラバ、之ニ關聯シテ其一點ダケヲ御伺シテ置キタイト思ヒマス

○坂政府委員 先程ノ御希望ニ依リマシテ、何レ御配付申上ゲル御約束ヲ致シマシテ通牒ニ付テノ御尋デアリマスガ、此通牒ハ歲

入歲出兩方面ニ亘ツテ居リマシテ、歲入ニ付キマシテ此處ニ書イテ居リマスモノハ、專ラ

ノ關係デアリマス、何故斯ウ云フ通牒ヲ
各地方ニ配付セラレル譯デアリマス、併シ
本年度一億見當ニナリマシテ、ソレガ何レ
先程カラ御議論ガアリマスヤウニ、賃貸價
格ノ關係等モアリ、アレヤ是ヤデ補給金ガ
ドウ云フコトニナルダラウカト云フコトニ
付キマシテ、明確ナル見透シラ何一ツ付ケ
ルコトガ出來マセヌ、市町村ト致シマスト、
豫算ノ編成ガ遅レマス、市町村ハ御承知ノ
ヤウニ九月一杯位ニ豫算ノ編成ヲ締切ッテ、
十月頃カラソロ／＼縣會ガ始マリマスカラ、
何トカ目安ヲ付ケテヤラント豫算ノ組ミヤ
ウガナイ、斯ウ云フ話ガ段々出テ參リマシ
タノト、一面戰爭ガ起リマシテ、歲出方面
ニ付キマシテモ、出來ルダケノ整理節約ヲ
ヤツテ貰ハナケレバナラヌト云フ事情ガ別
途ニアリマシテ、兩方合セテ取敢ヘズ此程
度ノ通牒ヲ出シマシテ、先ヅ是デ豫算ヲ組
ムヤウニシテ貰ヒタイ、斯ウ云フコトヲ言
ウテヤツタノデアリマシテ、此通牒ニ歲入歲
出全部ニ亘ツテノモノガ總テ網羅サレテ居
ル積リハナイノデアリマス、只今モ御話ノ
アリマシタヤウニ、義務教育費國庫負擔金
ノ關係モ御説ノヤウナ事情モ段々アルカト

レテ居リマセヌノハ、サウ云フ事情デアリ
マス、差當リ必要デアラウト考ヘマシタモ
ノダケヲ通牒シタト、斯様ニ御諒承戴キタ
イト思ヒマズ

○宮本委員 簡單ニ一寸御尋致シタイ、此通牒ノ各事項ノ順序ニ付キマシテ、此機會ニ質問致シタイト思ヒマスガ、大體ニ於キマシテ、町村豫算ヲ編成スル方針ヲ示サレタモノダト思ヒマス、其中ニ、毎年五千圓程度ノ交付金ヲ受ケル町村ヲ實例ト致シマシテ、五百圓程度ノ減收ヲ來スノデアリマス、斯ノ如ク歳入ノ缺陷ニナルベキモノヲ、之ニ對シ税ノ關係ハアリマセヌケレドモ、之ニ對シテハ政府ガ監督シテ國庫ヨリ金ヲ交付致マス、ソレヲ斯ノ如キ詳細ナル通牒ヲ發セ

ラレシコトニ對シ御老慮ガナカシタコトハ、只今御答辯モアリマシタ通り、市町村ノ豫算ノ組立ヲスルト云フコトニ對シテ市町村ガドウシテヤレルカト云フコトニナルノデアリマス、義務教育費ガ毎年學齡児童ノ増加ニ伴シテ交付ガ減額サレルト云フヤウナコトヲ内務當局ハ御考ニナツテ居リマスカ、其一點ダケヲ御答辯願ヒタイト思ヒマス

自然配當スル金額ニ影響致シマスコトハ其通リデアリマス、併シ是ハ毎年ノコトト申シマスカ、例年起ルコトデアリマシテ、本年度ニ付キマシテ特ニ起ル事情デハナイノデアリマス、豫算編成方針ニ付キマシテ通牒ヲ出シマスノハ、毎年出ス譯デハナイノデアリマシテ、本年度ハ特ニ税ノ關係モアリ、戦争ノ關係モアリマシテ、特別ニ通牒ヲ出シタノデアリマス、本年度特有ナ事情ノ顯著ノモノニ付テノミ書イタヤウナ次第デアリマス、其點ヲ御含ミ願ヒタイト思ヒマス、仰セニナリマシタ點モ御尤ト思ヒマスガ、通牒ニ其事ヲ書カナカッタ理由ハ其理由デアリマス

タ通リテ、大藏當局ノ方ハ更ニ宅地ノ方ノ
増ニナツタモノガ三百万圓アルカラ、之ヲ差
引クト七百万圓ニナル、斯ウ云フ御話ガア
リマシテ、結局ハ二千万圓ト云フコトデ、
減ト増トヲ差引致シマスト、數字ハ双方ノ
仰セラレル所ハ一致スルヤウニ思フノデア
リマス、午前ノ大藏大臣ノ御答辯ニモヤハ
リ二千万圓トアツタヤウデアリマス、茲デ斯
ウ云フ數字ガ出マスルト疑トナリマスノハ
今朝ノ新聞記事デアリマス、此補給金ノ增
額ニ付テ内務當局ノ方ハ二千万圓ノ要求ヲ
致シタ、之ニ對シテ大藏當局ノ方ハ一千万
圓ハ認メルガ、一千万圓ハ認メナイ、ソレ
ハ臨時租稅措置法ニ依ツテ一千万圓減ト云
フモノガ出來ルカラ、差引スレバソコニ一

レタヤウナ記事ガ東京ノ大新聞ニ見エタノ
デアリマス、吾々ハ豫ネテ、只今川崎君力
ヲ言ハレ、又政友會ノ岡田君カラモ言ハレ
マシタ通り、少クトモ五千万圓以上ヲ要求
シテ居ルノデアリマス、今ノ附加稅其他ノ
減稅ニナツタモノ、ソレカラ先刻御答辯ニナ
リマシタ事變ニ依ツテ四五千万圓ノ少クトモ
影響ヲ受ケテ居ル分ト併セテ六七千万圓ノ
茲ニ打擊ヲ受ケテ居リマス、殊ニ貧弱農村
ニ至ツテハ一段ト負擔ガ多イカラト云フ理

○坂政府委員 御尤デアリマス、學齡兒童
ガ殖エ、或ハ教員數ガ段々殖エマス、何時

第六類第六號
臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄 第九回

第九回 昭和十三年二月二十八日

ガ増シ、經常收入ヲ増シテ置カナケレバナラヌカト云フコトモ、ドウシテモ頭腦ニ浮ブ所デアリマス、ソレニ關シマシテモ、所謂長期應戰ガ長ク續キマスレバ、經常支出ノ增加ガ此程度ニ止マルカト云ヘバ、此程度以上ニナルト云フコトヘアリマシテモ、此程度以下ニナルト云フコトハナカラウト考ヘマスルノデ、單純ニ財政論カラハ尙ホ多キヲ望ムノデアリマスガ、ソレハ經濟、國民生活ヲ考ヘマシテ止メマシタ次第デアリマス、詰リヤリ方ト致シマシテハ、各稅率ノ方カラ盛リマシテ、結論ガサウ云フ風ニ大體出テ來タ、其稅率マデハ此際國民ニ忍ンデ貰ヒタイ、斯ウ云フ考ヘ方デゴザイマス

○川崎(末)委員 諒承致シマシタ、續イテ御伺致シタイコトハ、此增稅ノ目的ガ戰費ノ調達ニアルコトハ申ス迄モゴザイマセヌ、併ナガラ其財政上ノ目的以外ニ、併セテ此增稅ニ付テ一種ノ倫理的ト申シマスルカ、道徳的ノ意味ヲ茲ニ含メタ、此時局ニ斯ウ言ツタ意味ニ於テ、國民ニ時局ノ認識ヲ高メシメル、而シテ道徳的ノ責任ヲ課セシメルト、斯ウ云ツタヤウナ意味モ多分ニ含マレテ居ルヤウニ、御説明ヲ承ツタヤウニ思

フノデアリマスガ、此意味ヲ相當重イ意味ニ吾々ハ了解シテ宜イノデアルカ、寧ロ是ハ附タリデアッテ、何ト申シマシテモ財政上ノ點、即チ戰費ノ支辨其ノ爲ニ增稅ヲヤッタモノデアルカ、此點ニ付テ秤ニ掛ケル譯ニ参リマセヌガ、大體ノ御氣持トシテ、此間ノ輕重ニ對スル御心持ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○賀屋國務大臣 私ハ兩者ガ合サツテ一ツノモノニナルト考ヘテ居リマス、昨年臨時増徵ニ依ツテ三億圓餘ノ年額ノ負擔ガ殖エマシタ上ニ、又三億圓ノ負擔ガ殖エマシテ、六億圓ノ負擔ガ僅カ一二年ノ間に殖エマスコトハ、國民ニ取リマシテハ、是ハ相當ノ負擔ヲ感ズルコトデアラウト思フノデアリマス、併ナガラ之ヲ敢テスルト云フコトハ、財政的ニハソレガ行詰ラナイニ致シマシテモ、負擔スベキ理由ガ、詰リ國民デアルカラ、國家ノ財政上必要ナル處置ニ應ズルト云フコトハ勿論デアリマスルガ、今回サウ云フ重イ負擔ニモ任ジナケレバナラヌト云フコトヘ、國民トシテ此際國家ニ盡スト云云フコトヲ考ヘルト云フコトガ入ルト思フ、ソレハ之ヲ假ニ心持ヲ以テ現ヘシマスレバ、對シテ國民モソレバ、應分的ニ犠牲ヲ拂フ、

ト云フ其心持ガ、此非常時稅ヲ可能ナラシメル一ツノ要素デアラウト思フ、其心持ト財政上ノ必要ガ合ハサツテ、一體ニナルモノデモノ、即チ戰費ノ支辨其ノ爲ニ增稅ヲヤッタアルト私ハ考ヘテ居リマス

○川崎(末)委員 只今ノ大臣ノ御辯明、一應對シテ此時局ヲ認識セシムルト同時ニ、分増徵ニ依ツテ三億圓餘ノ年額ノ負擔ガ殖エマシテ、忍バシメルト、斯ウ云ツタ意味ニ於テスルナラバ、私ハ今回ノ增稅ガニ應ジタ犠牲ヲ忍バシメルト、斯ウ云ツタ六億圓ノ負擔ガ僅カ一二年ノ間に殖エマスコトハ、國民ニ取リマシテ、國民ニ考ヘテ居ル、デ今回ノ增稅ノ目的ガ、單ニ財政上ノ目的ヲ充スノミナラズ、併セテ是ガ一種ノ倫理的ノ意味ヲ含マシテ、國民ニ對シテ此時局ヲ認識セシムルト同時ニ、分増徵ニ依ツテ三億圓餘ノ年額ノ負擔ガ殖エマシテ、忍バシメルト、斯ウ云ツタ六億圓ノ負擔ガ僅カ一二年ノ間に殖エマスコトハ、國民ニ取リマシテハ、是ハ相當ノ負擔ヲ感ズルコトデアラウト思フノデアリマス、併ナガラ之ヲ敢テスルト云フコトハ、財政的ニハソレガ行詰ラナイニ致シマシテモ、負擔スベキ理由ガ、詰リ國民デアルカラ、國家ノ財政上必要ナル處置ニ應ズルト云云フコトハ勿論デアリマスルガ、今回サウ云フ重イ負擔ニモ任ジナケレバナラヌト云云フコトヘ、國民トシテ此際國家ニ盡スト云云フコトヲ考ヘルト云フコトガ入ルト思フ、ソレハ之ヲ假ニ心持ヲ以テ現ヘシマスレバ、對シテ國民モソレバ、應分的ニ犠牲ヲ拂フ、

ト云フ其心持ガ、此非常時稅ヲ可能ナラシ信ニ向ッテ、增稅ヲ試ミラレル場合ニ於テモ、亦之ヲ説明スル場合ニ、私ハ其間ニ曖昧模糊タル態度ヲ排シ、敢然ト率直ニ申スコトガ必要デアルト考ヘ、餘計ナコトデアリマスガ、私ノ所見ヲ申上ゲテ、併セテ大臣ノ此點ニ付テノ御考慮ヲ煩シタイト思フノデアリマス、續イテ私ハ御伺致シマスガ、今回ノ部分的ノ改正ノ個々ニ付キマシテハ、各論的ニ一二御尋スルコトガアルカ知レマセヌガ、私ガ申述ベマシタヤウニ、國稅ヲ體系ト致シマシテハ、當分ハ基本法或ハ臨時租稅增徵法、今度ノ北支事變特別稅、或ハ今回ノ支那事變稅、色々錯綜シテ居リマスガ、是ハ先ニ申シマシタヤウニ、綜合シテ切ハギシテ詰メレバ、體系トシテハ一應整ツテ居ルヤウニ私ハ思ヒマスガ、此點ニ付テハ大藏當局ハドウ御考ニナツテ居リマスルカ、又假ニ言葉ヲ換ヘテ申セバ、國稅ノ方面ニ於テ居ル、部分的改正ヲ行ツタ曉ニ於テハ、增稅ハ姑ク別トシテ、今度ノ臨時的改正ニ依ツテ、國民ノ負擔ト云フモノガ、略、均勢ガ保タレタレテ居ルト御考ニナツテ居ルカドウカト云

フコトヲ、先づ御伺シテ見タイ

○賀屋國務大臣

租稅ノ負擔ハ仰セノヤウ

ニ、國稅、地方稅ヲ通ジテ見ナケレバナラナ
イノデアリマス、國稅、地方稅ヲ通ジテ見
マシテモ、只今ノ農村產物ノ物價、農村ノ收
入狀況カラ致シマスレバ、餘程負擔ノ均衡ハ
取レテ參ッタト思ヒマス、之ニ付キマシテハ
他ノ機會ニ於キマシテ參考ノ表モ差上ゲテ
アツカト思ヒマスルガ、均衡ガ取レテ參ッテ
居ルト思ヒマス、唯ソレハ現在ノ農村物價ニ

依存ヲシテ居ル所ガアリ、單純ニ國稅ノ稅率
ガ變ッタ、一部ノ補給金ニ依シテ地方稅ノ稅率
ガ變ッタト云フノミデハアリマセヌデ、農村
物價デ最近上ツテ居リマス、殊ニ農村產出
物ノ物價ガ上ツテ居ルコトニ依存シテ居リ
マスルコトハアリマス、是ハ制度トシテハ
完全トハ思ヒマセヌガ、兩者ヲ通ジマシテ
モ、以前ヨリハ其點ハ餘程體系ヲ成スノニ
近イ相貌ヲ呈シテ居ル、併ナガラサウ云フ
稅制以外ノ事實ヲツ見テ居ルト云フ點、
尙ホ色々ノ所謂資本的ノ方ニ於キマシテ
ハ、全ク過渡期デアリマシテ、是デ以テ相
當ニ行ツテ居ルト思ヒマセヌ、ソレハ第一種
或ハ第三種ト第二種所得稅ノ關係デアリマ
ス、此點ハ所謂低金利ノ進行ガ比較的急激
デアリマシタ爲ニ、其邊ト實際ノ稅引ノ

收入トガ、此際ニ著シク考慮ノ中ニ入ツテ來

マス關係デ、稅制ノ上ニ於テハ、第二種ハ第
一種、第三種ト非常ニ均衡ヲ經テ居リマセ
ヌ、併ナガラ經濟事情ヲ考慮ニ入レルト、

是デ已ムヲ得ナイト云フ事情ニアリマス、
此經濟事情ト云フモノガ落著イタ場合ニハ、
變リ得ルモノデアリマス、ソレデ此點モ今
ノ事情ニハ相應シテ居リマスルケレドモ、

是デ以テ安定シテ居ルトハ考ヘテ居リマセ
ヌ

○川崎(末)委員 只今大臣ノ御答辯ヲ伺ヒ
マスルト、一言ニシテ申シマスレバ、國稅
ノ部分ニ關シマシテハ、今回企テタ部分的
改正ノ行ハレタ曉ニ於テハ、略體系ガ整ヒ、
「バラنس」ガ取レテ居ル、個々ノ稅種ニ付
テ比較スレバ、ソコニ多少ノ不均衡ハアル
ケレドモ、現在ノ經濟狀態ト申シマスカ、
モーツノ考へ方デアル、又今回ノヤウニ各
リ方モーツノ方法デアラウ、之ヲ私敢テ主
張スルノデハアリマセヌガ、サウ云フコト
應ニ之ヲ萬遍ナク振當テルト云フト云フヤ
リ方モーツノ方法デアラウ、之ヲ私敢テ主
張スルノデハアリマセヌガ、サウ云フコト
レバ、大體今マデ是ハ「バラанс」ガ取レテ
居ル、平均サレテ居ルト云フナラバ、茲ニ
何億ノ稅ガ更ニ必要デアルト云フナラバ、
之ヲ大體各稅ニ付テ相當ニ配分シテ行ク、
其配分ノ割合ハ色々違ヒマセウケレドモ、
大體租稅ノ負擔ノ公正ノ原則ニ從ツテ配分

スル、サウシテドノ稅モ、所得稅モ、相續
稅モ、營業收益稅モト云フヤウニ、大體國稅
ノ各部分ニ對シテ——之ヲ人間ニ譬ヘレバ、
其稅々々ノ能力モアリマセウカラ、其分相
應ニ之ヲ萬遍ナク振當テルト云フト云フヤ
リ方モーツノ方法デアラウ、之ヲ私敢テ主
張スルノデハアリマセヌガ、サウ云フコト
レバ、大體今マデ是ハ「バラанс」ガ取レテ
居ルト云フ場合ニ於テ、吾々素人ガ考へ

居ル、平均サレテ居ルト云フナラバ、茲ニ
證券移轉稅ノ如キ、之ニ對シテハ今回增徵
ヲシナイ、然ラバ增徵サレタ方ノ稅ノ負擔
ニ於テノ負擔ノ均衡ト言ヒマスルカ、ソレ
ハドウ云フ工合ニナッテ來ルカ、今マデハ略、
均勢ガ保タレテ居ツタガ、今回ノ臨時事變ト
云フカ、支那事變ノ增稅ノ爲ニ、一方ハ增
徵ヲ否トシ、片方ハ增徵ヲ可ナリトスル、
此稅ト稅トノ間ノ「バラанс」ヲ如何ニ御考
ニナルカ、其點ヲ併セテ伺ヒタイト思ヒマ
ス

○賀屋國務大臣 只今ノ課稅ガ必ズ全部的
ニ完全ニ均衡ヲ得テ居リマスレバ、各稅種
ニ對シテ同一ノ増加率ヲ盛ルト云フコトモ考
ヘラレマスガ、ソレ程完全デハアリマセヌ、
ソレデ大體ハ例ヘバ所得ヲ取ラレマスルニ
致シマシテモ、地租、營業收益稅ニ補完稅
ガアル譯デアリマス、只今デハ農村ノ地主、
自作農ハ相當負擔ガ苦シイト言ヘレテ居ル
時デアリマス、餘程緩和シテ居リマスケレ
ドモ、サウ云フ時勢デアリマスカラ、此補
完稅ノ方ノ增加ヲスルト云フコトハ避ケタ
方ガ宜シイ、又地租ハヤリマセヌデ、營業
收益稅ノミヲスルト云フコトニナリマスト、
引

○賀屋國務大臣 大分ソレニ近イ、現象ニ
ナツテ居リマス

○川崎(末)委員 然ラバコ、デ左様ニ大臣
ガ御考デアリマスナラバ、大體今回ノヤウ
ナ臨時事變ニ付テ、戰費ヲ調達スル爲ニ増
稅スルト云フ場合ニ於テ、吾々素人ガ考へ

ノデハナイカト云フ、ツノ感ジガゴザイマ
スノデ、其コトヲ申上げテ、之ニ對スル大
臣ノ御所見ヲ伺ヒ、併テ今回ノ增稅ニ當リ
マシテハ、今申シタ意味ニ於テソレド引

抜イテ來テ、其中ニハ例ヘバ相續稅、地租、
營業收益稅、資本利子稅ノ如キ、或ハ有價
證券移轉稅ノ如キ、之ニ對シテハ今回增徵
ヲシナイ、然ラバ增徵サレタ方ノ稅ノ負擔
ニ於テノ負擔ノ均衡ト言ヒマスルカ、ソレ
ハドウ云フ工合ニナッテ來ルカ、今マデハ略、
均勢ガ保タレテ居ツタガ、今回ノ臨時事變ト
云フカ、支那事變ノ增稅ノ爲ニ、一方ハ増
徵ヲ否トシ、片方ハ增徵ヲ可ナリトスル、
此稅ト稅トノ間ノ「バラанс」ヲ如何ニ御考
ニナルカ、其點ヲ併セテ伺ヒタイト思ヒマ
ス

特殊ノ理由ガナケレバナラヌ、段々徵稅ノ技術モ發達致シマシテ、補定稅デナク本稅ノ方ヲ增徵シテモ、餘程負擔ノ公平ヲ期セラレルト云フコトニナリマス、隨テ營業收益稅、地租ノ如キモノヘ、此程度ノ增稅ヲ致ス際ニハ、先ヅ所得稅ノアノ程度ノ增徵ナラバ補定稅ノ増徵ヘ避ケタ方ガ宜シト考ヘマス、又是ハ今臨時稅デアリマスカラ、相續稅ノ如キ、此負擔ノ增加ハ分納デアリマスカラ、非常ニ後年度ニ事實上及ビマス、是モノ點モアリマス、ソレカラ資本利子稅ノ如キモ、今申上ゲマシタヤウニ、大體ニ於テ今ノ經濟現象カラ、第二種所得ニ對スル今ゲタ位デアリマシテ、所得稅ニ於テ取ラレタ位デ十分デアルト考ヘテ居リマス、有價證券移轉稅ノ如キハ創設勿々デアリマシテ、之ニ直ぐ重課スルト云フコトハ餘程考ヘモノダト思ヒマス、殊ニ只今ノヤウナ生産力擴充ノ關係デ、非常ニ有價證券ノ增加、特ニ公債ノ增加モアリマスカラ、一部ノ要求トシテ、之ヲ廢止シテ吳レト云フ要置イテ置キタイト思ツテ居リマス、間接稅等ニ於キマシテモ酒、砂糖等モアリマス、是

ハ先程御話ニナリマシタ國民全部ニ負擔ヲシテ貰フト云フ趣旨ノ一つノ現レデアリマス、所得稅ノ免稅點ヲ引下ゲタト同ジ趣旨ノ現レデアリマス、併ナガラ組織物等ニ付キマシテハ、相當考慮ヲ要スル點ガアルト思ヒマス、引上ヲ致シマスニ際シテ、左様ナ個々ノ稅ニ付キマシテ、ソレハ考ヲ以チマシテ參リマス、隨テ是ガ尙ホ大キナ増稅ヲ致スト云フトキニナリマシテ、所得稅ガ非常ニ増加ヲスルト云フヤウナコトニナルト、是ハ假定デアリマスガ、ソレハ補完稅モ考ヘテ參ルヤウナコトニナルカモ知レマセヌ、現在デハアノ程度ノ線ダケデ宜シコトト思ヒマスガ、私ト致シマシテハ極メ同僚カラ詳細ナコトハ更ニ又御質問ガアルト、是カラ御尋致シマス、今回通行稅ガ新設サレマスルガ、曩ノ濱口内閣時代ノ稅制整理ニ於テ、所謂大衆課稅ヲ避クベシト云フノデ廢止サレマシタガ、又復活スルニ至ツタ、通行稅ノ新設ニ付キマシテハ、私ニ申シタ今回ノ增稅ノ臨時意味ノ目次、是ハ全部既存ノ稅ノ増率ノミニ俟ツヨリモ、新稅ノ創設ノ方面ガ適當デアルト考ヘタ譯デアリマシテ、新シイ稅ガアルコトテ、是ハ全部既存ノ稅ノ増率ノミニ俟ツヨリモ、新稅ノ創設ノ方面ガ適當デアルト考ヘタ譯デアリマシテ、新シイ稅ガアルコト

モ御承知ノ通リデアリマス、常ニサウ云フラレタ、恐ラク是ハ大衆課稅ヲ成ベク避ケニ付テハ增徵シ、全體トシテハ既存ノモノ考ヘ方デ、或稅ニ付テハ增徵ヲ避ケ、或稅ニ付テハ高ク上ガルト云フ方針デ、只今ノヤウナ結果ニ出マシタノデアリマス

○川崎(末)委員 只今ノ御説明デ一應諒解

モ、地租ニ付テ特別ノ御同情ノアル御言葉ヲ戴キマシテ、實ハ地方財政補給金ノ問題ノ現レデアリマス、併ナガラ組織物等ニ付キマシテハ、相當考慮ヲ要スル點ガアルト思ヒマス、引上ヲ致シマスニ際シテ、左様ナ個々ノ稅ニ付キマシテ、ソレハ考ヲ以チマシテ參リマス、隨テ是ガ尙ホ大キナ増稅ヲ致スト云フトキニナリマシテ、所得稅ガ非常ニ増加ヲスルト云フヤウナコトニナルカモ知レマセヌ、現在デハアノ程度ノ線ダケデ宜シコトト思ヒマスガ、私ト致シマシテハ極メ同僚カラ詳細ナコトハ更ニ又御質問ガアルト、是カラ御尋致シマス、今回通行稅ガ新設サレマスルガ、曩ノ濱口内閣時代ノ稅制整理ニ於テ、所謂大衆課稅ヲ避クベシト云フノデ廢止サレマシタガ、又復活スルニ至ツタ、通行稅ノ新設ニ付キマシテハ、私ニ申シタ今回ノ增稅ノ臨時意味ノ目次、是ハ全部既存ノ稅ノ増率ノミニ俟ツヨリモ、新稅ノ創設ノ方面ガ適當デアルト考ヘタ譯デアリマシテ、新シイ稅ガアルコトテ、是ハ全部既存ノ稅ノ増率ノミニ俟ツヨリモ、新稅ノ創設ノ方面ガ適當デアルト考ヘタ譯デアリマシテ、新シイ稅ガアルコト

モ御承知ノ通リデアリマス、常ニサウ云フラレタ、恐ラク是ハ大衆課稅ヲ成ベク避ケニ付テハ增徵シ、全體トシテハ既存ノモノ考ヘ方デ、或稅ニ付テハ增徵ヲ避ケ、或稅ニ付テハ高ク上ガルト云フ方針デ、只今ノヤウナ結果ニ出マシタノデアリマス

○賀屋國務大臣 往年交通稅ガ惡稅ト云フ理由デ廢止サレマシタ、其前後ノ議論其他ヲ考ヘマシテモ、此市内電車ノ片道八錢ト云スガ、若シ今回ノ增稅ニ付テ臨時のノ意味

モ、大藏大臣ハ本當ニ農村ニ對シテ理解モ無量ナ點ガアリマス、其點カラ申シマシテアリ、又補給金ノ問題ニ付テハ御同情ガアリベキ筈デアルト思フノデアリマスルガ、ト先程ノ御答辯ヲ照合シテ考ヘマシテ、感慨モ云フ人モアリマセウシ、或ハ十糸——十糸ト云フノハラカシイガ、言換ヘテ見レバ、市内電車トカ、市内ノ「バス」トカト云フヤウナモノハ、之ヲ免稅スルト致シマシテモ、郊外電車或ハ省線ト云フヤウナ、遠距離ノ交通機關ト連絡スルモノニ付テハ、モウ少シ免稅點ニ付テハ考ヘ得ル餘地モアラト云フ議論デハアリマセヌガ、誰デモ稅ハウト思ヒマス、敢テ私ハ免稅點ヲ引下グロト云フノデ廢止サレマシタガ、又復活スルニ至ツタ、通行稅ノ新設ニ付キマシテハ、私ニ申シタ今回ノ增稅ノ臨時意味ノ目次、是ハ全部既存ノ稅ノ増率ノミニ俟ツヨリモ、新稅ノ創設ノ方面ガ適當デアルト考ヘタ譯デアリマシテ、新シイ稅ガアルコトテ、是ハ全部既存ノ稅ノ増率ノミニ俟ツヨリモ、新稅ノ創設ノ方面ガ適當デアルト考ヘタ譯デアリマシテ、新シイ稅ガアルコト

フ所ニ一錢ノ稅ガ課カル、片道一錢ノ稅ガ課カルト云フヤウナ、極メテ不合理ナル點ガ主要ナ原因デアッタト思フノデアリマス、今回ノ課稅ニ於キマシテモ、其點ヲ考ヘマシテ、少クトモ毎日通勤ノ爲ニ考ヘ得ルヤウナ範圍ハ、除イタ方ガ宜シイデハナイカ、併ナガラ通勤ヲ致スニシマシテモ、二等以上デ往復シ得ルヤウナ階級ハ、租稅力ガアル階級デアリマスカラ、是ニヘ近距離ト雖モ通行稅ヲ課スルコトニ致シマシタ、三等乘客デ通勤ラスル階級ハ、只今ノ交通狀況デハ相當遠距離マデ及シニ居ルノデアリマス、ソレハ五十糸デ適當デアルカドウカハ御説ハアリセウガ、四十糸、三十糸アタリ迄ハ、隨分通ツテ居リマスノデ、之ニ課稅ヲ致シマスト、サウ云フ事情ニアル人ノミニ特別ナ負擔ヲ致スヤウナコトニモナリマスノデ、五十糸以下ノ三等乗客ニ對シテハ、課稅ヲ致サヌト云フコトニ致シマシタ

○川崎(末)委員 私ハ曩ニ地方財政補給金ノ時ニモ一寸觸レタノデアリマスガ、今回入場稅及ビ特別入場稅ヲ新設サレタ、之ニ付テ重ネテ御伺致シマスガ、是ハ私一個ノ考デアリマスガ、一言ニシテ言ヘバ、斯様ナル稅ヲ設ケルノハ、餘リニ國家ト致シマシテハ、地方ノ財源ヲ奪ツテシマフコトニナ

ルト思フ、斯ウ云フ所ニマデモ國稅ノ財源トシテ漁リ廻ルト云フコトハ、甚ダ面白クナイト思フ、大臣ノ御答辯ナリ、當局ノ御説明ガゴザマシタガ、今回ノ増稅案ハ財源ヲ漁ツテ捲上ゲルト云フノデナク、國家ガ代ツテ徵收シテヤッテ、其金ハ地方ニ還シテヤルト云フヤウナ、御親切ナコトヲ伺ッタノデアリマスガ、此忙シイ時ニ是ハ洵ニ御苦勞千萬デ、態、地方ノ興行稅、觀覽稅ヲ國ガ入場稅、特別入場稅トシテ御取リニナルト云フコトハ、之ニ依ツテ關係業者ノ被ル影響カラ、是相當遠距離マデ及シニ居ルノデアリマスガ、是ハ五十糸アタリ迄ハ、隨分通ツテ居リマスノデ、之ニ課稅ヲ致シマスト、サウ云フ事情ニアル人ノミニ特別ナ負擔ヲ致スヤウナコトニモナリマスノデ、五十糸以下ノ三等乗客ニ對シテハ、課稅ヲ致サヌト云フコトニ致シマシタ

○賀屋國務大臣 觀覽稅ニ付テハ、先程申云フヤウナ、御親切ナコトヲ伺ッタノデアリマスガ、此忙シイ時ニ是ハ洵ニ御苦勞千萬デ、態、地方ノ興行稅、觀覽稅ヲ國ガ入場稅、特別入場稅トシテ御取リニナルト云フコトハ、之ニ依ツテ關係業者ノ被ル影響カラ、是相當遠距離マデ及シニ居ルノデアリマスガ、是ハ五十糸アタリ迄ハ、隨分通ツテ居リマスノデ、之ニ課稅ヲ致シマスト、サウ云フ事情ニアル人ノミニ特別ナ負擔ヲ致スヤウナコトニモナリマスノデ、五十糸以下ノ三等乗客ニ對シテハ、課稅ヲ致サヌト云フコトニ致シマシタ

○川崎(末)委員 次イデ御伺致シマスガ、トニ付テハ、ドウモ納得スルコトガ出來ナシテ漁リ廻ルト云フコトハ、甚ダ面白クナイト思フ、大臣ノ御答辯ナリ、當局ノ御説明ガゴザマシタガ、今回ノ増稅案ハ財源ヲ漁ツテ捲上ゲルト云フノデナク、國家ガ代ツテ徵收シテヤルト云フヤウナ、御親切ナコトヲ伺ッタノデアリマスガ、此忙シイ時ニ是ハ洵ニ御苦勞千萬デ、態、地方ノ興行稅、觀覽稅ヲ國ガ入場稅、特別入場稅トシテ御取リニナルト云フコトハ、之ニ依ツテ關係業者ノ被ル影響カラ、是相當遠距離マデ及シニ居ルノデアリマスガ、是ハ五十糸アタリ迄ハ、隨分通ツテ居リマスノデ、之ニ課稅ヲ致シマスト、サウ云フ事情ニアル人ノミニ特別ナ負擔ヲ致スヤウナコトニモナリマスノデ、五十糸以下ノ三等乗客ニ對シテハ、課稅ヲ致サヌト云フコトニ致シマシタ

○川崎(末)委員 次イデ御伺致シマスガ、トニ付テハ、ドウモ納得スルコトガ出來ナシテ漁リ廻ルト云フコトハ、甚ダ面白クナイト思フ、大臣ノ御答辯ナリ、當局ノ御説明ガゴザマシタガ、今回ノ増稅案ハ財源ヲ漁ツテ捲上ゲルト云フノデナク、國家ガ代ツテ徵收シテヤルト云フヤウナ、御親切ナコトヲ伺ッタノデアリマスガ、此忙シイ時ニ是ハ洵ニ御苦勞千萬デ、態、地方ノ興行稅、觀覽稅ヲ國ガ入場稅、特別入場稅トシテ御取リニナルト云フコトハ、之ニ依ツテ關係業者ノ被ル影響カラ、是相當遠距離マデ及シニ居ルノデアリマスガ、是ハ五十糸アタリ迄ハ、隨分通ツテ居リマスノデ、之ニ課稅ヲ致シマスト、サウ云フ事情ニアル人ノミニ特別ナ負擔ヲ致スヤウナコトニモナリマスノデ、五十糸以下ノ三等乗客ニ對シテハ、課稅ヲ致サヌト云フコトニ致シマシタ

○川崎(末)委員 次イデ御伺致シマスガ、トニ付テハ、ドウモ納得スルコトガ出來ナシテ漁リ廻ルト云フコトハ、甚ダ面白クナイト思フ、大臣ノ御答辯ナリ、當局ノ御説明ガゴザマシタガ、今回ノ増稅案ハ財源ヲ漁ツテ捲上ゲルト云フノデナク、國家ガ代ツテ徵收シテヤルト云フヤウナ、御親切ナコトヲ伺ッタノデアリマスガ、此忙シイ時ニ是ハ洵ニ御苦勞千萬デ、態、地方ノ興行稅、觀覽稅ヲ國ガ入場稅、特別入場稅トシテ御取リニナルト云フコトハ、之ニ依ツテ關係業者ノ被ル影響カラ、是相當遠距離マデ及シニ居ルノデアリマスガ、是ハ五十糸アタリ迄ハ、隨分通ツテ居リマスノデ、之ニ課稅ヲ致シマスト、サウ云フ事情ニアル人ノミニ特別ナ負擔ヲ致スヤウナコトニモナリマスノデ、五十糸以下ノ三等乗客ニ對シテハ、課稅ヲ致サヌト云フコトニ致シマシタ

○川崎(末)委員 次イデ御伺致シマスガ、トニ付テハ、ドウモ納得スルコトガ出來ナシテ漁リ廻ルト云フコトハ、甚ダ面白クナイト思フ、大臣ノ御答辯ナリ、當局ノ御説明ガゴザマシタガ、今回ノ増稅案ハ財源ヲ漁ツテ捲上ゲルト云フノデナク、國家ガ代ツテ徵收シテヤルト云フヤウナ、御親切ナコトヲ伺ッタノデアリマスガ、此忙シイ時ニ是ハ洵ニ御苦勞千萬デ、態、地方ノ興行稅、觀覽稅ヲ國ガ入場稅、特別入場稅トシテ御取リニナルト云フコトハ、之ニ依ツテ關係業者ノ被ル影響カラ、是相當遠距離マデ及シニ居ルノデアリマスガ、是ハ五十糸アタリ迄ハ、隨分通ツテ居リマスノデ、之ニ課稅ヲ致シマスト、サウ云フ事情ニアル人ノミニ特別ナ負擔ヲ致スヤウナコトニモナリマスノデ、五十糸以下ノ三等乗客ニ對シテハ、課稅ヲ致サヌト云フコトニ致シマシタ

ウ云フ御考デ設ケラレタカ、假ニ免稅點ヲトカ、或ハ第二種トカニ分ケテ、其中ニ第一種一號カラ二號、三號、第二種一號、二號、斯ウ云フ風ニ區分サレテ居ルガ、斯様ナ種類別ニ對シテ、或ハ場合ニ依リ、此各項目ニ依ツテ賦課率ニ相當ノ差等ヲ設クルト云フ方ガ、私ハ徵稅上カラ言ツテモ簡便デアツテヤリ宜イシ、同時ニ實際負擔スル方ノ側カララ申シマシテモ、公平ニ行クノデヤナイカト申シマシテモ、公平ニ行クノデヤナイカト私ハ考ヘル、私ハ専門デヤアリマセヌカラ、果シテ然ラバドレ程餘計ト云フコトハ言ヒマセヌガ、素人考カラ申シマシテモ、第一種ノ中カラ申シマシテモ、演劇、活動寫眞、其他ノ何ト言ヒマスカ觀物ト云フカ、相撲トカ野球トカ云フモノニ依ツテモ、自ラ——例ヘバ入場料ヲ取ル場合ニデモ、其擔稅能力ト云フカ、茲ニ差等ガアリ得ルト私ハ考ヘル、殊ニ又一號ト二號ヲ比べマシテ、競馬場ノ如キ、地方競馬ト或ハ公認競馬ニ依ツテ是等ハヤハリ擔稅力モアルシ又或ル意味ニ假ニ公認競馬ダケヲ抽キ出シテ考ヘレバ、相當重課シテモ宜カラウト思フ、先輩ノ前

田委員カラ此點ニ御觸レニナツタヤウデス
ガ、私モ先輩ノ前田サント全ク同ジ意見ヲ
持ッテ居ルノデアリマス、又第一種ノ舞踏場、
麻雀場、撞球場、「ゴルフ」場、是等ハ私ハ
態、第一種ト第二種ト區別スル位ナラバ、單
ナル徵稅技術上トカ、法文ノ立前ノ立法技術
上區別スルノミナラズ、一種ト二種ト區別シ
タ以上ハ、茲ニ私ハ斯ウ云フ第二種ノ如キハ
單ニ免稅點ヲ設ケルヨリモ、是ハ或ル場合ニ
ハ稅率ヲモット高クスレバ宜イト思フ、即チ
種類別ニ依ッテ稅率ヲ變ヘルトカ、或ハ同種
類ノ中ニ於テモ稅率ヲ變ヘル、號別ニ列
舉シタコトニ付キマシテハ多少意見ガアリ
マス、サウナルト餘リ細カクナリマスカラ
申シマセヌガ、先ヅ私ノ考方ノ立前ハ左様
ニ思フノデアリマスガ、之ニ付テノ大臣ノ
御所見ヲ伺ツテ置キマス

○川崎(末)委員 重ネテ私ハ伺ツテ置キマス
ガ、大藏大臣ハ餘リ斯ウ云フ下情ト云フカ、舞
踏場、麻雀場、撞球場、「ゴルフ」場等ノ事情ハ
御承知ナイカ知レマセヌ、恐ラク生レテカラ
「ダンスホール」ニ入ッタコトモナカラウト思フ、
ソレハ儲テ措イテ、兎ニ角斯ウ云フ入场料
ヲ取ル興行場所ニ付キマシテハ、曩ニモ言
フ通リニ、競馬場ノ如キモ、公認競馬場ヲ
抽キ出シテ考ヘレバ、撞球場、舞踏場、麻
雀場、「ゴルフ」場、是等ニ付テモ同ジヤウ
ニ、又活動寫眞ト申シマシテモ、今都會ニ
於テモ地方ニ於テモ二十錢ト云フ活動寫眞
館ハ餘リ多クナイト聞イテ居リマス、サウ
云フモノトカ、野球見物相撲見物ニ行ク者
ハ、相當擴稅力ガアル、殊ニ今回ノヤウニ
臨時的ノ目的ヲ含マレテ居ル以上ハ、或ル
意味ニ於テ私ハ競馬場、舞踏場、麻雀場、
「ゴルフ」場、撞球場ニ於テ茲ニ一般ノ政策ヲ
加味シテ、私ガ或ル意味ニ於テ端的ニ云ヘバ、
禁止的ノ法律ノ課稅ヲシテモ宜イデハナイ
カト思フ、幾ラ禁止セヨト申シマシテモ、
サウ高イコトハ餘リニ機械的ニ失シハシナイ
モ他ノモノト同様ニ一律一體ニ一割ト云フ
カ、免稅點マデモ心配シテ吳レルト云フナ

此點ニ付テ相當考慮ノ餘地ガアリハシナイ
カ、其率ヲ兩者ニ付テ差等ヲ設ケル、寧ロ
ソレヲ妥當トセザルヲ得ナイデハナイカ、
私ハ斯ウ思フノデアリマスガ、私今マデハ
重ネテ大藏大臣ノ御答辯ニ對シテ申シタコ
トハアリマセヌガ、是ハ今一應伺ツテ置キ
タイ

ス、今回ノ臨時税トシテハ、一率ニ致シマ

シタ次第デアリマス

○川崎(末)委員 私ハ入場税デ是以上御尋
致シマセヌ、唯私ノ同僚カラ再ビ詳細ナ質問

ガアルダラウト思ヒマス、重ネテ申シテ置キマスガ、私此政府ノ原案ノ種類ノ區分竝ニ税率及ビ免稅點ニ付テハ、相當吾々ハ實情ニ即シタ意味ニ於テ、考慮ノ餘地アリト考ヘルコトヲ申上ゲテ置キマス

次ニ物品稅ニ付テ伺ツテ置キタイト思フノ
デアリマス、今更オカシイノデアリマスガ、先
輩ノ前田委員ガ大臣ニ對シテ、物品稅ヘドウ
云フ性質ヲ持ツテ居ルカト云フ御質問ヲサレ
マシタガ、ソレニ對シテ大臣ハ、奢侈稅のノ
性質ヲ帶ビテ居ルシ、半面ニ於テハ消費稅的
ノ性質ヲ帶ビテ居ル、斯ウ云フ風ニ仰シヤッ
タヤウニ伺ツテ居リマスガ、念ノ爲ニ、私
ノ理解致シマシタコトガ間違ツテ居ナイカ

○賀屋國務大臣 左様デアリマス
○川崎(末)委員 ソレデハ次ニ伺ヒマスガ、此物品稅ハ今ニ始ツカコトデハナクシテ、北支事件ノ際ニ既ニ創設サレテ、今回ヘ其適用範圍ト言ヒマスカ、課稅品目ガ非常ニ擴大サレタト言フニ過ギナイノデアリマス、私ハ前ノ時ニハ出テ居ナカッタカラ、或ハ

御尋スルコトガ洵ニ御恥シイカト思フガ、
今回此物品稅ノ範圍ヲ擴大シテ、或ル意味
カラ申シマスレバ、一種ノ賣上稅ト申シマ
スカ、ソレト殆ド場合ニ依ツテハ區別ガ付
シテヤル場合ニ於テハ、徵稅技術ノ上カラ
申シマスト、種々煩瑣デアリ、實ニ面倒ナ
コトデアリ、稅務官吏ト納稅義務者トノ間
ノ交渉關係ヲ考ヘテ見マスルト、茲ニ幾多
ノ隱レタ、而モ重大ナル問題ガ潛ンデ居ル
ト思フ、是等ハ別ニ後デ申上ゲルコトニ致
シマス、隨テ私ノ見ル所デハ、曩ノ北支事
件特別稅ト今回ト較ベマシテ、同ジ物品稅
ハ物品稅ト申シマシテモ、其重要サノ意味
ニ於テ、是ガ一般吾々國民ノ社會生活、經
濟生活ノ上ニ持來ス影響ハ餘程變ツテ來テ
居ル、重大ナモノデアルト考ヘル、左様ナ意
味ニ於テ私ハ御尋致シテ居ル、此物品稅ヲ斯
様ニマデ範圍ヲ擴大サレテ御設ケニナリマシ
タガ、大藏大臣ハ主トシテ之ヲ財政上ニ持ツテ
來ル、即チ稅ヲ上ゲル爲ニ、斯ウ云フ風ニ擴
大サレタノデアルカ、或ハ一般國民ニ消費
品消費ヲ課稅ニ依ツテ相當「チエック」シテ、
抑制スルト云フ御趣旨ヲ茲ニ含メテ居ルノ

デアルカドウカ、勿論奢侈稅的ノ性質ヲ帶
ビテ居ルト仰シヤッテ居ルノデアリマスカ
ラ、私ガ今尋ネタコトヘ、同ジコトヲ言葉
ヲ換ヘテ御尋シテ居ルニ過ギナイノデアリ
マス、併ナガラ此點ハツキリ伺ツテ置キタイ、
之ニ依ツテ物ノ消費ヲ節約セシメルコトニ相
當ノ重要サヲ御認ミナツテ、左様ニ範圍ヲ
擴張サレタノカドウカト云フコトヲ伺ツテ

ハ是ハ物資ニ關係ガ無論アルノデアリマス
ガ、所得ノ増加シタ階級ニ對シテ、其増加

分ニ對スル消費節約ヲ求メテ居リマスノデ、此稅ニ依ツテ之ヲ致スト云フコトハ、間接ニ

ハ其效果モ併セテ考ヘラレマスガ、主要ナ
ル目的トハ致シテ居ラナイ次第アリマス
○川崎(末)委員 只今ノ大臣ノ御答辯デ、
私ガ次イデ御尋致サウト思ウタコトモ既ニ
御話ノ中ニ含マツテ居リマスガ、併シ吾々ノ

○賀屋國務大臣　之ヲ創設致シマシタ理由
ハ、稅收入ト云フコトハ勿論デアリマス、
廣ク一般國民ガ負擔スルト云フコトト、比
較的ニ擔稅力ガアリ、比較的ニ餘裕ノアル階
級ニ之ヲ課スルト云フコトヲ主眼ト致シマ
シタコトガ又一ツデアリマス、物品ノ選擇
及ビ小賣物ニ免稅點ヲ置キマシタノハ其趣
旨デアリマス、尙ホ消費ノ節約ニ付キマシ
テハ斯ウ致シマシタコトニ依ッテ、若干消

費ノ節約モ由來ルト思ヒマスカ、是ハ寧ロ
從タル效果デアリマス、只今政府ガ國民ニ
要望致シテ居リマス消費ノ節約ハ、御承知
ノ如ク結局軍需資材ノ供給増加ヲ來スト云
フコトガ主眼デアリマスカラ、斯ル物品、
ソレニ關聯シマス原料等ノ物、其輸入ヲ可
能ナラシムル爲ニ輸入品及ビ輸入品ト同種
類ノモノヲ物のニハ主眼ト致シ、金錢的ニ

ハ是ハ物資ニ關係ガ無論アルノデアリマス
ガ、所得ノ増加シタ階級ニ對シテ、其増加
分ニ對スル消費節約ヲ求メテ居リマスノデ、
此稅ニ依ツテ之ヲ致スト云フコトハ、間接ニ
ハ其效果モ併セテ考ヘラレマスガ、主要ナ
ル目的トハ致シテ居ラナイ次第デアリマス
私ガ次イデ御尋致サウト思ウタコトモ既ニ
○川崎(末)委員 只今ノ大臣ノ御答辯デ、
御話ノ中ニ含マツテ居リマスガ、併シ吾々ノ
理解ヲ容易ナラシメル爲ニ——國民ノ理解
ヲ容易ナラシメル爲ニ伺ツテ置キタイト思
ヒマスガ、今回ノ物品稅ニ付テハ、多數ノ
品目ヲ新ニ御加ヘニナツタノデアリマス、其
新ニ今回御加ヘニナツタ斯ウ云フヤウナ品
目ニ付テ、之ヲ取捨選擇サレル場合ニ於テ、
何等カ茲ニ一定ノ尺度ト言フカ、標準ガアッ
テオヤリニナツタノデアリマスカ、サウスレ
バ其標準ハドウ云フ標準デ、斯ウ云フヤウ
ニ取捨選擇ヲ決定サレタノデアルカ、之ヲ
先ヅ伺ツテ置キタイ

較的ニソレヨリ安イ物デ生活其モノニハ我慢シ得ルガ、餘裕ガアルガ故ニ稍々高價ナ物ヲ買フト云フ點ヲ選ンダ次第デアリマス、大體ノ心持ヘ其點デアリマス、尙ホ併ナガラスウ云フ風ナ選擇ヲ致シマスコトガ、只今ノ産業政策上支障ガナイヤウニト云フ點ハ、關係省トモ打合セ決定致シタヤウナ次

○川崎(末)委員 只今大臣ハ免稅點ノ點ニ
モ御觸レニナリマシタ、私ハ本日其參考資
料トシテ配付ヲ受ケタノデアリマスガ、之
ニ付テハ又詳細ニ検討致シマスカラ、此處
ニ於テ今私ノ意見ハ定メ兼ネマス、唯私ハ
只今ノ自分ノ直感的ノ考ヲ申上ゲマスレ
バ——或ハ又大藏當局ノ御怒リニ觸レルカモ
知レマセヌガ、ドウモ藝ガ細カ過ギテ居
ル、モウ少シ大難把ト云フカ何ト云フカ、
大體ノ所ヲ捉ヘテ何トカ出來ヌモノカト思
ヒマス、ヤハリ免稅點三圓前後デアル、是ハ
ハ地方稅ノ雜種稅位ノ所デ決メルベキモノ
ダト私ハ思フノデアリマス、併ナガラ是ハ
今更出來タノデハナクテ、北支事件ノ時ニ
モウ既ニ大體ハアツタノデアリマス、唯
ソレガ數方殖エテ、細カクナツテ親切ガ
行届キ過ギタ、ソレデ實際ニ之ヲ適用サレ
ル場合ニ於テハ、ドウモ諸君ノヤウナ立派

ナ御方デアレバ吾々ハ此點ニ付テハチツト
モ心配ハ致シマセヌ、又稅務ノ實際ニ當ラ
レル方ヲ敢テ吾々ハ不信用致スノデハアリ
マセヌ、併ナガラ私モ役人ヲシタコトガア
リマス、私ハ植民地ニ於テ——植民地ト言
フト語聲ガアリマスガ、臺灣、朝鮮ニ居ツタ
コトガアリマス、總督府ニ居リマシテ、統
治ト言ツテハエライ威張ツタ言葉ニナリマ
スガ、其地方ノ行政ノ爲ニ一生懸命ヤッタ、
サウシテ真ニ同情ヲ以テ當リマシタ、又吾々
ハ臺灣ナラ本島人、朝鮮ナラ朝鮮ノ人ノ
理解ヲ得テ、悅服サレ、懷カレテ政治ヲヤッ
テ行カウト考ヘテ居ツテモ、僅カ——ソレハ
全部デハアリマセヌガ、一人カ二人ノ警察
官或ハ稅務官吏、斯ウ云フモノガ實際ノ警
察權ノ執行ニ當ツテ、一寸人權ヲ蹂躪スル、
或ハ過度ノ取扱ヲスル、又收稅官吏、稅務
官吏ガチヨットシタコトニ付テモ感情ヤ意
地デ一口ニ言ヘバ苛歛誅求スル、斯様ナ爲
ニ總テノ政治ガ打壊サレル、尤モ日本デハ
サウ云フ心配ハナイデセウガ、斯ウ云フ點
ガ吾々餘程注意シナケレバナラスト思フノ
デアリマスガ、今回斯ウ云フ細カイコト
ヲシ、而モ此取締ニ於テハ製造業者ハ兎モ
角ト致シマシテ、小賣業者ニ迄、即チ小賣
ニ付テ迄モ之ヲヤル、而モソレハ一々品物

ニ依ツテ免稅點ガ違フ、今マデ小賣業者中デ
營業収益稅デモ納メル者ハ多少帳簿ハイヂ
クッタコトハアリマセウケレドモ、今回營業
収益稅、地方ノ營業稅デスラ納メヌ者デモ、
之ニ該當シテ納稅モシナケレバナヌ、隨テ
是ガ爲ニ必要ナル帳簿モ拵ヘナケレバナラ
ヌ、記載モシナケレバナラヌ、私ハ左様ナ
コトヲ思ヒマスルト、是ガ實際ノ運用上ニ
於キマシテハ——曩ノ北支事件特別稅ニ於
キマシテハ品目ガ少ウゴザイマシタ、而モ
是ハ大體吾々ガ一見致シマシテモ、一二例
外ハアリマスケレドモ、略、吾々ガ或ル意
味ニ於テ奢侈稅のモノデアルト云フヤウ
ニモ思ハレルモノデアリマスガ、今度ハ範
圍ガ擴張サレタノデアリマス、吾々ノ頭力
ヲ足ノ先マデモ總テ此稅ガ課カラヌモノハ
ナイ、唯吾々ハ貧乏人デ、サウ云フ高イ物
ハ買ヘナイカラ、幸ニ免稅ノ恩惠ニ浴スル
コトガアルト云フヤウニシテ、吾々ノ日常生活
ノ必要ナルモノ、單ニ吾々ノ言フ贅澤
品、奢侈品ト言モノデナク、吾々カラ申
セバ日常生活必需品、少クトモ吾々ガ或ル
意味デ文化生活ヲスル場合ニ於テノ必需品
ト認ムベキモノガ總テ課稅サレテ居ル、ソ
レヲ商フ者ハ小賣業者デ、此適用ヲ受ケテ
納稅ノ義務ヲ負ハナケレバナラヌ、帳簿モ

ノ成績ヲ擧ゲルガ爲ニ一々之ヲ點檢シ、訊問シ、報告ヲ求メル、斯ウナレバ餘程此運用ニ注意シテ貰ハヌト、是ガ爲ニ稅務官吏ニ對シテ、私ハ徵稅上相當重大ナル關係ヲ惹キ起ス虞ガアルト思フノデアリマスカラ餘計ナコトデアリマスルガ、私ハ此機會ニ於キマシテ、單ニ此物品稅ノミデアリマセヌ、入場稅ニ付テモ同様ナ點ガアリマスガ、特ニ私ハ此物品稅ニ付キマシテハ、此稅法ノ實行ト言ヒマスルカ、徵稅上ノ實際ニ當ル稅務官吏ノ態度、取扱方、是等ニ付キマシテ、十分ニ大藏當局ニ於カレマシテ注意シ、警告ヲ與ヘ、訓練サレテ、今申サレルヤウナ徒ニ苛歛誅求ニ陷ラヌヤウニ、徒ニ徵稅權ヲ濫用シテ小賣業者ヲシテ萎縮セシメルト云フヤウナコトノナイヤウニ、私ハ特ニ御注意ヲ御願致シタイ、御措置願ヒタイト云フコトヲ此際希望トシテ申上ゲマス、尙ホ之ニ付キマシテハ、私ハ關係者ト致シマシテ、相當重大ナル點デアルト思ヒマスルカラ、出來ルナラバ大藏大臣ノ之ニ付テノ御所見ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

聽致シマシタ、是ハ今マデノ稅ヨリ相當ニ
納稅者ノ方ニ於テモ手數ヲ要シマスルコト
デアリマス、又徵稅ノ方ニ於テモ手數ヲ要ス
ルコトデアラウト思ヒマス、其間ニアリマシ
テ、間違ガナイヤウニ且ツ徒ニ苛斂誅求ニ相
成リマセヌヤウニ、此際デアリマスルカラ、
納稅者ノ方ニ於テモ誠意ヲ以テヤツテ貰フコ
トニナルト存ジマスルガ、殊ニ施行ノ當初
ニ於キマシテヘ、善意ニ於ケル多少ノ行違
ヒ等ヲ餘リ彼此レ言フコトガナイヤウニ、
能ク局ニ當リマス者ニモ心得ヲ申ス積リデ
アリマス、サウシマシテ、是ガ圓滿ニ遂行
ハ少シ或ハ餘計ナコトヲ申スコトニナルカ
サレルヤウニ致シタイト思ヒマス、尙ホ是
モ知レマセヌガ、段々稅モ殖エテ參リマス
ト、何ト申シマスカ、小サイ稅ダケデウン
ト取ツテ置クト云フコトニナッテ參リマスト
段々複雜ナモノが出テ來ル傾向ガアルト思
ヒマス、ソコラノ將來ノ趨勢ヲモ注意致シ
キマシテモサウ云フコトニ習熟シテ圓滿ニ
行キマスルヤウニ努メサセタイト考ヘテ居
リマス、サウ申上ゲマシタカラト言ツテ、私
ハ所謂原料カラ製品トシテ消費者ニ渡リマ
スマデ、何回廻リマシテモ其度毎ニ取ル

賣上稅ヲ將來肚ノ中ニ考ヘテ申上ゲル積リ
デハ決シテアリマセヌ、其點デハアリマセ
ヌ、大體ニ於テ徵稅官ニモ順次複雜ナ稅制
ニモ堪ヘマスヤウニ、而モ其初ニ當リマシ
テ、善意ナル納稅者ニ對シテ多少ノコトデ
苛斂誅求ニナルヤウナコドノナイヤウニ、
其點ハ留意致シテ行キタイト考ヘマス
○川崎(末木)委員 只今ノ大藏大臣ノ御説明
ニ依ツテ能ク諒解致シマシタ、希クバ私ハ只
今ノ大臣ノサウ云フ御心持テ本當ニ稅務ノ
執行ニ當ル人々ガ皆御勵キニナルコトヲ私
ハ御願致スノミデアリマス、尙ホ其際御話
ガゴザイマシタガ、此物品稅ハ斯ウ範圍ガ
擴大致シ行キマスト、所謂世間テ申シマス
ル賣上稅ト或ル意味ニ於テ大シテ相違ガナ
イヤウニ思ハレル、勿論此課稅ノ實體其他
ニ付テモ違ヒマスケレドモ、吾々素人カラ見
レバ殆ド變ラナイ、今度ハモウ少シ徹底シ
テ一層ノコトドレデモ是デモ一切ヤッタラ
ドウナル、徹底シテ行ケバ賣上稅ニナル、
賣上稅ハ吾々カラ見テ之ヲ是認スルコトハ出
來ナイ、此點ニ付テモ、略、私ハ大臣ノ御話
ニナリマシタ左様ナ意味ニ於テ、賣上稅ハ
ニ付キマシテ、大臣ノ御考ヲ伺ツテ居ラレマ
馬場案ノ時ニモ餘り歡迎シナカッタ一人デ
アリマス、前田委員カラ賣上稅竝ニ財產稅

シテ、大臣モ所見ヲ御述ニナリマシタ、私達ハ先輩ノ前田君ノ財産税或ハ賣上稅ニ付テ御質問ノ趣旨ニ付テ敬意ヲ表シ、能ク諒解致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此點ハ黨議トシテハマダ纏ツタモノデハアリマセヌガ、財產稅竝ニ賣上稅ニ付キマシテハ、私一個ノ考カラ申シマスレバ、日本ノ現在ニ於テノ租稅原則カラ申シマシテモ、又日本ノ現在ノ財政上ノ有様カラ申シマシテモ是等兩稅ヲ輕々ニ今直チニ日本デ創設スルト云フコトニハ慎重考慮ヲ要スベキデアツテ、此點ニ付テハ私ト大臣ト全ク同感デアリマス、大臣ニ於カレマシテハ其御方針デアリマス、今回即チ第三種ト致シマシテ燐寸マシテ、今後ニ處セラレンコトヲ此際私ヨリ特ニ御願シテ置キマス、尙ホ序ナガラ燐寸ニ付キマシテ、ト云フモノガ此處ニ又復登場シテ及ビ酒類ト云フモノガ此處ニ又復登場シテ参ッタノデアリマス、之ニ付テ私ハ餘計ナコトハ申シマセヌガ、燐寸ノ特別稅ヲ御考ニナリマス場合ニ於テ、燐寸ヲ專賣ニスルノモーツノ考ヘ方デアラウト思ヒマスガ、此點ニ付テ御考ニ相成ッタノデアリマスカドウカ、若シ御考ニナレバ、此燐寸ノ專賣制度ト云フコトト、今回ノヤウナ物品稅ニ依ルト云フモノニ依ヅテ財政上ノ收入ヲ舉ゲ度ト云フモノニ依ヅテ財政上ノ專賣制度ト云フコトト、今回ノヤウナ物品稅ニ依ルト云フコトニ付テノ兩テ財政收入ヲ舉ゲルト云フコトニ付テノ兩

○賀屋國務大臣 專賣ニ致シマスルト、實際ノ徵稅デハ——形式ハ徵稅デアリマセヌガ、實質ノ徵稅ニ當テ脫漏ヲ防イデ遺憾ナキヲ期スルコトガ出來マス、殊ニ燐寸ノ如キモノハ、品質ノ良シ惡シガ比較的少イモノデアリマスルカラ、其必要ハ割合ニ感ジナイカト思ヒマスルガ、品質其他擔稅力ニ依ツテ等差ヲ設ケルト云フコトハ易イノデアリマス、燐寸ノ專賣ト云フコトハ考ヘラレナイコトデハナイノデアリマスルガ、此度事變ニ際シマシテ、比較的ニ急遽致シマス際ニハ、其專賣ト云フコトニ付キマシテハ相當ニ各般ノコトヲ考慮致サナケレバナリマセヌ、只今ノ所ト致シマシテハ專賣ト云フコトハ考ヘマセヌデ、此稅デ致シマス次第デアリマス

ノコトヲ總テ組ミ上ゲラレテ居ルヤウニ私
ハ伺ツタノデアリマスルガ、果シテ左様デゴ
ザイマセウカ

○賀屋國務大臣

左様デゴザイマス

○川崎(末)委員

御目論見ト申シマスル

カ、其御考ニ付テハ私モ之ヲ了解致シマ
ス、併ナガラ實際ノ物ノ動キ、實際ノ商賣
ノ取引カラ申シマスレバ、此大藏當局ノ御
期待ト言ヒマスルカ、其御見込通リニ總テ
ガ今回ノ想定サレマスル物品稅ニ付テ、キチ
ンキチント轉嫁スルモノデアルカドウカト
云フコトニ付テハ、今更私ノヤウナ素人ガ
玄人ノ方々ニ對シテ申上ゲル迄モナク、是
ハ實際ニ於テハ左様ニ參ラヌ、轉嫁スルモ
ノモアリマセウ、併ナガラ轉嫁シ得ナイモ
ノモアル、是ハ私ハ今カラ斷言シテ憚ラナ
イ、ソレヲ一律ニ是ハ轉嫁スベキモノデア
ル、轉嫁スルト云フ想定ノ下ニ總テ之ヲ組
立テ稅率其他ヲ決メタ、又取扱モ總テ之ヲ
サウシタト云フコトデアレバ、此點ハ私ハ
是以上申上ゲマセヌガ、大藏當局ガ是ハ轉
嫁スルモノデアル、又轉嫁スベキモノデア
ルト云フ御考デアルナラバ、實際ニ於テハ
サウ云フ轉嫁スル物モアリマセウガ、轉嫁
シナイトモアル、ソレガ實際ノ取引ノ實情
デアラウト私ハ思フガ、其點モ、考慮サレ

テ、即チ是等ノ點ガ實際ノ稅務ノ執行、徵
稅ニ當ラレマシテ、稅務官吏ト當業者ノ間
ニ總テノ折衝、應衝、課稅ノ大體ノ査定ト
言ヒマスカ、決定サレル場合ニハソレ等ニ
對シテモ同情ヲ以テ能ク考ヘテ戴カナケレ
バナラヌト云フコトヲ申上ゲタイ爲ニ餘計
ナコトヲ申上ゲタノデアリマスガ、是ハ何
カ特ニ御考ガゴザイマスレバ、御示シヲ願
ヒマス、唯私ハ特ニ斯ウ云フ點モアルカラ
徵稅上ニ付テハ餘程注意ヲ願ヒタイト云フ
コトヲ申上ゲテ御願ヲ致スノデアリマス
尙ホ此物品稅ニ付キマシテハ、私ハ二三
所謂各論トシテ御伺致シタイコトモアリマ
スルガ、ソレハ後刻ニ讓リマシテ、是ハ餘
リニ細カイコトデアリマスルカラ、場合ニ
依レバ政府委員ノ方々ニ御伺致シテ十分デ
アリマスカラ、貴重ナル時間ヲ大臣ヲ此處
ニサウ云フコトデ御止メスルコトハ恐縮ト
云フ點ニ付テ多少考慮ノ結果デアルカドウ
ガ、之ヲ据置ニサレタコトニ付テハ、サウ
カト云フコトヲ念ラ押シテ置キタイノデア
リマス

○賀屋國務大臣 前ノ物品稅ノ轉嫁ニ付キ
マシテハ趣意ハ轉嫁ノ積リデ作リマシタガ、
經濟上ノ實際ニ於テ必シモ轉嫁ガ出來ナイ、
全體ガ出來ナイト云フコトハ少イノデアリマ
スガ、或ル部分ガ或ハ轉嫁以上ニ相成リ、又
製造業者、販賣業者ガ負擔ラスルヤウナコト
ガ絶對ニ起ラナイトハ是ハ申上ゲラレナイ、
ノデアリマスガ、併ナガラ其場合ニハ物品稅
一應了解シナイデハアリマセヌケレドモ、
私ノ考ヘル所ニ依リマスレバ、例ヘバ利益
配當稅ノ如キハ、是ノ利益配當ガ一割以上
ノヤウナ場合、或ハ場合ニ依レバ現在ノ經
濟ノ實際カラ言ヘバ、サウ多クアリマセヌ
ト思ヒマスガ、一割以上ニナレバ、少クト
モ是ニ付テハヤハリ或ハ此增率ノ餘地ハ
ナイカ知ラント私ハ思フノデアリマスガ、
併ナガラ一割以上ト言ヒマシテモ、其利益
配當ノ實際ハ、餘リ受益者ガ少ナケレバ、
ナイトモアルト思ヒマス、今回ハ今ノ期間ノ終リノ點ト、ソレカラ稅率
ノ二點ガ其意味ニ於テハ餘稅改善ヲサレ
タト思フノデアリマスガ、御趣旨ノ點ハ
能ク承ッテ置クコトニ致シタイト思ヒマス
尙ホ配當ノ特別稅ニ付キマシテハ、是ハ
左様ナ高率配當ガアリマス場合ニハ、會社
其モノノ利益モ非常ニ多イノデ、今回ハ御
承知ノ如ク臨時利得稅ノ乙種モ出來マシタ
ヤウナ次第デアリマスカラ、其上ニ配當ノ
特別稅ヲ課シマスト云フコトハ、之ヲ負擔
ラスル者ノ側カラ言ヒマスト、二重、三重
ニ相成ルヤウナ結果ニモナリマスノデ、一
般ノ所得稅モ上リマスシ、臨時所得稅モ新
ニ標準ヲ設ケテ相當高イ率ガ課ケラレル際
デモアリマスカラ、配當ノ特別稅ノ方ハ北
支事件稅程度ニ止メマシタ次第デアリマス
○川崎(末)委員 私ハ此機會ニ於テ此部分
的改正ニ付キマシテ、一、二ノ事ヲ極メテ

改正ノ中ニ於テ私ノ重點ヲ置クベキ點ト思フノハ、臨時租稅增徵法中改正法律案ニ於テ、第三所得ノ累進率ヲ改正シタ、相續稅ノ累進率ヲ同ジヤウニ改正シタ、此點ニ付テハ私ハ大體ニ於テ此新シイ累進率ノ階級區分ハ之ヲ妥當ト考ヘテ居ルノデアリマス、唯曩ノ稅法ニ於キマシテハ、撓力百万圓ヲ超ユル金額、ソレ以上ニ或ハ二百万圓或ハ四百万圓ト云フヤウニシテ、上ノ方ニモウ少シ區分ガアツテ、而モソレハ基本法タル臨時租稅增徵法トノ其增徵額ヲ合セレバ、此累進率モ此百分ノ五十ト申シマス是ヨリモモット上ノモノニナッテ居ルト云フヤウニ思フノデアリマスガ、ソレガ今回ハ百万圓ヲ超ユル金額ニ止メル、而モ此累進率ハ百分ノ五十二定メラレタノデ、上ノ方ガ此限度ニ於テハ相當輕クナッテ居ルト云フコトニ付テ、是ハ特別ノ御考ノ結果デアリマスカドウカラ伺ッテ置キタイト思ヒマス

デモ併セテ考ヘテ見ルト、尙ホ其感ヲ深ク致シマス、各國ノ例ヲ見マシテモ、大體最高百分ノ五十程度ニ止メルノガ適當デハナカ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○川崎(末)委員 尚ホ此所得稅ノ階級區分ニ付キマシテハ岡田委員カラノ御質問モ拜

所得ノ多イ者ガ、却テ前ヨリモノ累進率ガ低
減サレ、サウシテ低イ方ノモノニ過重サ
レテ居ルト云フヤウナ、誤解ヲ招ク虞ガア
リマスノデ、此點ニ付テ國民ニ斯ウ云フ税
法ノ改正ヲ周知徹底セシムル場合ニ於テ、
遺憾ナキヤウニ御配慮ヲ願ヒタイコトヲ申
上ゲマス、是ハ別段ニ御答辯ハ要リマセ
ヌ、唯先程大藏大臣カラ既ニ御話ガゴザ
イマシタカラ、私ハ強ヒテ之ヲ追究スル意
味デハアリマセヌケレドモ、大體此臨時相
稅増徵法案ハ、最初カラ杜撰デアッタ、少シ
荒過ギタ、單ニ累進率ノ適用ノ場合ニ於テ
ノミナラズ、其他ニ於テモドウモ少し推敲
ノ足リナイ點ガアッタヤウニ思フ、此點ハ大
臣モ先程御話ニナツタヤウニ思ヒマスカラ、
強ヒテ私ハ追究スル譯デモアリマセヌガ、
今後ノ税制改革ノ際ニ於キマシテハ、斯様
ナ點ヲ吾々ハ心配スルガ爲ニ、此根本的ノ
税制改革ヲ必要トスル、又部分的ニ於テモ、
應急的税制整理ヲ考ヘテ貰ヒタイト言ハザ
ルヲ得ナイノデアリマスカラ、重ネテ此點
ノ御注意ヲ煩シタイト思ヒマス、次ガ所得
稅法ニ付テ一言ダケ御伺致シテ置キタイト
思フノデアリマスガ、今回所謂退職給與金
ニ課稅スルコトニ相成リマシタ、是ハ私モ

併ナガラ此限度ヲ支拂ヲ受ケル金額カラ五
千圓ヲ控除スルト云フコトニ定メラレタコトニ
付テ、相當根據ガアルノデアリマセウカ、
如何ナル所カラ之ヲ御割出シニナッタノデ
アリマセウカ、餘リ専門的ニナルカモ知レ
マセヌガ、此點ハ此法ノ適用ラ受ケル者カ
ラ言ヘバ、相當重大ナル關係ヲ持來スト思
ヒマスクカラ伺ツテ置キタイト思ヒマス

○大矢政府委員 五千圓ト定メマシタコト
ニ付キマシテハ、正確ナ根據ト申上ゲル程
ノ材料モ實ハ無イノデゴザイマスガ、大體
其超過部分ニ對シテ課稅スルト云フ風ニス
ルノガ、此退職ノ際ニ支給ヲ受ケル者ニ付
テ見マシテモ、毎年々々賞與トシテ支給ヲ
受ケテ居ル者トノ權衡上、大體此邊ガ安當
デハナカラウカト存ジタ次第アリマス、
尙ホ生命保險金ノ方ニ於テモ、相續財產ニ
合算スル場合ニ、五千圓以上ト致シテ居リ
マスガ、是ハ其權衡モ多少考ヘテ居ル次第
デアリマス

○前田委員 關聯シテ一寸……、今保險ノ
コトヲ御話ニナリマシタカラ一寸伺ヒタイ
ト思ヒマスガ、保險金カラ五千圓ヲ除クト

言ツテモ、御承知ノ如ク保険會社ニ依ルト、年々利益配當金ヲ保険料カラ差引イテ拂込マシテ居ル會社ト、ソレヲセズシテ、一定期間ノ配當金ヲ溜メテ置イテ、ソレヲ保険割増金トシテ證書ヲ交付シテ居ル、サウシテ死亡シタ時ニハ、ヤハリソレヲ保険金額トシテ受取ル、斯ウ云フニツノ會社ガアリマス、多分御承知デアラウト思フガ、サウ致シマスルト、一方年々利益配當金ヲ保険料カラ差引カズシテ、割増保険金トシテ交付セラレル會社ヘ、其割増保険金モヤハリ五千圓ノ中ニ加算サレル積リデアリマスカ、其點ヲ一寸明ニシテ戴キタイト思ヒマス

ニナルノデスガ、其點モウ一度能ク御研究
ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ一部ノ會社、
例ヘバ千代田保險會社ナドハ、年々保險料
ヲ差引イテ居ル、然ルニ日本生命ノ如キハ、
ソンナコトヲ全然セズ、割増保險金ヲ交付
シテ居ル、斯ウ云フコトニナシテ居リマシ
テ、若シ今ノヤウナ御答辯デアルト、會社
ニ依ツテ非常ニ不公平ガ起ツテ來ルノデハナ
イカト思ヒマスガ、是ハ一ツモウ一應御研

私ハ見逃スコトノ出來ナイ大藏省ノ方針を
一ツノ現レデアルト思フ、偶、是ハ特別税津
デ出テ居リマスノデ、此考ハ恐ラク如何ナ
ル場合ニ於テモ、今ノ所は以上ハ上ノ方ニ
課セナイト云フヤウニ、或ル意味ニ於テ
解セナイコトハナイ、理解スルコトハ出來
ナイ譯デモナイノデアリマス、ドウ云フ趣
旨デ斯ウ云フヤウニサレタノデゴザイマズ
カ、此際私ハ輕ク解釋シテ自分で早合點シ
テ居ツテモ、却テ間違ヒノ因ニナリマスカラ
一ツ大藏大臣カラ十分明瞭ナル御答ヲ戴キ

社全部デハアリマセヌガ、加算税率ノアリ
マスルモノハ百分ノ八十、個人、法人ニ於
キマシテハ大體百分ノ七十、詰リ七割以上
ヲ稅デ持ツテ行カレルコトガナイ程度ニ致シ
タ方ガ宜シクハナイカ、個人ノ所得稅ニ付
テ本稅ヲ百分ノ五十五ニ致シマスト、ソレ
ニ地方ノ附加稅ガ課カルノヲ計算致シマス
ト、普通ノ場合デ、ソレヲ合セマシテ大體
百分ノ七十二ハ止マリ得ルコトト思ヒマス、
其點ヲ考慮致シマシテ、左様ナ規定ヲ置キ
マシタ次第アリマス

○川崎(末)委員 私ハ個人ノ第三種所得稅
ノコトニ付テ御尋致シタノデアリマスガ、
併セテ同族會社ニ付テモ大體比率ヲ御考ニ

○松隈政府委員 只今ノ御尋デゴザイマス
ガ、途中デ以テ配當金トシテ割戻シヲシナ
約束ノ下ニ、事故發生ノ際ニソレダケノ
保険金ヲ受取ラレルト云フコトニ契約ガ出
來上ツテ居リマスレバ、其契約ニ依リマシテ、
事故發生ノ際ニ受取リマスル總保險金額ニ
付テ見ル考デアリマス

スノハ、此今回ノ支那事變特別稅ノ第三所得ノ方ニ於キマシテハ、如何ナル場合ニ於キマシテモ、先づ第三所得ハ二割五分ノ増微、併シ如何ナル場合ニ於テモ、最高額ハ百分ノ五十五ヲ以テ打切ルト云フコトデアリマス、此最高額ヲ百分ノ五十五デ以テ打切ルト云フコトハ、今回ノ稅法ニ於テ一ツノ新シイ現レデアルト私ハ思フ、是ハ臨時特別稅デアリマスルケレドモ、兎ニ角所得稅ニ付キマシテハ、少クトモ第三種ノ個人所得ニ付キマシテハ、全所得ノ百分ノ五十五以上ハ課稅シナイト云フコトハ、是ハ

ヲ稅デ持去ルト云フヤウナコトが起リマヌノハ、ヤハリ是ハ富ノ増殖其他カラ相當考
フベキ點デアルト思ヒマス、恆久的稅制ニ
付キマシテモ、其點ハ一ツノ問題デアルト
思ヒマス、只今相當ニ生産力ノ擴充其他ノ
點モモニ置カナケレバナリマセヌ、ソレニ
ハ利益ヲ追及スルト云フ觀念ヲ全然度外視
致シマシテ、利益ガアリマシテモ、ソレハ
名目上ノミデ、全部稅ニ持ツテ行クト云フヤ
ウナコトハ、ヤハリ只今デハナイ方ガ私ハ
宜イト思ヒマス、其點カラ考ヘマシテ、大
體同族會社ニ於キマシテハ——是ハ同族會

○賀屋國務大臣 普通ノ法人ニ於キマシテ
モ、ヤハリ百分ノ七十デアリマス、加算稅
率ノ課カリマスル同族會社ハ最高百分ノ八
十デアリマス

○川崎(末)委員 只今相續稅ニ付テ、保險
金ノ課稅ノコトニ付テ、先輩前田君ヨリ御
尋ガアリマシタガ、私モ此點ニ付テ一言ダ
ケ觸レテ置キタイト思ヒマス、保險金ノ相
續ノ場合ニハ、保險金ニ課稅スルト云フコ

致シマシテ、利益ガアリマシテモ、ソレハ
名目上ノミデ、全部税ニ持ッテ行クト云フヤ
ウナコトハ、ヤハリ只今デハナイ方ガ私ハ
宜イト思ヒマス、其點カラ考ヘマシテ、大
體同族會社ニ於キマシテハ——是ハ同族會

○川崎(末)委員 只今相續税ニ付テ、保険
金ノ課税ノコトニ付テ、先輩前田君ヨリ御
尋ガアリマシタガ、私モ此點ニ付テ一言ダ
ケ觸レテ置キタイト思ヒマス、保険金ノ相
續ノ場合ニハ、保険金ニ課税スルト云フコ

第六類第六號 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄

第九回 昭和十三年一月二十八日

トニ付テ、私モ之ニ反對スルノデハアリマセヌ、唯伺ツテ置キタインハ、保険金ガ五千圓以下ノ場合ニ於テハ、之ヲ相續財產ト看做サヌ、即チ是ハ課稅シナイ、五千圓以上ノ場合ニ於テ相續財產ト看做ス、即チ課稅スル、其場合ニ於テハ五千一圓ナラバ、五千一圓トシテ、當然相續ノ財產ト看做シテ之ヲ加算サレテ、ソレニ累進率ヲ課シテ課稅ヲ受ケル、五千圓ニ満タナケレバ、例ヘバ四千九百九十九圓マデハ、是ハ相續財產ト看做サレナ、隨テ是ハ課稅サレナイ、五千圓ヲ免稅點ト言ヒマスガ、免稅點ト多少意味ガ違ヒマスガ、茲ニ分り易ク意味デセウカ、而シテ之ヲ五千圓トシテモ、五千圓ノ一圓ノ上下デ、今申スヤウニ課稅ヲ受ケル方カラ言ヘバ、非常ニ負擔ガ違ツテ來ル、一圓缺ケテ居レバ全部稅ヲ免レル、況ヤ相續稅ニ於テハ累進率モ之ニ依ツテ適用ヲ免レルカラ、非常ニ利益デアル、五千圓ニナレバ直チニ課稅サレル、而モ他ノ財產ト合算サレルト私ハ思フ、合算サレバ、ソレニ依ツテ累進課稅デ——此點ハ私ハ餘程考ヘナケレバナラスト思フノデアリマスガ、如何御考デゴザイマセウカ、私ノ考ヘ

ル所ニ依レバ、相續稅ニ保険金ヲヤハリ相續財產トシテ課稅スルト云フコトハ、姑ク措クトシテモ、少クトモ今ノヤウナ不公平ヲ除ク爲ニハ、五千圓ヲ超ユル額ニ付テ、其額ダケヲ相續財產トシテ課稅スル、斯ウ云フ風ニシテヤルコトガ、私ハ公平ノ處置ニアラウト思フノデアリマスガ、其點ニ付テノ政府ノ御考ヲ伺ツテ置キタイ

○大矢政府委員 生命保険金ヲ相續財產ニ加算シテ計算スルト云フノハ、殆ド世界ノ各國ガ現在行ツテ居ルノデアリマス、此度我國ニ於テ初メテ之ヲ相續財產ノ方ニ加算シヨウト云フノハ、各國ニ比ベテ幾ラカ遅レガ比較的遅レテ參ッタ我國トシテハ、其實情ニ即シタコトニアラウト思フノデアリマス、御手許ニモ多分資料トシテ配付シテアルト思ヒマスガ、五千圓以上ノ保険金ノ受領者ノ數ハ、全體ニ對スル歩合ガ僅少ナノデアリマス、サウシテ相續財產ト看做ス場合ニ於テ、何故五千圓以上ハ總テニ課稅スルカト申シマスト、從來ノ相續稅ノ賦課ノ場合ニ圓ダケ引イタ残リニ課稅スル、而モ是ハ別率ヲ設ケテ課稅スル、相續稅ノ方ハ別率デナク、強イ累進率ノ上ニ載ツケテ課稅スル、

○大矢政府委員 左様デゴザイマス

○勝委員 サウスルト所得稅ノ方ハ、退職手當ガ五千圓以上アツタ場合ニ於テハ、五千圓マデハ課稅シナイ、五千圓ニナレバコロット全額ヲ課稅スルト云フヤリ方ニナルノデアリマスカ

○大矢政府委員 左様デゴザイマス

○勝委員 サウスルト所得稅ノ方ハ、退職手當ガ五千圓以上アツタ場合ニ於テハ、五千圓ダケ引イタ残リニ課稅スル、而モ是ハ別率ヲ設ケテ課稅スル、相續稅ノ方ハ別率デナク、強イ累進率ノ上ニ載ツケテ課稅スル、

○勝委員 サウ致シマスト、相續稅ノ場合ニ於キマシテハ、自ラ行キ方ニ差異ガアルノハ寧ロ當然デハナカラウカト存ズル次第デアリマス

○勝委員 サウ致シマスト、相續稅ノ場合ニ於キマシテハ、被相續人ガ相續人ニ少額ノ贈與ヲシタ場合ニハ、一定金額以内デアレバ、遺產相續ト看做サズシテ課稅シナイノデスネ、所ガ此保険ノ關係ト云フモノハ、年々ノ保険ノ掛金ト云フモノハ、被相續人ガ相續人ニ與ヘタ一種ノ贈與デアルトモ經

濟的ニハ見ラレルノデアリマス、其金額ガ千圓以下トカ、五百圓以下デアレバ課稅サレナイ筈デアル、然ルニソレガ十年トカ、十五年トカ累積シテ、今度ハ保険金ト云フモノデ五千圓トカ一万圓ト云フコトニナレバ、今度ハ課稅セラレルノデアリマス、其贈與ノ場合ニハ課稅シナイ、少額贈與ノ場合ニハ遺產相續ト看做サズシテ課稅シナイト云フ關係カラ見テモ、偶々五千圓以上ニナッタカラトテ、其全部ヲ捉ヘテ課稅スルト云フコトハ、相續稅法ノ第二十三條ノ關係ヲ眺メテ見テ、非常ニ不公平ノヤウニ思フノデアリマスガ、ソレハドウ御説明ニナリマスカ

○大矢政府委員 今勝サンノ御尋ノ御趣旨ハ、一應御尤デアリマスルガ、相續稅法第二十三條デ、贈與ノ少額ノモノニ課稅シナイト云フノハ、恐ラク毎年々々繰返シテ少額ヅ、ヤルモノマデモ、課稅ノ範圍外ニ置カウト云フ趣旨デハナク、普通少額ノ贈與ヲ爲シタ場合ニ、課稅ヲシナイト云フノガ趣旨ダラウト思ヒマス、隨テ今御話ノヤウニ、ノト、唯一回少額ヤツタ場合トヲ、同一ノヤウニ見テ御考ニナルノモドウカト思ヘレマスカ

○川崎(末)委員 只今私ガ保険金ノコトニ付テ御尋致シマシタ、先輩ノ勝サンカラ、退職手當ナリ功勞金ノコトニ付テ御質問ガゴザイマシタ、是ハ大體私ガ御尋致シマシタ保險金ト同ジ性質ヲ持ツテ居ルト私ハ思フ、繰返スコトハ止メマスガ、只今ノ主税局長ノ御答辯ハ、私ハドウシテモ納得スルコトガ出來ナイ、是ハ今直チニ必要ハアリマセヌガ、大臣モ私ナリ勝サンナリト大臣政府委員トノ質疑應答ノコトニ付テ、モ一度御調べ願ツテ、相當茲ニ考慮ノ餘地ガナイカドウカ、一ツ御考置キ願ヒタイト思ヒマス、別ニ急ギマセヌカラ、ソレダケ申上ゲテ置キマヌ、次ニ同様ノコトデ、保険契約者ガ被相續人以外ノ者ナル場合ニ於キマシテ、相續人ガ五千圓以上ノ保険金ヲ受取ル場合ニ於キマシテハ、ヤハリ之ヲ相續偶々數十回ノ掛金ノ中、一、二回拂込ンデ居ル場合マデモ追及シテ、此規定ヲ適用シヨウト云フ趣旨デハアリマセヌ、大部分ガ被相續人ノ計算ニ於テ拂込マレタ場合ニ適用シヨウ、斯ウ云フ趣旨ヲ以チマシテ、「適用スルコトヲ得」下書イテアル次第アリマス

○川崎(末)委員 サウ致シマスト、是ハ所即チ第二十三條ノ三ノ第一項ニ「保險契約者以外ノ者カ現實ニ保險料ノ支拂ヲ爲スモノナルトキハ其ノ者ヲ保險契約者ト看做シ第一項ノ規定ヲ適用スルコトヲ得」ト云フコト謂實情ニ依ツテ、或ル場合ニ於テハ之ヲ課稅スルシ、事情ニ依ツテハ是ハ課稅シナイ、サウ云フ譯デアリマスカ

○六矢政府委員 大體左様デアリマス

○川崎(末)委員 左様ナレバ、是ハ實際ノ実施ニ當リマシテ、サウ云フヤウナ手加減、裁量ノ餘地ガアルコトニナルト、前ニ申シ

タヤウニ、稅務官吏ノ職務執行ト云フコトハ、即チ五千圓以上デアル場合ニ於テハ、

之ヲ相續財產ト看做シテ之ヲ査定スルカド

裁量ノ餘地ガアルコトニ付テ、餘地ガアルコトニ付テ、斯ウ云フ裁量ノ餘地ガ残サヌノガ宜イノデハナイカ、斯ウ云フ風ニ看做スナラ看做ストシナケレバナラヌ、而モ斯ウ云フ場合ニ保險料ノ拂込ニ付テ、誰ガ拂込ンダカト云フコトニ依ツテ區別スルナラバ、ソレハ寧ロ勅令デソシナコトハ決メレス

バ宜シイ、又法文デ決メルナラバ法文デ書イテ、此中ノドウ云フ部分ハ課稅スル、ソレニ該當シナイモノハ課稅シナイト云フコト思フ、コンナコトニ別ニ拘泥スル譯デアリマセヌガ、是ハ意見トシテ聽イテ置イテ戴キタイ、尙ホ不動產登錄稅ニ付テハ、非常ニ吾々農村ノ者カラ見レバ、恩ニ著セラレテ有難ウゴザイマスガ、併シ蓋ヲ開ケテ見レバ僅ニ一割程度デアッテ、現行千分ノ三十三ガ三十二ナツタト云フコトニ付キマシテハ、折角恩ニ著セラレテ喜バサレテ居タガ、減稅ノ寡少ナルコトニ付テ期待ニ反シタノデアリマス、今更斯ウ云フコトヲ申シテモ詮ナイコトデアリマスガ、唯吾々ハ將來ニ於テヘヤハリ不動產ノ登錄稅ハ、モットモ減額スベキモノデアルト云フコトヲ強ク主張シテ置クノデアリマス

○前田委員 相續稅ニ關聯シテ——相續稅ノ附則ニ「永代借地權ハ當分ノ内相續稅ノ課稅價格ニ算入セズ」ト云フノガアリマスガ、現行法デハ「當分ノ内」ト云フ字句ガナカッタノヲ、此條文ヲ附則ニ廻シテ「當分ノ内」ヲルモノデアル、現ニ東京市内ニ於キマシテ加ヘラレタノヘ、ドウ云フ意味デアリマスカ、少クトモ永代借地權ハ相當ナ價値ノア

ハ、永代借地権ノミナラズ、普通ノ借地権ト雖モ、所有權ヨリ權利ノ高イ所ガ隨分ア
ル、是ハ當局モ能ク御承知ノコトダト思ヒ
マス、相續稅ヲ改正サレル際ニヘ、サウ云
フコトモ此際解決ヲ付ケラレテ、寧ロ「當分
内」ト云フヤウナ字句ヲ挿入セズシテ、永
代借地権ハ相續稅ノ課稅價格ニ算入スルト
ナサル方ガ妥當デハナイカト考ヘルノデス
ガ、一ツ御所見ヲ伺ヅテ置キマス

○松隈政府委員　只今ノ前田サンノ御質問
ニ對シテ御答申上ゲマス、永代借地権ニ付
キマシテハ、相續稅ヲ課稅スルコトハ如何
カト存ジマシテ、此案ノヤウニ致シマシタ、
相續稅法施行當初ニ於テ、永代借地ニ對シ
マスル課稅ノ問題ハ――家屋稅ノ賦課ノ問
題ガ「ヘーダ」ノ仲裁裁判所デ起リ、喧シイ
問題ガアリマシタノデ、相續稅施行ノ時ニ、
此喧シイ問題ヲ特ニ避ケル意味ニ於キマシ
テ、相續稅法ノ第三條ノ第三項ニ「永代借地
権ハ相續稅ノ課稅價格ニ算入セズ」ト云フ明
文ヲ入レテ其非課稅デアルコトヲ明ニシテ、
代借地権ハ御承知ノ通リ治外法權時代ノ遺
物デゴザイマシテ、出來ルダケ早ク是ガ無
代借地権ノ委員會ヲ設ケマシテ、永代借地

五箇年ヲ以テ、何等ノ代償ヲ日本政府カラニ付キマシテ、昭和十二年ノ四月一日以降支拂フコトナク、永代借地權ヲ所有權ニ書換ヘルト云フ取極メガ、英、米其他諸外國トノ間ニ成立致シタヤウナ次第デアリマス、隨テ出来ルダケ早ク相續稅法ノ第三條ノ三項ヲ削除シタイト思ヒマスケレドモ、只今モ申上ゲマシタ通り、昭和十二年ノ四月一日カラ、尙ホ五箇年間ハ存續シテ居リマスノデ、之ヲ直チニ削除致シテシマフト云フト、反對解釋トシテ永代借地權ニ付テ相續ガ起ツタ場合ニハ課稅出來ルノカ、斯ウ云フ問題ガ起リマスノデ、アト四年バカリノ問題デアリマスカラ、之ヲ附則ノ方ニ持ツテ行キマシテ、「當分ノ内」ト云フコトハ、其アト四年バカリ存續シテ居ル間ニ、假ニ相續ガ起ツテモ課稅ヲシナイト云フコトヲ明ニシマシテ、アト四年バカリ經ツテ、永代借地權ヲ完全ニ所有權ニ書換ヘテシマヘバ、死文ニ歸ス、軀テハ之ヲ廢止スル、斯ウ云フコトニナル次第デアリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

ニ許可スル場合ニハ、ドウ云フ標準ニ依テ
免許ヲサレルモノデアルカ、其標準ヲ此際
伺ツテ置キタイノデアリマス、或ハ又政府ノ
方針ト致シマシテ、將來酒類ノ販賣業ヲ免
許スル場合ニ於テハ、成ベク之ヲ制限的ニ
取扱ツテ行カレルノカ、或ハ相當ナ條件ニ當
嵌レバ免許スルト云フ御考デアルカ、其點
ヲ伺ヒタイ

デ言フ庫出稅的ノ性質ヲ帶ビテ居ルノデア
リマスガ、此造石稅ト庫出稅ト云フ兩者ノ
關係ヲ、ドウ云フヤウニ御覽ニナリマスカ
從來ハ酒ニ付テハ造石稅ト定マッテ居ツタモ
ノガ、今回物品稅トシテ庫出稅ヲ課セラレル
ニ付テ、大藏當局ハドウ云フ御考ノ下ニ、酒
類ノ課稅ニ付テ斯ウ云フヤウナ御取扱ニ出
タノデアリマスカ、ソレヲ伺ヒタイトと思ヒ
マス

アラウ、斯ウ存ジタ次第デアリマス。

ト思ヒマス、御説明ヲ願ヒタク

○川崎(末)委員 大藏大臣ハ御歸リニナツ
タノデスカ、又御出席サレルノデスカ

○高橋委員長 二十分钟位退席シタイト云フ
コトデ、室ヲオ出ニナッタノデスガ、其程ハ

○川崎(末)委員 御出席下サレバ尙ホ結構
ト存ジマス、ソコデ酒類ニ付テハ造石税ガ

アルノニ、今度更ニ物品稅トシテ庫出稅ヲ
課スル、斯ウ云フヤウニ二ツノ稅ガ課セラ

レテ、而モ納稅義務者ハ、轉嫁ノ問題ハ別デアリマスガ、製造者ガ納稅義務者デアル、是ニ於テ色々問題ガ起ルモノト思ヒマス、

ソレハ後デ追々伺ヒタイト思ヒマスガ、先
ヅ其點ニ對スル御注意ヲ喚起シテ置キマス、先
ソコデ課稅ニ付テ、從來ハ葡萄酒ニハ造石
稅ヲ課シテ居ラナカッタ、然ルニ今回ハ葡萄
酒ダケニ付テハ造石稅ハ免除サレテ、物品稅
ヲ課シタ、而モ其稅率ハ一石ニ付十五圓、

ト思ヒマス、御説明ヲ願ヒタ
○大矢政府委員 生葡萄酒ニハ從來消費稅ニ於キマシテナカッタノデアリマス、元來我國發達シテ居リマセヌ、從來ハ大部分ヲ輸入ニ仰イデ居リマシタ、輸入ノ際ニ相當ノ關稅ガ賦課サレテ居ツタノデアリマスガ、近時地方ニ於キマシテ生葡萄酒ノ製造ガ漸次發達シテ參リマシテ、其品質モ段々向上シテ參リマシタ、價格ノ點ニ於キマシテモ相當向上シテ參リマシテ、時ニハ普通ノ清酒以上ノヤウナモノモ相當アリマス、又造石高カラ言ヒマシテモ、五六百石ニ上ル釀造家モアルヤウデアリマス、之ニ對シテハ或ル程度ノ消費稅ヲ課稅シテ然ルベキデハナカラウカト云フコトヲ、當局ニ於テモ數年來考究シテ居タノデアリマス、此度支那事變特別稅ト致シマシテ、一般酒類ニ對シマシテモ或ル程度ノ課稅ヲ致ス此機會ニ於テ、從來ノ諸般ノ狀況ヲ考ヘマシテ、一石ニ付テ十五圓ノ課稅ヲ生葡萄酒ニ新ニ課スルモ敢テ不當デハナカラウト、斯ウ存ジタ次第デアリマス

相當ノ理由ガアツタ、殊ニ是ノ製造ノ助長ト

カ、産業政策上ノ理由モアツタガ、今回ノ特
別税ニ於テ率然トシテ之ニ課税シタ、課稅

スルモ宜イガ普通ノモノノ三倍モ直チニ課
稅スルト云フコトニ付キマシテハ、餘リニ

私ハ取り過キチヤナイカ
アリマスカラ、御考慮ヲ煩シテ置キタイト
思フノデアリマス

次ニ御尋致シマスガ、是ハ別ニ大矢君ヲ
忌避スル譯デハアリマセヌガ、一ツ政務次

官ニ伺ツテ見タイ、今回ノ課稅ノ酒類ノ中ニ
於キマシテハ新清酒ト云ヒマスルカ、或ハ
合成酒ト申シマスルカ、斯ウ云ツタモノニ

付キマシテヘ、普通ノ酒類ト孤立ニ致シマシテ、七圓課稅ヲ致シテ居リマス、他ノ一般ノ酒ハ「ビール」迄ハ慥カ五圓デシタ、燻酎モ五圓、特ニ新清酒ダケ七圓ニシタ、此理由ヲ政務次官カラ篤ト伺ッテ置キタイト

○太田政府委員 私カラ申ス迄モナク新清酒ガ科學的ニ製造サレテ、又其ノ需要關係

ニ於キマシテモ非常ニ多クナシテ居リマス
コトハ御案内ノ通りト思ヒマス、詰リ税ノ
上カラ申シマシタナラバ、負擔ノ關係ニ於
キマシテモ十分ノ力アルモノト認ヌマシテ、
茲ニ差別ヲ設ケタ次第ゴザイマス

ノ特別稅トシテ造石課稅ヲ致シマスルト云
フト、其納期ガズット先ニナリマス關係上、
増稅ガ他ノ各種ノ物品ニ比シテ、一年後レ
ルト云フ不權衡ヲ來スノデアリマス、廣汎
ノ物品稅ヲ課稅スル此際ト致シマシテハ、
西頭ニ付ノマンニニ直當銀免ニ夫ニヘキ齊

テハ、明瞭ニ御意見ヲ伺ツテ、國民ヲシテ能ク其課稅ノ趣旨ヲ了解セシムル必要ガアル

○川崎(末)委員 私ハ此際意見ダケヲ申上

第六類第六號 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄

第九回 昭和十三年二月二十八日

○川崎(末)委員 此酒ノ造石ニ付キマシテ
モ是ガ基本税トソレカラ臨時増徵法ト今回
ノモノト色々ニナッテ居リマスガ、甚ダ是ハ
面倒デアリマスガ、唯私ノ記憶スル所デハ、
極ク簡単ニ申上ゲマスレバ、此新清酒ハ大
體ニ今迄ハ造石税ガ重カッタ、殊ニ基本税ニ
於キマシテハ、濁酒ハ特別ニ安ウゴザイマ
スガ、普通ノ清酒、白酒、味淋、燒酎、是
ハ一石ニ付キ四十圓、燒酎ニハ多少ノ加算
ガアリマスガ、原則ダケ申シマスレバ基
本ガ一石四十圓、斯様ニ色々ニナッテ居リマ
スルガ、所謂新清酒ニ付キマシテハ、是ガ
度數ニ依ツテ違ヒマスケレドモ、先ヅ基本
ノ二十四度未満ノモノニ付キマシテハ一石
四十二圓、斯ウ云フコトニナッテ居ルノガ
基本税デアリマス、之ヲ臨時租稅增徵法ニ
於テ税率ヲ變更致シマス場合ニ於キマシ
テ大體酒、所謂清酒ノ方ハ之ヲ四十五圓ニ
シテ、燒酎モ同様ニシ、所謂新式燒酎ノミハ
二圓上ゲテ四十七圓ニシタ、斯様ニナッテ居
ルノデアリマス、「ビール」ノ如キハ曩ノ二十
五圓ヲ三十五圓ニシタ、然ルニ所謂新清酒
ハ四十二圓ノモノヲ五十圓ニ致シタ、斯様
ニシテ臨時租稅增徵法案ノ場合ニ於キマシ
テモ、新清酒ハ他ノ清酒、或ハ燒酎ナドニ

○太田政府委員 二十四度未満ノ酒精及ビ
レタト云フコトニ付テノ理由ト言ヒマスル
カ、趣旨ヲ此際更メテ伺ヒタイト思ヒマス
ナツテ居ルノデアリマスルガ、之ヲ高率ニサ
マシタヨリ率ガ餘程多クナツテ居リマス、清
酒ノ方ガ約一割二分上タノニ對シテ二割
近クモ上タ、此點ハ先程申上ゲタコトガ非
常ニ粗雑デゴザイマシタノデアリマスガ、
製造方法ニ於テ先程申上ゲマシタヤウナ非
常ナ違ヒガアルコトト、需要關係其他ニ於
キマシテ區別シ、本當ニ擔稅力ガアリト見
タカラ臨時租稅增徵法ヲ作ル時ニ於キマシ
テ、二割ノ増加ヲ見タノデアリマス、サウ
云フ關係ガゴザイマスケレドモ、今度ノ庫
出稅ト、俗ニ言ハレルヤウナ物品稅ノ關係
ニ於キマシテハ、是ハ二圓ダケ高メル、此
點ニ於キマシテハ按排ヲシテ居ル譯デゴザ
イマス

シテ酒精分ハ度ガ高イガ實際ニ於テ賣ラレテ居マス、ソレガ爲ニ實際坊間ニ於テ賣ラレルモノヲ見マスレバ清酒ト左マデ度ハ違ハナイ位ニ薄メテ賣ラレテ居ル、所謂増シテ賣ラレル、是ハ水ヲ賣ルコトガ出來ルノガ一つノ強味デアリマス、ソレ以外ノ強味モゴザイマスガ、併シ新清酒ガ清酒ヲ賣スト云フ主ナル原因、事情ハ是ガ一ツアル、私ハ臨時租稅增收法ノ時ニモ委員ニナッテ居タノデ、當時ハ石渡君ガ主稅局長デ政府委員トシテ此點ニ付テ御伺シタコトモアルヤウニ記憶シテ居リマス、速記錄ニ果シテ載ツテ居ル カドウカハ分リマセヌガ、確ニ石渡君ト問答ヲ致シマシタ、若シ速記錄ニ載ツテ居ラナケレバ個人的ニ話合タコトガアルノデス、今申シタヤウナ事情ガ兎ニ角清酒ヲ保護スル意味カラ申シテモ、即チモット綺麗ナ言葉デ言ヘバ、消費稅ノ大宗デアル酒類ノ造石稅、而モ其中軸ヲ成シテ居ルモノハ何ト言ツテモ「ビル」ガ高イトシテモ清酒デアル、ダカラ酒稅ノ保稅、今回ハ理由書ニ理由ハ澤山出テ居ルガ、其酒

税ヲ保存スル意味カラ言ツテモ清酒ニ對シ
テ相當ノ考慮ヲ拂ッテヤラナクテハナラヌ、
ソレガ爲ニ新式燒酎ニハ相當課ケテ、即チ
四十五圓ニ特ニ二圓餘計課ケタ、其筆法デ
新清酒ニ對シテモ餘計課ケテヤルト斯ウ云
フコトニナル、其裏ニハ今申シタヤウニ割
水ガ效ク、水ヲ賣ルノデアル、之ヲ又是認
スルコトニナル、是ハ恐ク實際ノ稅務當局
ニ於キマシテハ私ノヤウナ素人ガ申サナク
テモ能ク御承知ノコトと思フ、此新式燒酎
ヲ更ニ二圓増シタト云フコトハ、舊式燒酎
トノ關係モアリマスケレドモ、是亦ヤハリ
清酒トノ間ノ關係ヲ御考慮サレタコトハ、
是ハ否ムベカラザル事實ダト思フ、只今ノ
所ヘ左様ナコトヲ意識シタカシナイカヘ別
ト致シマシテ、結果カラ見マシテ是ハ否ム
コトガ出來ナイ事實ダト思フ、私ハサウ判
斷シテ居ル、斯様ナ意味ニ於テ、又其事實
ヲ捉ヘテ、私達ハ左様ナ課稅率ニ差等ヲ設
ケタト云フコトハ、純理論的ナ意味カラ言
ヘバ、多少之ヲ實際上ノ意味カラ申シテ是
認致シテ居ル者デアル、是ガ臨時租稅增徵
法案ヲ顧ミタ時ノ私ノ考デアリ、其當時ノ
意見デアッタガ、今回ノ物品稅ニ於キマシ
テハ、「ビール」モ、燒酎モ、清酒モ、一般
ニ所謂普通ノ酒ハ、其代表的ナモノヲ皆一

率ニ五圓、葡萄酒ハ先程伺ッタヤウニ十五
圓ニナツテ居リマスガ、特ニ此新清酒ト申
シマスカ、酒精含有飲料ノ方デ、此新清酒
ニ苦シム、前ニハ造石稅ハ割水モ餘計利
ヲ七圓ニサレタト云フノハ、是ハ一寸諒解
クト云フコトデ吾々ハ諒解シテ居ッタガ、
今回ハ其點ハ物品稅トナツテ居ルノデアリ
マスカラ、特ニ是ノミニ二圓ヲ高メタト云
フコトハ、ドウモ私ハ諒解ガ出來ヌ、之ヲ
合理化スル爲ニハ、ヤハリ此場合ニ於テモ
割水ノ問題ガアル、ヤハリ割水ガ利ク、此
「ハンデキヤップ」ヲ持ッテ居ル、ソレガ爲ニ多
少稅率ヲ高クシヨウ、斯ウ云フコトニ依ッテ
初メテ吾々ハ此ニ圓ノ差等ヲ設ケタコトヲ
合理化スル、「ジャスチファイ」出來ル、斯ウ
云フヤウニシカ考ヘラレナインデアリマス
ガ、此點ニ付テノ一ツ政務次官ノ御所見ヲ
伺ッテ置キタイト思ヒマス

ヲ産業的ナ意味ニ於キマシテ、斯ウ云フ新
清酒ガ海外ニモ伸ビテ行クト云フヤウナ意
味ニ於テ、ドウ云フ保護ラシテ行クカト云
ノ此酒稅ノ建前ニ於キマシテハ、清酒デア
ルトカ、燒酎デアルトカ、新清酒デアルト
カ、其區分ニ付キマシテハ、今御示ノ通り
ノ點ニ於キマシテ、稅ヲ按排シテ居ル次第
デゴザイマス、今回五圓ト七圓ノ區別ガ出
來マシタノモ御示ノ通りデアリマス

サヘスレバ、税務署ノ承認サヘ受ケレバ、
是ガ非法ノ租稅逋脱ノ目的デナクテ、合
法的ニ行ハレル場合ニ於テモ、十分税務當
局ノ承認ノ下ニ行ハレテ居ルノガ現在ノ實
情デアル、ソレハソレデ宜シイ、當然ニア
ル、斯ウ私ハ思ウテ居ルノデアリマス、是
ニ於テ私ハ此造石稅ト物品稅ニ於キマシテ
モ、斯ウ云フヤウニ二重ノ課稅ヲサレル爲
ニ、從來ノ單ニ新清酒ノミナラズ、燒酎ノ
製造ニ於キマシテモ、清酒ノ製造ニ於キマ
シテモ、一般ノ酒類ノ製造ニ於テモ、此稅
法ノ爲ニ從來ノヤリ方、從來ノ税務當局ノ
取扱ヒ方ガ一變スルト云フコトニナレバ、
茲ニ非常ナ面倒ナル混亂ガ起ルト思フノデ
アリマス、恐ラク私ハ此稅ガ一石ニ付キ五
圓ノ移出稅ト申シマスカ、物品稅ガ課セラ
レマシテモ、實際ニ於テ清酒界ニ於キマシ
テ、又燒酎界ニ於キマシテモ、割水ノ如キ
コトヘ、稅ニ依ツテ私ハ阻止サレルモノデ
ナケレバ、又ソレヲ阻止スベキモノデモナ
イト私ハ思フ、私ハ酒飲ミデアツテ、兵庫縣
ノ學務部長ヲ長クヤツテ居ツテ、彼處ノ友人
ノ中ニハ酒屋モ多イシ、酒飲ミノ友達モア
リ、隨テ多少私ハ實情ヲ承知シナイデモナ
ハ廣島或ハ四國ノ方カラ買入レテ之ヲ持ツテ

來テ、一旦自己ノ酒賣カ工場ニ持ツテ來テ
之ヲ混合スル、合成ト云ヒマスカ混合スル、
斯ウ云フ場合モ考ヘラレル、而モ其場合ニ
於テハ、ソレドヽ税法ニ於テ税務當局ノ承
認ヲ得、手續ヲ得レバ、是亦混成シテ二ツ
ノ酒ヲ一ツニ合セテ調合スル、其際必要ナ
場合ニ多少ノ割水ヲスルト云フコトハ合法
的デアル、斯様ナ場合ニ於テ、今回ノ物品
税ヲ如何ニ之ニ適用サレテ行クカ、之ニ付
キマシテハ單ニ負擔ノ關係ノミナラズ、實
際ノ製造業者ガ其操作ヲ行フニ付テ、餘程
私ハ面倒ガ起キルト思フノデアリマスガ、
是等ノ點ニ付キマシテハ從來ノ酒造業
者、或ハ燒酎製造業者、或ハ今ノヤウ
ナ新清酒ノ製造業者ト云フモノガ、
從來ノ製造工程、製造操作ヲ變更セズシ
テモ、十分ニヤツテ行ケルヤウニ相當ノ御
考慮ノ上、御措置ガ必要デアルト思フノデ
アリマス、同時ニ左様ナ場合ニ於テ、此法
律ヲ見マスト、他ノ酒類ヲ移入シテ混和ス
ル場合ニ於テ、是ガ二重課稅ヲ避ケルコト
ニ付テ御用意ガアルコトハ、法律ニ依シテ認
メラレルノデアリマスガ、念ノ爲ニ御説明
ニナレバ結構ダト思ヒマス、又清酒其他ノ
割水ノ點ニ付キマシテ、是ハ單ナル形式的
ノ理論ニ囚ハレズ、實際ノ行政ノ執行ノ立

場カラ能ク御考ニナッテ、適當ニ御措置相成
ラナクチヤナラヌト思ヒマスガ、此點ニ付
テノ御當局ノ御意向ヲ伺ッテ置キタイ
○松隈政府委員 只今川崎サンノ詳シイ御
尋ニ對シマシテ、私カラ極ク大體ノ御答ヲ
申上ゲテ見タイト思ヒマス、今回清酒ニ對
シマシテハ物品稅ト致シマシテ、清酒ノ庫
出シノ際ニ、庫出石數ニ依ツテ課稅スルト云
フ建前ヲ執ルコトニナッタノデアリマス、隨
テ從來ノ造石稅ト一應法律ノ建前ハ違フコ
トニナッテ居リマスガ、併シ此課稅ノ爲ニ、
從來ノ酒屋ノ酒造業者ノ營業ニ、非常ナル
變革ヲ來サシムルト云フコトハ、徵稅技術
上モ大イニ考慮シナケレバナラナイ點デゴ
ザイマスノデ、建前ハ製造場ヲ出マス石數
ニ對シテ課稅スルト云フコトデゴザイマシ
テモ、製造場ノ中ノ一部ニ賣場ヲ設ケマシ
テ、其賣場ニ於テ割水セシメルト云フコト
ニ致シマスレバ、大體從來製造場内ニ於テ
割水シテ居リマシタノト、同ジ位ノ程度ノ
割水ガ出來ルノデハナイカト思ヒマス、詳
シイコトヲ申上ゲマスト、製造直後ニ水ヲ
割リマス場合ト、製造直後ニ於テ割ラズニ
置イテ、愈、賣ル場合ニ於テ賣場デ混ゼル
場合ニ於キマシテハ、多少ソコニ割水ノ差
ハゴザイマスケレドモ、サウ云フ詳シイ點

ハ茲ニ省略致シマシテ、大體賣場ニ引取ッテ
賣場デ混ゼルコトヲ認メテ行キマスレバ、
製造者ノ利益ヲ著シク害スルコトハナイト
存ジテ居ルヤウナ次第デゴザイマス、ソレ
カラ灘地方等ニ於キマシテ、他ノ製造場カ
ラ移入酒ヲ致シマシテ、之ヲ自己ノ庫ニ於
テ製造致シマシタ酒類ト適當ニ調合致シマ
シテ、移出致シテ居リマス實情ハ、川崎
サンノ御述ニナッタ通リデアリマス、其點モ
相當長イ慣行ノ下ニ商賣ガ成立ツテ居ルノ
デアリマスカラ、之ヲ若シ製造場外カラ移
入シタ酒マデ製造場ヲ出ル時ニ課稅スルコ
トニナリマスト、是亦相當業者ノ取引ニ打
擊ヲ與ヘマスノデ、其點ハ注意致シマシテ、
第四十六條ノ二項ニ「酒類ヲ製造場外ヨリ
移入シタル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ
依リ其ノ物品ヲ製造場ヨリ移出スルモ更ニ
物品稅ノ徵收ヲ爲サズ」ト云フ規定ヲ設ケ
テアル次第ゴザイマシテ、此命令ニ依リ
マシテ他ノ製造場カラ移入酒ヲ致スト云フ
ヤウナ場合ニ於テハ、豫メ稅務署ノ承認ヲ
得ルヤウニト云フコトヲ書クコト致シマ
シテ、稅務署ノ承認ニ依ツテ其數量ヲ明確ニ
斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○前田委員 今ノ新酒ノ課稅問題デアリマ
スガ、新清酒ハ御承知ノ如ク三十三度九ダト
思ヒマス、ソレガ平均シテ割水ヲ致シマス
ラ移入酒ヲ致シマシテ、之ヲ自己ノ庫ニ於
ト、清酒ト均衡ガ取レナイヂヤナイカト
マスガ、サウスルト一圓ノ差ヲ以テ七圓ト云
フト、清酒ト均衡ガ取レナイヂヤナイカト
思ヒマスガ、其二圓増シタ根據ヲ一ツ御説明
ラ願ヒタイト思ヒマス、平均ガ十六度ニナッ
テ居リマス、モウ少シ増サナケレバナラヌ
ト思ヒマス

○高橋委員長 前田君
○前田委員 二圓差額ノ根據ハ少シ私ハ腑
ニ落チマセヌガ、大分専門ノコトニナリマ
スカラ、又機會ヲ得テ御尋ヲ申上ゲマス
○勝委員 一寸關聯シテ……
○高橋委員長 一寸其前ニ森田君ノ關聯質
問ガアリマス、其後ニ御願シマス
○森田委員 今ノ御尋ニ對スル御答辯ニ關
聯シテ清酒ノ割水問題ニ付テ 一寸伺ッテ見
タイノデアリマス、今政府委員ノ御答辯ヲ
拜承致シテ居リマスト、稅務署ノ承諾ヲ得
テ、或ル程度ノ割水ヲスルコトハ御承知ノ
度ハ臨時稅デ施行期間モ短カイコトデアリ
モ一ツノ行キ方カト思ヒマスケレドモ、此
細カク區分シテ適當ノ稅率ヲ盛ルト云フノ
モ一ツノ行キ方カト思ヒマスケレドモ、此
度ハ臨時稅デ施行期間モ短カイコトデアリ
マスノデ、成ベク煩瑣ナ手續ハ避ケヨウ、
簡單明瞭ヲ期サウト云フ考カラ致シマシテ、
之ヲ一律ニ致シマシタ、併シ清酒ト同率ニ
スルト云フノモ今御話ノヤウナ點モアリ
マシテ、當ヲ得ナイデハナカラウカ、先ヅ
カラ割水ヲスルノナラバ、庫出ノ時ニハ其
割水ニハ課稅ヲシナイト云フヤウナ意味ノ
御答辯ニ承ッタノデアリマスガ、サウスル
ト、御承知ノヤウニ、私等モ多少其方面ニ
知識ガアリマスガ、賣場ニ行ク迄ニハモウ
樽ニモ詰メ、壠ニモ詰メテ居ラナケレバナラ
ヌ、賣場ト仰シヤルノハドウ云フ所デスカ
シテ、其一部分ヲ賣場ト稱シテ居ルノデア
在酒造家ノ多クハ酒造場ノ一部ヲ仕切リマ

此程度ニシテ置キタイト考ヘタ次第デアリ

マス

○前田委員 二圓差額ノ根據ハ少シ私ハ腑

ニ落チマセヌガ、大分専門ノコトニナリマ

スカラ、又機會ヲ得テ御尋ヲ申上ゲマス

○勝委員 一寸關聯シテ……

○高橋委員長 前田君

リマス、酒造場カラ一部ヲ區切リマンシタ賣

場ニ出ス其右數ニ課稅シテ、課稅後其賣場ニ於テ割水ヲ致セバ、其水ノ部分ハ課稅ニ

ナラナイト、斯ウ云フヤウナ意味ヲ以テ先程申上ゲマシタノデアリマス

○森田委員 私ハスウヂヤナイカト思ヒマス、是ハ非常ニ面倒ナ問題ダカラ、稅ヲ掛ケル時ニ庫出稅ニシヨウト云フヨリハ、酒造稅ノ方モ庫出稅ト云フ問題ガ前カラアル、ソコデ今度ハ庫出稅ト云フヤウナコトヲ理想的ニ考ヘラレテヤリ掛ケタノダラウト思ヒマスガ、庫出稅ニスルノト、今ノ庫ノ中ニ於テ課稅スレバ割水ニ稅金ヲ掛ケルカ置ケヌカト云フコトニナレバ境目ニナル、

トニナル、サウスルト、僅カノ金利ノ問題デ事面倒ヲ避ケルコト出来ルシ、避ケザルコトモ出來ルト私ハ思フノデアリマス、デアルカラヤハリ庫出稅ト名ガ付イテ居ルコトヲ御變ヘニナル必要ハナイカ、此酒造後ノ割水ヲセザルモノニ此物品稅ヲ課スルガトニシサヘスレバ、隨分簡單ニ私ハ解決ガ付クト思フノデアリマスガ、唯問題ハ稅金ガ少し早ク掛ルカ少し遅レテ掛ルカノ問題デアリマス、酒屋ノ方デハ此間ノ稅金ノ

金利ヲ一箇月負擔スルカ二箇月負擔スルカ

ト云フ境目ノ問題デ、非常ナ面倒ナコトガ生ズルト思フ、此點ニ對シテ今少シ簡單ニ

御考ニナル譯ニハ行キマセヌカ

○松隈政府委員 森田サンノ御尋ニゴザイ

マスガ、製造場ニ於テ製造シタ石數ヲ捉ヘテ課稅ヲスルト云フコトハ勿論考ヘラレナ

イ方法デハナインデゴザイマスガ、ソレデアリマスト、現在造石稅ガアリマスカラ、

製造場ニ於テ製造シタ石數ヲ捉ヘテ課稅ヲスルノデアッタナラバ、造石稅ノ増徴ニ依レバ宜イト云フコトニナル譯デアリマス、トコロガ先程主税局長カラモ申上ゲマシタ通

スルノデアッタナラバ、造石稅ノ増徴ニ依レバ、何割和水シタ云フコトガ分リマス

ト解スルノデゴザイマスルガ、是ハ法文ノ建前カラ申シマスルト、製造場カラ移出スル石數ニ應ジテ課稅スルト云フコトニナッ

ト解スルノデゴザイマスルガ、製造場内ニ

前カラ申シマスルト、製造場カラ移出スルノデアッタナラバ、造石稅ノ増徴ニ依レバ、何割和水シタ云フコトガ分リマス

ト解スルノデゴザイマスルガ、是ハ法文ノ建前カラ申シマスルト、製造場カラ移出スル石數ニ應ジテ課稅スルト云フコトニナッ

ト解スルノデゴザイマスルガ、製造場内ニ

前カラ申シマスルト、製造場カラ移出スルノデアッタナラバ、造石稅ノ増徴ニ依レバ、何割和水シタ云フコトガ分リマス

ト解スルノデゴザイマスルガ、是ハ法文ノ建前カラ申シマスルト、製造場カラ移出スル石數ニ應ジテ課稅スルト云フコトニナッ

ト解スルノデゴザイマスルガ、是ハ法文ノ建前カラ申シマスルト、製造場カラ移出スル石數ニ應ジテ課稅スルト云フコトニナッ

ト解スルノデゴザイマスルガ、是ハ法文ノ建前カラ申シマスルト、製造場カラ移出スル石數ニ應ジテ課稅スルト云フコトニナッ

ト解スルノデゴザイマスルガ、是ハ法文ノ建前カラ申シマスルト、製造場カラ移出スル石數ニ應ジテ課稅スルト云フコトニナッ

ト解スルノデゴザイマスルガ、是ハ法文ノ建前カラ申シマスルト、製造場カラ移出スル石數ニ應ジテ課稅スルト云フコトニナッ

ト解スルノデゴザイマスルガ、是ハ法文ノ建前カラ申シマスルト、製造場カラ移出スル石數ニ應ジテ課稅スルト云フコトニナッ

高メテ和水ヲ制限シテ可ナリ濃厚ナ酒ヲ造ツ

テ火入レ前ノ和水ヲスル、其火入レ前ノ和水ヲスル場合ニハドウ云フ御取扱ヲナサル

御積リデスカ

○松隈政府委員 只今勝サンノ御尋ハ、火入レ前ノ和水ト云フコトデゴザイマシテ、

是ハ既ニ製造場内ニ於テ和水ヲシテ居ルモノガアルケレドモ、ソレハ今度ノ庫出稅ノ

課稅ニ當ラテドウ取扱フカトスウ云フ御尋

ノガアルケレドモ、ソレハ今度ノ庫出稅ノ

課稅ニ當ラテドウ取扱フカトスウ云フ御尋

○勝委員 ソレデハ今ノ此法律ノ施行前ノ分ニ付テハ、只今ノ御答辯ノ通リデ宜イト思ヒマスガ、是ハ當業者ノ製造計畫ガアリマスカラ、今ニ於テハッキリシテ置カナイト、

ソレデ庫内デ和水ヲスルト云フコトニ付テハ、稅務當局ノ承認ヲ受ケテヤルノデアルカラ、大體ニ於テ自ラ計算ガ出來ルノデアリマス、仕入前ノ和水ト雖モ、ソレハ相當カラ、何割和水シタ云フコトガ分リマス

カニ考慮シテ計算スルト云フコトニ御考ヲ願ハナケレバナラナイト思ヒマス、其點ガドウカト云フ點ト、今一つハ新清酒ハ御承知ノ通リ、三割カラ三割五分ノ和水ヲスルノデアリマシテ、今日法律命令ニモ何ニモ規定ハナイケレドモ、稅務署ノ取締ノ必要上庫内デ和水ヲシタ上デナケレバ、庫出ヲサセナイヤウニナッテ居ル、是ガ今度庫出、即チ物品稅ト云フコトニナッテ來レバ、大變ナ利害關係ガアルノデアルカラ、三割五分ノ割水ヲスルト云フコトハ、是ハ稅務當局ニナラウト思ヒマスガ、其邊ハ如何デスカ

○松隈政府委員 私ガ只今申上ダタ庫内和水ノ酒ノ取扱ニ付テ、斯様ナ法律ガ出マス

ル以前ニ於テ、善意ニ割水シタモノニ付

テ、執行ニ當ツテ苛酷ニ涉ラザルヤウ、出來

ルダケ注意致スト申上ゲマシタコトハ、其中

ニ述べテ居リマスル通り、此法律施行前

ニ於テ、善意ニ割水シテ居タ者ニ付テ申上

ゲタノデアリマシテ、此法律ガ施行セラレ

テカラ後モ、庫内デ割水シタモノニハ、之

ヲ差引クカドウカト云フコトハ、相當問題

デアルト思ヒマス、殊ニ法律ノ建前デ、製

造場カラ移出スル石數ニ應ジテ課稅スルト

云フコトニナツテ居ル、サウシテ其法律ガ施

行サレテ居ル時ニ、其法律ヲ知リツ、製造

場内デ割水ヲスルト云フコトニナレバ、是

ハ課稅ヲ覺悟シテ割水ヲシテ居ルモノト云

フ外ハナイノデハナイカト思ヒマス、サウ

云フ場合ニ於テモ、尙ホ割水サレテ居リマ

スル酒ヲ、割水ノ部分ヲ控除シテ課稅スル

ト云フコトニナリマスト、製造ノ時期ニ從

混合サレル、ソレガ短期間ニ出テシマハズ

ニ、一定數量ハ次ノ酒造年度ニ持越サレ、

其持越シタ酒ト、又新シク造ツテ庫内デ和水シタ酒トガ混和スルト云フヤウナコトニナ

リマスト、何程ノ水ノ數量ヲ引クカト云フ

コトガ、到底課稅技術上煩雜デ、納稅者ガ

迷惑スルバカリデナク、稅務官吏モ其煩ニ

堪ヘナクナルト云フヤウナコトニナルノデ、

今後ノ法律施行後ノ割水ニ付テハ、私ガ先

程申上ゲマシタ通り、庫内デナク製造場

カラ移出シテ割ル、詰リ其酒ハモウ庫出サ

レタモノデアルカラシテ、庫出課稅ニ關係

ノナイト云フ状態ニ於テ割ツテ戴キマスレ

バ、極メテ手數ガ簡單デアリマシテ、恐ラ

ク其方ガ稅務官吏モ、當業者モ便宜ヲ得ル

今ノ和水ノ點ニ付テノ質問ハ此程度ニ於テ

止メマス、次ニ物品稅ノ一般ノ取扱ニ付テ、

徵稅ノ稅務執行ノ任ニ當ラレテ居リマス者

ノ關係ニ付テ、大藏大臣ノ注意ヲ促シテ置

スルノデアリマス、執行ニ互リマシテハ、

イタノデアリマスガ、只今酒類ノ點ニ付テ

徒ニ苛斂誅求ニ流レナイヤウニ、サレバト

スルノデアリマス、執行ニ互リマシテハ、

イタノデアリマスガ、只今酒類ノ點ニ付テ

斯ウ云フ風ニ免稅點ヲ定メラレマシタ、先

ヅ其コトニ付テドウ云フ標準カラサウ云フ

風ニ御決メニナリマシタカ、其趣旨ヲ伺ッテ

置キタイト思ヒマス

○大矢政府委員 經過規程ノコトデゴザイ

マスガ、見越引取ヲ完全ニ防止スル共ニ、

商品トシテ市場ニアル限リハ、理論上ハ總

テニ對シテ消費稅ヲ課稅シテモ宜イト云フ

コトニモナルノデゴザイマスガ、課稅ノ實

際カラ見マスルト云フト、大小色々澤山ノ

業者ガアリマスノデ、其業者ニ付テ漏レナ

ク調査シテ課稅スルト云フコトハ相當困難

ガアリ、煩瑣ニモ堪ヘナイノデアリマスカ

ラ、大體普通ノ小賣業者ガ持ツテ居る程度ノ

モノハ課稅外ニ置カウト、斯ウ考ヘタ次第

デゴザイマス、ソレデ三千圓ト致シマシタ

コトハ、稅額ニ於テ三百圓乃至四百五十圓

程度デアリマス、又砂糖ハ二万斤ト致シマ

スレバ稅額ハ百四十圓、酒類ニ於キマシテ

ハ稅額ハ百五十圓、燐寸ハ五百圓程度ニナッ

テ居リマス

○川崎(末)委員 酒ハ三十石、百五十圓ト

見テ居ラレマスガ、一石五圓デスカ、大體

平均ガ三千圓ヲ見當ニシテ居ラレルト云フ

譯デスカ

○大矢政府委員 酒ニ付キマシテハ、普通

リ方ダト思ヒマス、一ツノ區切ヲ以テ、ソレ以外ノモノハ皆許ス、片方ハ皆取ル、是ト是ト考ヘテ、第二種ナラ三千圓ヲ超過シタモノダケニ課稅ヲスル、三十石ヲ超過シタモノダケニ課稅スル、二万斤ヲ超過シタモノダケニ消費稅ヲ課スル、斯ウ云フコトデアル方ガナダラカデ宜イ、而モ此課稅ヲ免レタモノト、受ケルモノトノ間ノ關係ヲ見マスト、決シテ是ハ吾々ノ社會正義ノ觀念カラ公平ヂヤナカラウト思ヒマスガ、此點ニ付テ一つ大藏省ノ御意見ヲ伺ヒタイ〇大矢政府委員 御話ノ點ハ御尤ト思ハレマスケレドモ、是ハ前ニモ申上ゲタ通り、理論上ハ總テ本法實施ノ際ノ商品ニ對シテ課稅シテ宜イト云フ譯デアリマス、唯小規模ノ小賣業者ニ迄モ總テ及ボスヤウニスルノハ苛酷ニ失スル、煩雜ニ堪ヘナイト云フ點ガアリマシテ、此小賣業者ニ對シテ免除シテヤラウ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、恩恵ニ浴スルノハ小賣業者ノ方デ一定ノ數量以上ヲ所持シテ居ル者ハ、其金額ニ對シテ課稅ヲ受ケルノガ當然デハナカラウカ、又是ハ商品デゴザイマスカラ、今ノ酒類ナラバ二十九石九斗九升マデハ免稅ニナルガ、三十一石ニナツタ爲ニ課稅ヲ受ケルト云フノモ、理

論上アリ得マスケレドモ、實際ハ施行マデ
ニ適當ニ調整サレテ行ク點モアルノデハナ
イカト存ジテ居リマス

○川崎(末)委員 一應大矢君ノ御説明ヲ伺
ヒマシタガ、此點ハドウモ私ハ不幸ニシテ大
矢君ノ御説明其モノヲ承服スルコトガ出来
マセヌ、併シ私ハ餘リ時間ヲ取ルコトハ恐
縮デゴザイマスカラ、是以上申シマセヌガ、
恐ラク他ノ同僚ノ方々ガ更ニ改メテ見參致
スコトト思ヒマス、私ノ主張ハ相當合理的
ナ主張デアルト思ヒマス、理窟カラ言ヘバ
製造業者、殊ニ第二種ノ製造業者ニ課稅ス
ル場合ニ於テ考ヘレバ、一旦ソレハ製造業
者カラ問屋ニ渡ツテ、問屋カラ既ニ小賣業者
ニ行シテ居ルト云フコトニナリマスト、此法
案ガ出ルト云フコトヲ見越シテ、眞ニ租稅
ノ逋脱ヲ圖ル爲ニヤル者モアリマセウ、併
シ普通ノ商取引トシテ既ニヤッテ居ル場合
モアリマス、ソレ迄モ之ニ依ッテ捉ヘルト云
フノハ、此法律ノ趣旨カラ言ヘバ、ソレヲ
寧ロ捉ヘテ行クコトガ無理デアル、唯一部
ノ見越買入ト申シマスカ、サウ云フ租稅逋
脱ノ目的ノ爲ニヤル者ヲ捉ヘル爲ニ、サウ
云フ善意ヲ以テスル取引マデモ、小賣ナリ
問屋ナリニ於テ押ヘルト云フコトニナルト
困ル、私ハ討論スル意味デハアリマセヌガ、

其點ヲ御考下サレバ、コヽハオ五ニ魚心アレバ水心、抱合ナドト云フコトハ申シマセヌガ、相當同情シアッテ、其立場々々ヲ御考ニナッテ、適當ニ三千圓以下ハ斯ウ云フ程度ニサレルト云フコトガ、私ハ妥當デハナイカト思フ、今急ニ私が迫ツテ行キマスト、アナタモヤハリムキニナッテ理窟ヲ仰シヤルダラウカラ、一晩寝テユックリ考ヘテ戴キタイノデアリマス、次ニ徵稅期間ノコトデアリマスガ、大體ニ於テ物品稅ハ原則ト致シマシテハ、翌月ノ十日マデニ前月分ヲ整理集計シテ届出シムル、其月末ニ課稅スル、特殊ノ場合ニ於テ擔保ヲ提供シタ場合ニ於テハ、其翌月ノ末日マデ御待チヲ願フト云フコトニナッテ居ルノガ原則デゴザイマス、淘ニ猶豫期間ヲ設ケラレタコトニ付キマシテハ、私達モ結構ダト思ヒマスガ、併ナガラ私ハモウ多クノ時間ガアリマセヌカラ申シマセヌ、同僚カラ申上ゲルコトト思ヒマスガ、一言ニシテ申セバ、此點ハ現在ノ商取引ノ慣習カラ申セバ、モウ一月延バシテ貰フナラバ、實際ノ取引ニ於テハ都合ガ好カラウト思フ、言ヒ換ヘレバ普通ノ商人ノ取引ハ、只今大體ニ於テ爲替決済ヲスルノガ多イ、少シノ品物、少イ資本ヲ以テ營業シテ居ル者ガ、問屋ラシイ問屋、商賣ラシイ

リ爲替ニ依ッテ決済スルヤウニ私ハ伺ッテ居ル、私ハ商人デアリマセヌカラ分リマセヌガ、サウ云フコトニ承ッテ居ル、サウスルト大體九十日、即チ三箇月拂ヒガ、今ノ商習慣トシテハ普通ダサウデアリマス、希クハサウ云フモノニ合致サセテ、業者ノ資金ノ運轉其他ガ圓滿ニ行クヤウニサレレバ、此點ハ餘程都合ガ好クナラウト思フ、是ハ恐ラク此稅法ノ適用ヲ受ケル所ノ問屋トカ、營業者、製造業者ノ總テガ一致シタ希望ヲ持ッテ居ルト思ヒマスカラ、日本ノ商習慣ノ大勢ガサウデアリ、而モ國民關係者ガ舉ッテ希望シテ居ルト云フノデアレバ、オ役所デハ利子ノコトハ一ツモ御考ニナラナイデアリマセウケレドモ、此稅法ノ施行ガ一ヶ月遅レタリ思ハレレバ、何デモナイコトデアリマスカラ、ドウカ二箇月ヲ三箇月ニシテ戴キタイ、私ハサウスベキモノデアルト云フ主張ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、之ニ對スル大藏當局ノ御答辯ヲ伺ッテ、私ノ長々シイ御質問ヲ終リマス

相當スル擔保ヲ提供シタルトキハ一月内物

品稅ノ徵收ヲ猶豫スルコトヲ得」トナッテ居

リマスノデ、一番短イ場合デ六十日、最モ

長イ場合デハ九十日ニ至ルコトニナッテ居

ルノデアリマス、左様ニ御承知ヲ願ヒマス

○川崎(末)委員 サウスルト私ノヘ非常ナ

誤解デアッタカモ知レマセヌガ、現在ノ法律

ニ依ツテ一番短イモノハ幾日デスカ

○松隈政府委員 六十日デス

○川崎(末)委員 私ノ申上ゲルノハ、一番

短イ時ヲ九十日ニシテ戴キタイ、斯ウ云フ

希望デアリマス、オ互ニ法ノ解釋ニ於テハ

誤リガナイ譯デアリマスカラ、希望トシテ

御聽キ置キラ願ヒマス

○高橋委員長 大分今日ハ午前午後ト續イ
テ御精勵ヲ願ヒマシタガ、散會前ニ御諮詢

スルコトガザイマスカラ、暫時御辛抱ヲ

願ヒマス、片山君ガ理事ヲ辭任セラレマシ

タカラ、其補闕選舉ヲ致サナケレバナリマ

セヌ、先例ニ依リマシテ委員長カラ御指名

致シタイト存ジマスガ、御異議アリマセヌ

カ
力
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○高橋委員長 御異議ナシト認メマス、ソ

レデハ河野密君ニ御願致シマス〔「異議ナシ」〕

ト呼フ者アリ〕片山君ハ本委員會成立以來理

事トシテ色々斡旋ヲ願ヒマシタ、洵ニ其勞

ヲ多ト致シマス、豫算ガ濟シダラ又御戻リ

アランコトヲ望ミマス、ソレデハ是デ散會

致シタイト思ヒマス、明日ハ午前十時ヨリ開

内務大臣ノ出席ヲ求メテ、本委員會ヲ續行

シタイト思ヒマス、明日ハ午前十時ヨリ開

會致シタイ積リデアリマス、大藏大臣ハ成

ベク午後ヨリ御出席ヲ願フコトニ交渉致シ

ツ、アリマス、御舍ミ置キラ願ヒマス、ソ

レデハ今日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時二十八分散會

昭和十三年二月二十八日印刷

昭和十三年三月一日發行

大藏義元書寫司

印刷者
内閣印制司